SHARP®

取扱説明書

ビデオ一体型
DVDプレーヤー

形 名 DV-NC750（ディー ブイ エヌ シー）

VHS Hi-Fi

はじめに
接続
設定
ビデオ編
DVD編
故障かな？
その他

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。[➡4ページ]
●この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保存してください。
●保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
●製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに

接続・設定のしかた

ビデオを再生する

ビデオに録画する

ビデオの便利な機能

再生のしかた

いろいろな再生

再生中の切り換え

MP3／JPEGの再生

再生中の情報を見る（画面表示）

初期設定（セットアップ）

故障かな？と思ったときは

その他

― アナログ放送からデジタル放送への移行について ―

デジタル放送への移行スケジュール
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには
別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や1度録画した番組のダビングができない場合があります。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に　「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
- ⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。
- ⃠ 記号は、してはいけないことを表しています。
- ❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

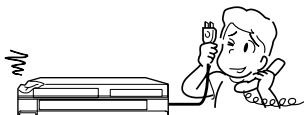
⚠警告

■ 異常が発生したときは電源プラグを抜く

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

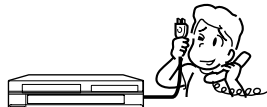
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを抜く

本機を落としたりキャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

内部に物や水などを入れない

異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

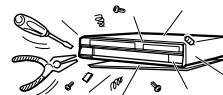
電源プラグを抜く

■ ご使用になるとき

キャビネットは絶対に開けない

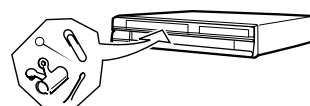
感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

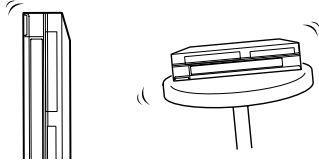
分解禁止

異物を入れない

本機の開口部(通風孔、ディスクトレイ開閉口やビデオテープ挿入口など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

⚠警告

縦に置いたり、不安定な場所に置かない

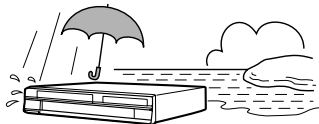
本機を縦置きにしたり、ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。

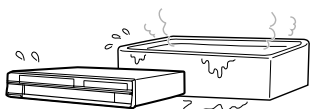
禁止

本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

水をこぼしたり中に入れたりしないでください。火災・感電の原因となります。

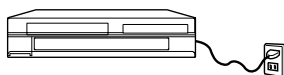
水ぬれ禁止

水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室
での使用禁止

表示された電源電圧で使用する

表示された電源電圧（交流100ボルト）以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

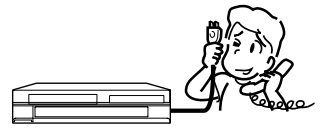
100V使用

■電源コード・プラグの取扱いについて

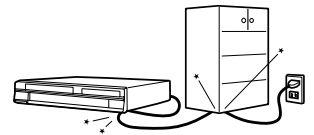
電源コードを破損するようなことはしない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

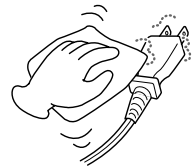
禁止

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

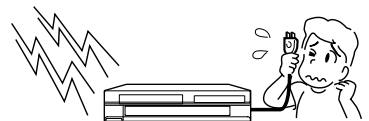
交換を依頼する

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重いものをのせてしまうことがあります。

禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

ほこりを取る

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

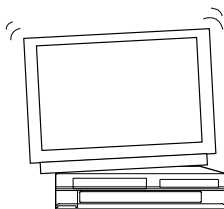
接触禁止

安全にお使いいただくために

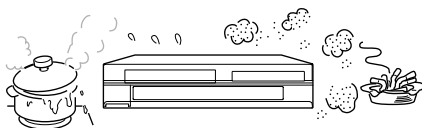
⚠注意

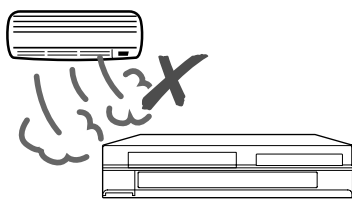
■設置や移動にあたってのご注意

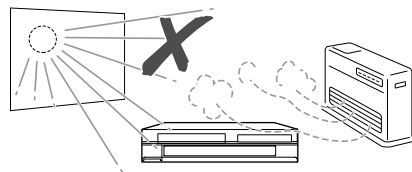
重いものを置かない

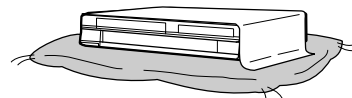
本機に乗らないでください。倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

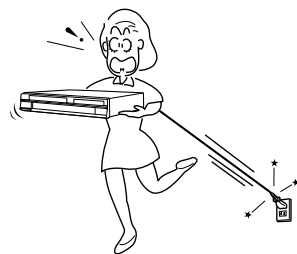
調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつけるところや極端に寒いところには置かない

つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

直接日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

本機の通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
次のような使いかたはしないでください。

- 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

移動させるときはディスクを取り出し、必ず接続コードを外す

移動させる場合はディスクが入っていないことを確認の上、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしたことを確認の上、行なってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させるときは、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。けがや故障の原因となることがあります。

⚠注意

■電源コード・プラグの取扱いについてのご注意

電源コードを熱器具に近づけない
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜く
電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

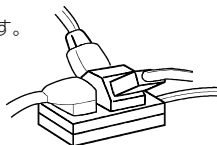
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

タコ足配線をしない
感電・火災の原因となることがあります。

禁止

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、刃にふれると感電の原因となることがあります。

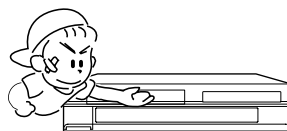
確実に差し込む

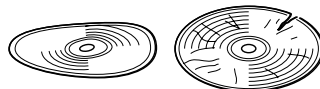
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

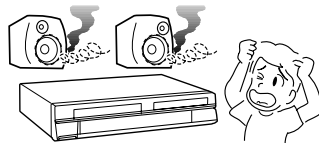
禁止

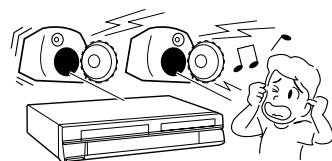
■お使いになるときのご注意

ディスクトレイ開閉口やビデオテープ挿入口に手を入れない
小さなお子様がディスクトレイ開閉口やビデオテープ挿入口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

指のケガに注意

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない
飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

音量を小さく

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない
長時間耳を刺激するような大きな音量で聞き続けると、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

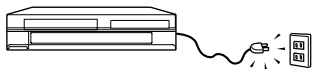
安全にお使いいただくために

⚠注意

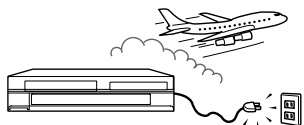
■お手入れや長期間使用しないときのご注意

お手入れのときは電源プラグを抜く

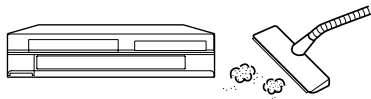
安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

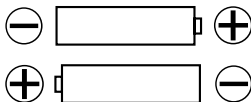
電源プラグを抜く

3年に1度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

注意

■電池の取扱いについてのご注意

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

入れる向きを間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

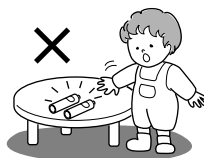
表示どおりに入れる

指定以外の電池は使わない、新しい電池と古い電池または種類の違う電池をを混ぜて使わない

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

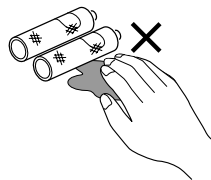
禁止

電池は幼児の手の届く所に置かない

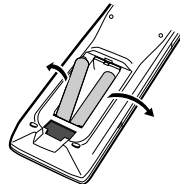
電池を飲み込むと、窒息の原因になります。また胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師に相談してください。

禁止

電池の液が漏れたときは素手でさわらない

電池の液が目に入ると、失明の恐れがあります。こすらずすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

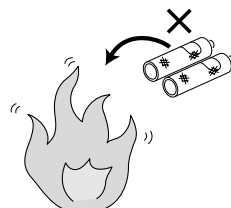
禁止

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ故障、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出す

電池は火や水の中に投入したり、過熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

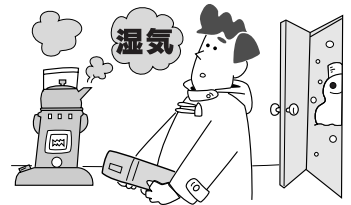
電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

使用上のお願い

結露（つゆつき）について

■ **結露ってどうなるの？**
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。
これを**結露（つゆつき）**とよびます。
本機を
● 寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき。
● 暖房を始めたばかりの部屋で操作するとき。
● 湿気の多いところで使うとき。
● エアコンのそばなど、直接冷風の当たる場所で使うとき。
など、内部で**結露**が起こったり、内部のレンズにつゆ（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。

■ **よく乾燥させてからお使いください。**
このようなときは、**[電源]ボタン**を**「入」**にしたまま**しばらく乾燥のため放置して**、湿気がなくなるまで操作しないでください。乾燥すると正常に動作するようになります。

■ **結露が起こりそうなときは、よく乾燥させてからお使いください。**
本機を移動させたあとなどはすぐに使用せず、**[電源]ボタン**を**「入」**にしたまましばらくは乾燥のため放置して、湿気がなくなるまで操作しないでください。

ディスクの取り扱い

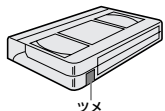
■ 再生面（虹色に光っている面）に触れないように持ちます。
■ 紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
■ 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど、高温になる場所には置かないでください。
（車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。）

■ 使用後は、**所定のケースに入れて、立てて置いてください。**ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。
■ 指紋やホコリによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。
■ お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。
■ ベンジン／レコードクリーナー／静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
■ 再生可能なディスクについては**13ページを参照してください。**

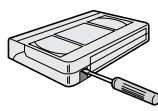
ビデオカセットテープについて

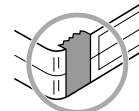
本機のビデオデッキは VHS 方式です。 VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

大切な録画テープを誤って消さないように…

誤消去防止用のツメ

ツメ

• カセットテープには誤消去防止用のツメがついています。

誤って消さないために…

• ドライバーなどでツメを折ります。（ツメ折れテープは録画できません。）

ふたたび録画したいとき…

• セロハンテープを二重に貼り、めくれないようにしてください。

テープの保管は…

● 次のような場所に保管された場合、テープを傷める場合があります。
• 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
• 直射日光が当たるところやストーブの近く
• 磁気の発生するところ
● 落としたり衝撃を与えないでください。
● ケースに入れて保管してください。

録画時間について…

● 標準：画質優先の場合に使用するモードです。テープに表示されている時間を録画することができます。
● 3倍：長時間録画の場合に使用するモードです。テープに表示されている時間の3倍の時間を録画することができます。

テープの種類	標 準	3 倍
T-60	60分	180分
T-120	120分	360分
T-160	160分	480分
T-180	180分	540分

このようなテープは使わないでください！

■ ヘッドのよごれ・目詰まり、テープのからみなど、故障の原因になります。

粘着物、ジュースなどが付いたテープ

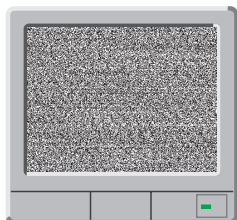
カビが生えたテープ

つないだテープ

分解したテープ

使用上のお願い

映像が映らないとき…

● 突然、画像が下記のようになった場合は、ビデオヘッドが汚れていることが考えられますので市販されている「クリーニングテープ」で、ヘッドクリーニングを定期的に行なってください。

“ノイズ”だけの映像

“ブルー”1色の映像

“ノイズ”が入った映像

● ヘッドクリーニングしても効果がない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

オートヘッドクリーニングおよびビデオヘッドの寿命について

● **オートヘッドクリーニング機能について**
カセットテープを入れたときや、出したときに自動的にビデオヘッドの汚れを取り除きます。上記画像になった場合には、ビデオヘッドのクリーニングが必要です。市販のクリーニングテープでヘッドクリーニングを行なってください。（ただし、取りきれない汚れもあります。）

● **ビデオヘッドの点検について**
美しい画面をご覧いただくためには、使用環境（温度／湿度／ほこり）などによって異なりますが、ビデオヘッドはおよそ1000時間を目安に点検・清掃されることをおすすめします。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

● **ビデオヘッドの交換について**
ビデオヘッドは消耗部品です。ビデオヘッドは高速で回転しながらテープと接触し画像を録画・再生します。そのために長期にわたるテープとの摩擦によりビデオヘッドは磨耗してきます。再生画像が乱れたりクリーニングテープでヘッドクリーニングしても改善しない場合は、ビデオヘッドの磨耗が考えられ交換が必要になります。**お買い求めの販売店にご相談ください。**

市販テープ・レンタルテープのダビングについて

市販のテープやレンタルテープをダビングされた場合、正常に録画できなかったり（画像が乱れる、定期的に暗くなったり明るくなったりする）、テレビの映像が正常に映らない場合があります。これは著作権者保護の目的で、コピーガード機能が働いているために起こる現象です。本機の故障ではありません。

● **あなたがテレビ放送や音楽用CD、録画物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。**

テープ内容補償・ご注意について

● **万一本機およびビデオカセット等の不具合により正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。**

トラッキング調整について

ほかのビデオで録画したテープを本機で再生すると、映像にノイズが発生する場合があります。その調整を行うのが、トラッキング調整で、デジタル調整（自動）とマニュアル調整（手動）の2つの方法があります。初期状態ではテープを再生するとデジタルトラッキング調整が自動的に行われますが、ノイズが少なくならない場合はマニュアルトラッキング調整をしてください。

デジタルトラッキング調整

● 再生中、自動的に調整します。

マニュアルトラッキング調整

● デジタルトラッキング時にテレビ画面を見ながら、ノイズが最も少なくなる状態まで[選局]ボタンを押して調整してください。画面ノイズの発生状況は録画テープにより異なります。（ノイズが少なくなるまで、[選局]ボタンを数回押すか、押し続けてください。）
再生中に[停止]ボタンを押し、もう1度[再生]ボタンを押す。またはビデオカセットテープを入れ直すとデジタルトラッキングに戻ります。

アンテナについて

● 妨害電波を避けるために、電線や道路などからなるべく離してください。
● 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
● アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

ご注意

● 本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、映像または、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。

● 次のような場合に、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、テレビと本機を離してください。
・本機の上に、テレビを直接置いたとき。
・テレビの上に、本機を直接置いたとき。

本機の置き場所や取り扱い

■ **高温状態をさけてください。**
窓を閉めきった自動車の中など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

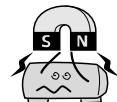
■ **砂に注意しましょう。**
砂浜や砂ぼこりの多いところで使用する場合は、砂などが内部に入らないようにしてください。

■ 携帯電話、トランシーバーなどの強い電波を発生するものの近くに置かないでください。電波の影響で本機が動かなくなります。

■ テレビの近くに置くと、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。このような場合は、テレビから離してください。

■ ご使用にならないときは、必ず**[停止]ボタン**を押してからディスクを取り出し、電源を切ってください。

■ 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて作動させてください。

■ **国外では使えません。**
本機は日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
（This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）

リモコンの取り扱い

■ **乾電池の交換時期**
リモコンで操作できる距離が短くなってきた場合は、乾電池が消耗しています。すべて同時に新品に交換し、新旧をまぜて使用することは避けてください。付属の乾電池は動作確認用のため、通常より寿命が短い場合があります。

■ **リモコン保管時のご注意**
長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。

本機やリモコンのお手入れ

■ **ベンジン、シンナーなどでふかないでください。**
キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。アルコール／ベンジン／シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

■ 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書にしたがってください。

■ キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

■ **お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。**

レーザーピックアップについて

■ この取扱説明書の該当部分と、**「故障かな？と思ったときは」**をよくお読みになり、操作を行なっても正常に動作しない場合は、**レーザーピックアップが汚れている**可能性があります。点検・清掃については、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理について

■ 本機が動作しなくなった場合は、**ご自分で分解や修理をしないでください。**
電源プラグを抜き、お買い上げの**販売店**にご相談ください。

使用上のお願い

リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制にしたがって処分してください。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

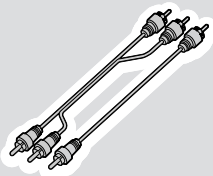
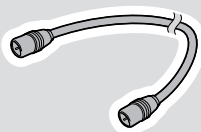
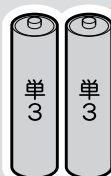
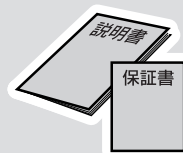
本製品は、著作権保護技術を採用しており、米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。

この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

DVD はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の登録商標です。

本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

本機のプログレッシブ出力（525p／480p）は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては本機プログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪い影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、「初期設定」で[プログレッシブ]を[オフ]にし、本体表示部の[P.SCAN]を消灯させてください。

付属品 (必ずお確かめください)

リモコン　映像・音声コード　同軸ケーブル　単3乾電池(2個)　取扱説明書・保証書

この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVDビデオディスク（DVD-RW/-Rのビデオフォーマット記録のディスクを含む）で楽しめる機能を表します。(本文ではDVDと表現します。)

DVD-RWのVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）記録のディスクで楽しめる機能を表します。

音楽用CDで楽しめる機能を表します。

ビデオCDで楽しめる機能を表します。

MP3が記録されたCD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。

フジカラーCDなどのJPEGが記録されたCD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。

操作上、気をつけていただきたい情報を表します。

用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行なっています。

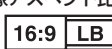
ディスクについて

再生できるディスク

ディスクの種類	ディスクの内容	ディスク盤大きさ
DVDビデオディスク リージョン番号 2 ALL 上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	音　声＋映　像(動画)	12cm盤／8cm盤
DVD-RW/-R DVDレコーダーで記録されたディスク	音　声＋映　像(動画)	12cm盤／8cm盤
DVD+RW/+R DVDレコーダーで記録されたディスク	音　声＋映　像(動画)	12cm盤
ビデオCD NTSC方式のビデオCD	音　声＋映　像(動画)	12cm盤／8cm盤
音楽用CD	音　声	12cm盤 8cm盤（シングル）
CD-RW / CD-R 音楽用CD/MP3ファイル形式で記録されたディスク	音　声	12cm盤／8cm盤
CD-RW / CD-R JPEGファイル形式で記録されたディスク	静止画像	12cm盤／8cm盤
フジカラーCD	デジタル画像	12cm盤

・ディスクレーベル面に上記ロゴマークが入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用された場合は、再生できない場合があります。また、再生できた場合でも、画質、音質の保証は致しかねます。
・ディスクの記録状態、傷、汚れやDVD再生機のレーザーピックアップの状態により再生ができない場合があります。

DVD-RW/-Rディスクの再生について
・再生できるDVD-Rディスクは、ビデオフォーマットで記録されているディスクです。VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたディスクは再生できません。
・再生できるDVD-RWは、ビデオフォーマットまたはVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されているディスクです。
・DVD-RW/-Rディスクは、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行なってください。
・ビデオフォーマット、VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）、ファイナライズ等、DVD-RW/-Rについて詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

RW COMPATIBLE この表示は、DVDレコーダーでVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示します（CPRM対応）。

DVD+RW/+Rディスクの再生について
・再生できるDVD+RW/+Rは、ビデオフォーマットでファイナライズ済みのディスクです。

ちょっと一言！
DVDビデオディスク
● 本機のDVDプレーヤーは、NTSC方式に適合しています。PALやSECAMなどの，ほかの方式で記録されたディスクは再生できません。
● DVDビデオには、リージョン番号（再生可能地域番号）が設けられています。
本機のリージョン番号（再生可能地域番号）は「2」です。（リージョン番号が2以外でも「ALL」と表記されているディスクは、再生できます。）

DVDビデオディスクに表示されている マーク

マーク	説明	マーク	説明
音声記録方式 4	複数の音声トラックが収録されていることを示すマークです。マーク内に記載されている数字は、ディスクに収録されている音声数を示します。	マルチアングル機能表示 2	マルチアングル機能を有するディスクであることを示すマークです。マーク内に記載されている数字は、アングル数を示します。
サブタイトル表示 2	ディスクに収録されている字幕言語数を示すマークです。マーク内に記載されている数字は、字幕言語数を示します。	映像アスペクト比表示 16:9 LB	アスペクト比切り換え可能な画面タイプを示すマークです。
リージョン番号 2 ALL	再生可能地域番号を表示しています。		

ちょっと一言！
■ 上記のディスク以外は再生できません。
■ 記録時間が短いディスクは、再生できない場合があります。
■ 8cmアダプター（音楽CD用）は使わないでください。故障の原因となります。
■ DVD-RW/-R、CD-RW/-Rを再生するとき、ディスクの記録状態が記録用機器、ディスク自体の状態、ディスクとの相性によっては再生できないことがあります。
■ CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生の状態を保証できません。特殊ディスク再生時にのみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。
■ ディスクにラベルや紙などを貼り付けると、再生できない場合があります。

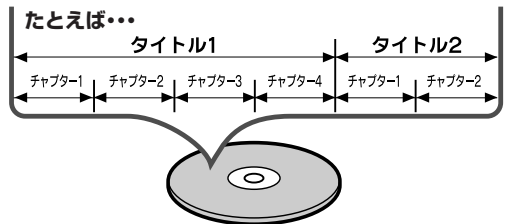
ディスクについて

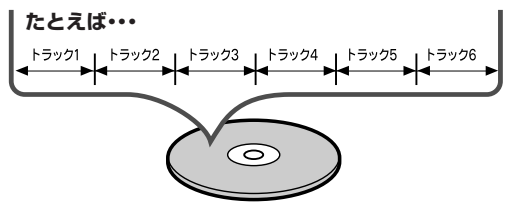
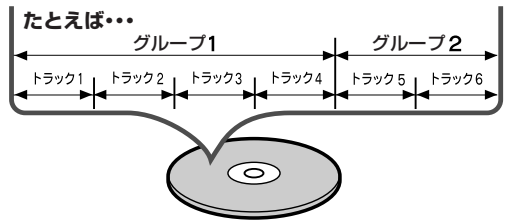
ディスクの構成

DVD

ディスク上のデータは、**タイトル**とよばれる部分に分けられており、また各**タイトル**は、**チャプター**というさらに小さな部分に分けられ、それぞれにタイトル番号またはチャプター番号が与えられています。
一部のディスクでは、再生条件があらかじめ設定されており、お客様の操作よりもこの再生条件の方が優先されます。
ご自分が選択した機能が希望どおりに実行されない場合には、ディスクに付属されている説明書をお読みください。

音楽用CD ビデオCD VIDEO CD

たとえば・・・
トラック1 トラック2 トラック3 トラック4 トラック5 トラック6

音楽用CDやビデオCD上のデータは、**トラック**とよばれる部分に分けられ、それぞれにトラック番号がつけられています。

CD-RW/-R
(MP3/JPEGファイル形式)

CD-RW/-Rに記録されているMP3およびJPEGのデータは**グループ**とよばれる部分に分けられ、**各グループ**は**トラック**とよばれる小さな部分に分けられています。MP3またはJPEGデータ作成の際、アルバムやトラックは**階層**に分けて記録させることができます。(記録方法はMP3レコーダーなどの説明書をご覧ください。)本機では8階層まで認識することができます。

ビデオCDについて

ビデオCDには下記の2種類のソフトがあり、それぞれ操作や機能が違います。
■ PBC対応でないソフト(バージョン1.1)
音楽用CDと同様に操作します。映像と音楽が再生できます。
■ PBC対応ソフト(バージョン2.0)
対話型、検索機能などソフト固有のメニューがついており、メニュー画面にしたがって多様な再生ができます。
● PBCとはプレイバックコントロールの略称です。
● ビデオCDバージョン2.0(PBC対応ソフト)には、再生をコントロールするための信号が記録されています。本機でPBC対応ソフトを再生すると、PBC機能により、ディスク固有のメニュー画面を使って動画や静止画再生を可能にします。
● PBC(プレイバックコントロール)対応ソフトはそれぞれ操作が異なります。操作方法についてはソフトに付属の説明書にしたがってください。
● PBC対応ソフトは説明書やケースに種類が記されています。

ご注意

● PBC対応ソフト再生時は、PBC機能が優先され、本機側の設定(希望するところからの再生やリピート再生)は、機能しません。PBC機能を解除し、本機側の設定を機能させることができます。[➡ 63ページ]

1　**電源ボタン**
電源を入／切します。
・電源ランプ
本機の電源が入っているときに点灯します。

2　**巻戻しボタン（ビデオ）**[38、39ページ]
ビデオテープの巻戻しをします。

3　**早送りボタン（ビデオ）**[38、39ページ]
ビデオテープの早送りをします。

4　**停止／テープ取出しボタン（ビデオ）**[37ページ]
ビデオの再生／録画を止めます。テープが停止しているときはテープの取り出しをします。予約スタンバイ中はスタンバイを解除します。

5　**再生ボタン（ビデオ）**[37ページ]
ビデオの再生を開始します。

6　**録画ボタン（ビデオ）**[42ページ]
録画を開始します。

7　**予約ランプ（ビデオ）**[47ページ]
録画予約スタンバイ状態のときに点灯します。

8　**表示部**[18ページ]

9　**選局ボタン（ビデオ）**[10、42、59ページ]
ビデオランプ点灯時には、本機のチャンネルを変えます。再生中にマニュアルトラッキング調整するときにも使用します。

10　**ビデオランプ**[26ページ]
本機がビデオモードになっているときに点灯します。

11　**DVD／ビデオ出力切換ボタン**[26ページ]
本機をビデオモードまたはDVDモードに切り換えます。

12　**DVDランプ**[26ページ]
本機がDVDモードになっているときに点灯します。

13　**停止ボタン（DVD）**[61、63ページ]
ディスクの再生を止めます。

14　**再生ボタン（DVD）**[61、63ページ]
ディスクの再生を開始します。

15　**ディスクトレイ（DVD）**[62ページ]
ディスクをセットします。

16　**トレイ開／閉ボタン（DVD）**[62ページ]
ディスクトレイを開／閉します。

17　**カセットドア（ビデオ）**[37ページ]
ビデオテープをセットします。

18　**映像入力端子（ビデオ）**[58ページ]
他機器との接続に使用します。

19　**音声入力（左／右）端子（ビデオ）**[58ページ]
他機器との接続に使用します。

20　**D1/D2映像出力端子（DVD）**[22ページ]
市販のD端子ケーブルを接続します。

21　**VHF/UHFアンテナ入力端子（ビデオ）**[19～21ページ]
アンテナ線を接続してください。

22　**光デジタル音声出力端子（DVD）**[24、25ページ]
市販のオーディオ用光デジタルケーブルを接続します。

23　**同軸デジタル音声出力端子（DVD）**[24、25ページ]
市販の同軸ケーブルを接続します。

24　**DVD音声専用出力（左／右）端子（DVD）**[22、23ページ]
市販の音声コードを接続します。

25　**S映像出力端子（DVD）**[22ページ]
市販のS映像ケーブルを接続します。

26　**DVD／ビデオ共通出力端子**[21ページ]
付属の映像・音声コードを接続します。

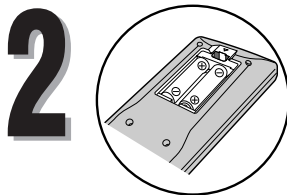
27　**ビデオ専用入力端子**[53、58ページ]
他機器との接続に使用します。

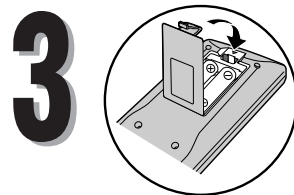
28　**VHF/UHFアンテナ出力端子**[19～21ページ]
付属の同軸ケーブルを接続してください。

各部のなまえ

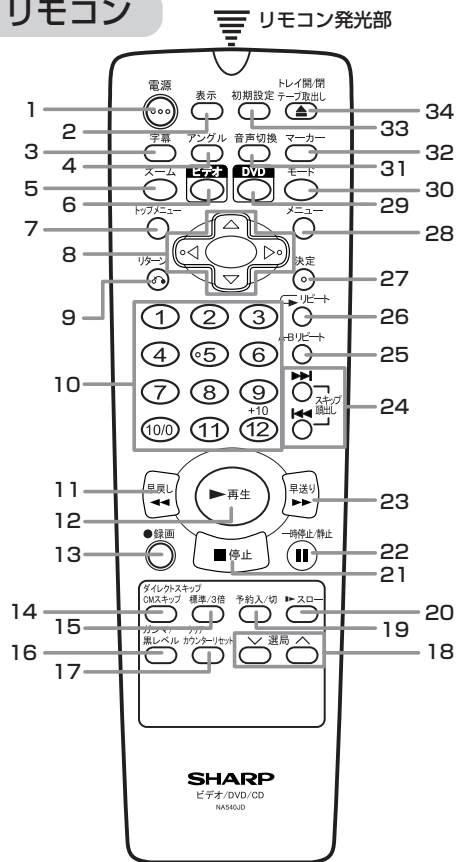
リモコン乾電池の入れかた

1

リモコン裏側のフタをはずす

2

乾電池を入れる
●⊕ ⊖を確かめる
●⊖側を先に入れる

3

フタをつける

リモコン

■ 乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつを起こすことがありますので、次の点について特にご注意ください。

⚠注意

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり充電したり分解したりしないでください。
- 乾電池は種類によって特性が異なります。種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら…
  液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 不要になった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）にしたがって処理してください。

ちょっと一言！

■ リモコンには衝撃を与えないでください。
■ リモコンを水に濡らしたり湿度の高いところには置かないでください。
■ 乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。
このようなときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し、5分以上たってから入れ直してください。
■ 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
■ 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。早めに新しい乾電池と交換してください。（寿命は通常6ヶ月～1年が目安です。）
■ 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。
■ リモコンは発光部を本体のリモコン受光部に向け、本体正面で約7m以内のところから操作してください。

リモコンの操作方法

リモコン受光部にむけて
操作してください。

操作可能範囲

距離－本体正面より7m以内
角度－本体正面より左右30度以内5m以内
上15度以内5m以内
下30度以内3m以内

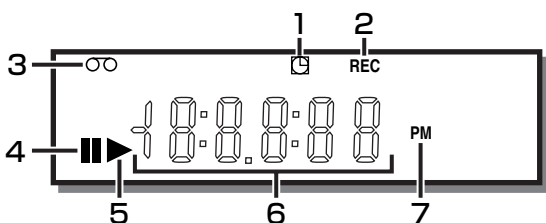
1 **電源ボタン**
2 **表示ボタン（ビデオ／DVD）**
（ビデオ）[58ページ]
・ビデオの状態／テープポジション／カウンター／時刻／チャンネル／音声モードを表示します。
（DVD）[90ページ]
・ディスクの情報を画面に表示します。
3 **字幕ボタン（DVD）[80ページ]**
字幕（言語）を選択します。
4 **アングルボタン（DVD）[81ページ]**
・アングルが記録されているDVDビデオの再生で、アングル（角度）を変更します。
5 **ズームボタン（DVD）[82ページ]**
DVD（ビデオCD）再生画像の一部を拡大します。
6 **ビデオボタン［26ページ］**
リモコンでビデオ操作をするときに使用します。映像／音声出力をビデオに切り換えます。
7 **トップメニューボタン（DVD）[74ページ]**
最上層のDVDディスクメニュー画面を表示します。
8 **カーソルボタン（4方向）[27、28ページ]**
画面での設定に使用します。
9 **リターンボタン（DVD）[73、96ページ]**
１つ前の設定画面に戻ります。PBC対応ビデオCD再生時、ディスクメニューを表示する時に使用します。また音楽用CD、MP３、JPEGでプログラムの内容を記憶した状態で停止するときに使用します。
10 **数字ボタン［76、78ページ］**
各設定、選択などに使用します。
・+10ボタン
2桁以上の数字を入力するときに使用します。
11 **早戻しボタン（ビデオ／DVD）**
（ビデオ）[38、39ページ]
・ビデオの巻戻しをします。
（DVD）[64ページ]
・お好みの位置まで戻します。また、逆スロー再生するときにも使用します。
12 **再生ボタン（ビデオ／DVD）**
（ビデオ）[37ページ]
・ビデオの再生を開始します。
（DVD）[63ページ]
・ディスクの再生を開始します。
13 **録画ボタン（ビデオ）[42、44ページ]**
録画を開始します。
14 **ダイレクトスキップ/CMスキップボタン（ビデオ／DVD）**
CMスキップ（ビデオ）[57ページ]
・再生中にCMスキップを行います。
ダイレクトスキップ（DVD）[76～78ページ]
・希望するタイトル、チャプター、タイムカウント、トラックからの再生をします。
15 **標準／3倍ボタン（ビデオ）[42ページ]**
テープの録画モードを変えます。
16 **ガンマ／黒レベルボタン（DVD）[92ページ]**
画面で暗いところを明るくします。
17 **クリアー／カウンターリセットボタン（ビデオ／DVD）**
カウンターリセット（ビデオ）[18ページ]
・テープのカウント表示をリセットします。
クリアー（DVD）[70、71ページ]
・各設定の取り消しに使用します。
18 **選局ボタン（ビデオ）[10、42、59ページ]**
テレビチャンネルを選択します。再生中にマニュアルトラッキングをするときにも使用します。
19 **予約入／切ボタン（ビデオ）[47ページ]**
録画予約の入／切に使用します。
20 **スローボタン（ビデオ）[38ページ]**
スロー再生時に使用します。
21 **停止ボタン（ビデオ／DVD）**
（ビデオ）[37ページ]
・ビデオの再生を止めます。
（DVD）[63ページ]
・ディスクの再生を止めます。
22 **一時停止／静止ボタン（ビデオ／DVD）**
一時停止（ビデオ）[41、43、60ページ]
・ビデオの再生／録画を一時止めます。
静止（DVD）[66、67ページ]
・ディスクの再生を一時止めます。また、コマ送りするときに使用します。
23 **早送りボタン（ビデオ／DVD）**
（ビデオ）[38、39ページ]
・ビデオの早送りをします。
（DVD）[64ページ]
・お好みの位置まで送ります。また、スロー再生するときにも使用します。
24 **スキップ／頭出しボタン（ビデオ／DVD）**
頭出し（ビデオ）[56ページ]
・録画テープの頭出しをします。
スキップ（DVD）[66ページ]
・チャプターやトラックをスキップします。
25 **A-Bリピートボタン（DVD）[70ページ]**
お好みの部分だけを繰り返し再生します。
26 **リピートボタン（DVD）[69ページ]**
再生中のディスク、タイトル、チャプター、トラックを繰り返し再生します。
27 **決定ボタン（ビデオ／DVD）[27、71ページ]**
設定を決定したりメニュー画面で項目を選択します。
28 **メニューボタン（ビデオ／DVD）**
（ビデオ）[28、40ページ]
・ビデオメニューを表示します。
（DVD）[27、73ページ]
・ビデオCD以外のディスクのディスクメニュー画面を表示します。
29 **DVDボタン［26ページ］**
リモコンでDVD操作をするときに使用します。映像／音声出力をDVDに切り換えます。
30 **モードボタン（DVD）**
[71、72、87、88、89、92ページ]
停止中に押すとプログラム再生画面とランダム再生画面を切り換えます。（CD、MP3、JPEG）再生中に押すと早見・早聞き／遅見・遅聞きモードになります。MP3/JPEGディスクをフォルダごとに再生するときに使用します。バーチャルサラウンドを設定するときに使用します。
31 **音声切換ボタン（ビデオ／DVD）**
（ビデオ）[55ページ]
・ステレオ／モノラル／左音声／右音声または、主音声／副音声の切り換えをします。
（DVD）[79ページ]
・希望する音声（言語）を選択します。
32 **マーカーボタン（DVD）[93ページ]**
頭出ししたい箇所を指定します。
33 **初期設定ボタン（DVD）[95ページ]**
設定を変更するときに使用します。
34 **トレイ開／閉／テープ取出しボタン（ビデオ／DVD）**
テープ取出し（ビデオ）[37ページ]
・テープを取り出します。
トレイ開／閉（DVD）[62ページ]
・トレイを開閉します。

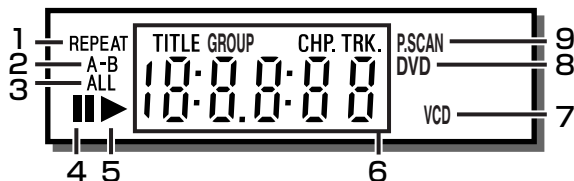
ちょっと一言!
■ リモコンへの電池の入れかた、操作方法については、16ページをご覧ください。

各部のなまえ

表示部について

ビデオモードのときはビデオの表示、DVDモードのときはDVDの表示をします。

[ビデオ]

1. **タイマーセット表示[44ページ]**
ビデオが予約スタンバイ中、または予約録画中に点灯します。
2. **録画表示[42ページ]**
録画中に点灯します。また、録画中に一時停止すると点滅します。
3. **ビデオテープ表示[37ページ]**
ビデオテープが本体に入っているときに点灯します。
4. **一時停止表示[41ページ]**
入っているビデオテープが一時停止状態になると点灯します。
5. **再生表示[37ページ]**
入っているビデオテープが再生されているときに点灯します。
6. **再生時間表示**
現在の時刻やビデオテープのカウンターを表示します（再生、録画時間の表示）。
7. **午後表示[29ページ]**
午後になると表示します。（午前は表示されません。）

[DVD]

1. **リピート表示[69ページ]**
リピート機能が選択されているときに点灯します。
2. **A-Bリピート表示[70ページ]**
A-Bリピート機能が選択されているときに点灯します。
3. **オールリピート表示[69ページ]**
オールリピート機能が選択されているときに点灯します。
4. **一時停止表示[66ページ]**
入っているディスクが一時停止状態のときと、スロー再生中に点灯します。
5. **再生表示[65ページ]**
入っているディスクが再生されているときと、スロー再生中に点灯します。
6. **タイトル／チャプター／トラック／再生時間表示[90ページ]**
現在再生されているディスクの経過時間を表示します。チャプターかトラックを切り換えると、新しいタイトル、チャプターまたはトラックの番号が表示されます。
7. **VCD／CD表示[62ページ]**
－**CD**　：CDがトレイに入っているときに点灯します。
－**VCD**：ビデオCDがトレイに入っているときに点灯します。
8. **DVD表示[62ページ]**
DVDがトレイに入っているときに点灯します。
9. **プログレッシブ表示[23ページ]**
[プログレッシブ]が[オン]のときに点灯します。

表示管の表示例

動作時のディスプレイ表示について

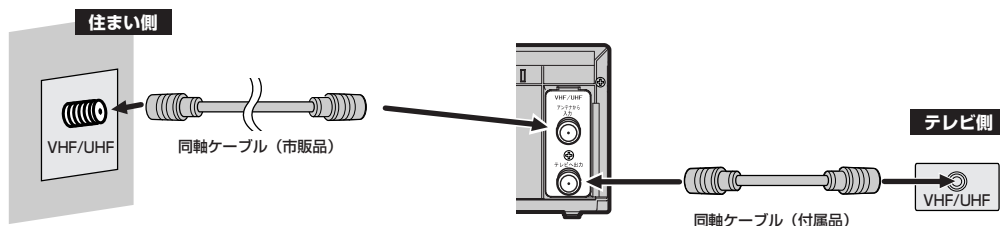
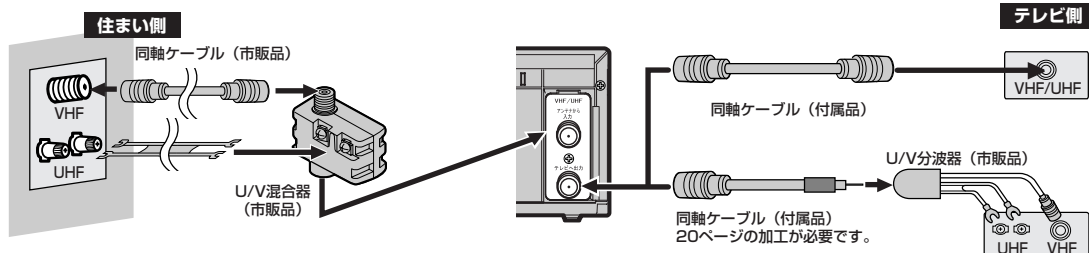
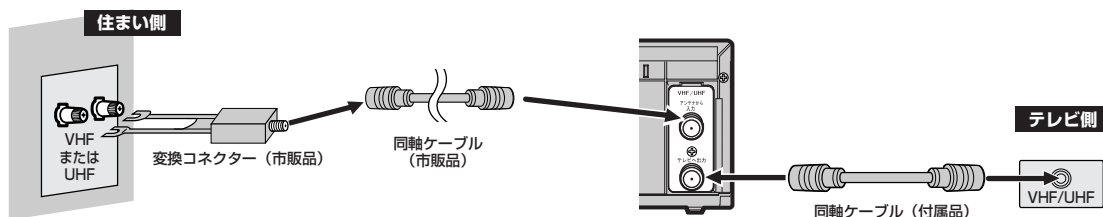
トレイを開けたとき	OPEN	トレイを閉めたとき	CLOSE
ディスクが入っていないとき	-----	ディスク読み込み中	Load
PBC対応ソフトがトレイに入っていて、PBC機能がONのとき	Pbc		

■ スロー再生中は、再生表示と一時停止表示が同時に点灯します。

アンテナ線のつなぎかた

アンテナ線の接続をしないと、テレビ放送の録画はできません。
同軸ケーブルをアンテナプラグまたは、U/V分波器（市販品）に取りつけるには加工が必要です。[➡ 20ページ]
壁にアンテナ端子がある場合はアンテナ線を取りはずしアンテナ〜本機間に付属（または市販品）の同軸ケーブルを使用します。取りはずしたアンテナ線は本機〜テレビ間に接続してください。

接続に使う部品（必要に応じて市販品または付属品をお使いください）			
同軸ケーブル（付属品）	同軸ケーブル（市販品）	アンテナプラグ（市販品）	U/V混合器（市販品）

住まい側にVHF/UHF混合アンテナ線がついている場合

住まい側にVHFとUHFアンテナ線の両方がついている場合

住まい側にVHFまたはUHFアンテナ線がついている場合

アンテナ接続について…

- ■ お手持ちのテレビやお住まいの地域によってアンテナ線の種類やテレビとの接続方法は違います。
- ■ アンテナ線の種類により、アンテナプラグ（市販品）やU/V混合器（市販品）が必要です。
- ■ 電波が弱い地域の場合、「アンテナブースター（市販品）」をご使用いただくことにより、電波の利得を全体に増幅させることはできますが、ノイズも同じく増幅されるために、テレビ画像にノイズが残る場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

現在お使いのテレビに本機を接続する場合

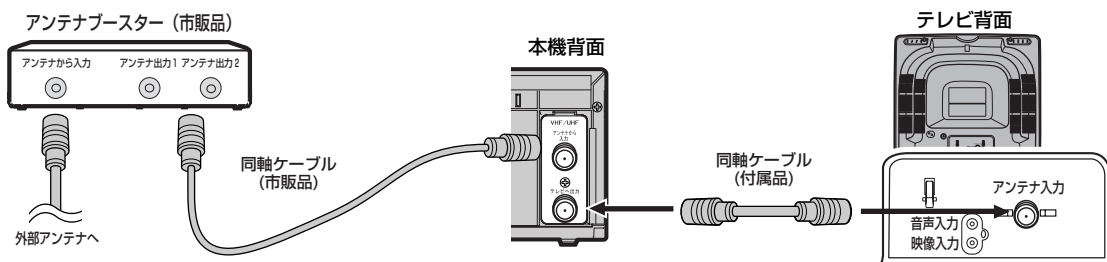
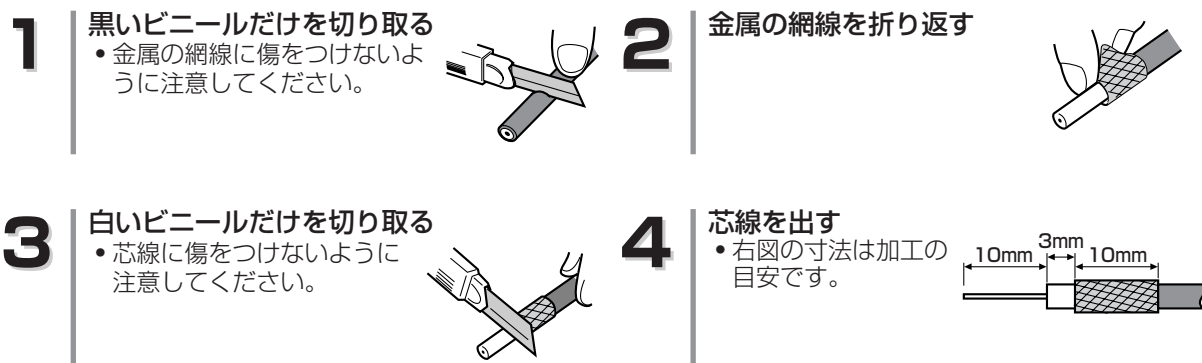
現在お使いのテレビに本機を接続する場合（電波が弱い場合の接続方法）

同軸ケーブルの加工のしかた

1 黒いビニールだけを切り取る
- 金属の網線に傷をつけないように注意してください。

2 金属の網線を折り返す

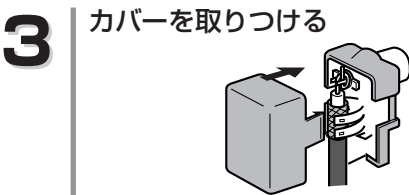
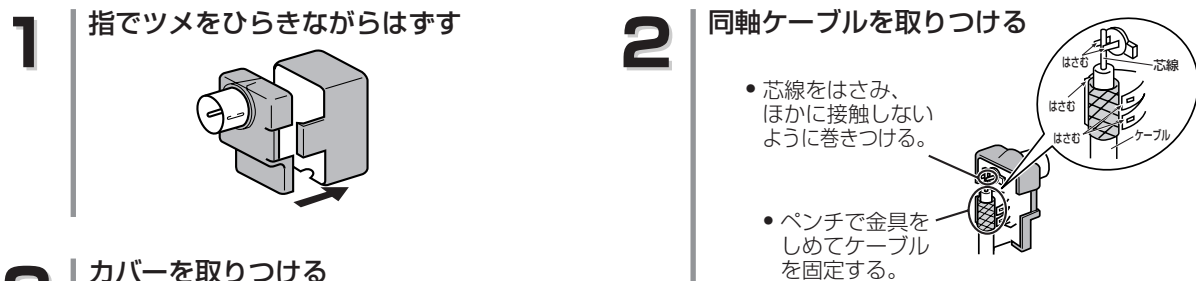
3 白いビニールだけを切り取る
- 芯線に傷をつけないように注意してください。

4 芯線を出す
- 右図の寸法は加工の目安です。

同軸ケーブルとアンテナプラグ（市販品）のつなぎかた

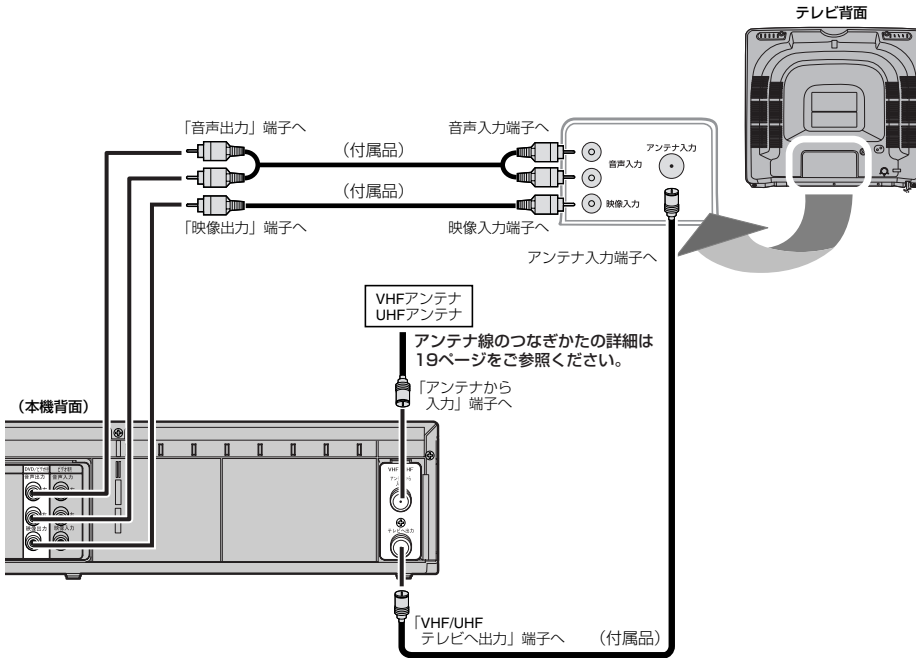
1 指でツメをひらきながらはずす

2 同軸ケーブルを取りつける

- 芯線をはさみ、ほかに接触しないように巻きつける。
- ペンチで金具をしめてケーブルを固定する。

3 カバーを取りつける

本機とテレビのつなぎかた

● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- テレビとの接続のしかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

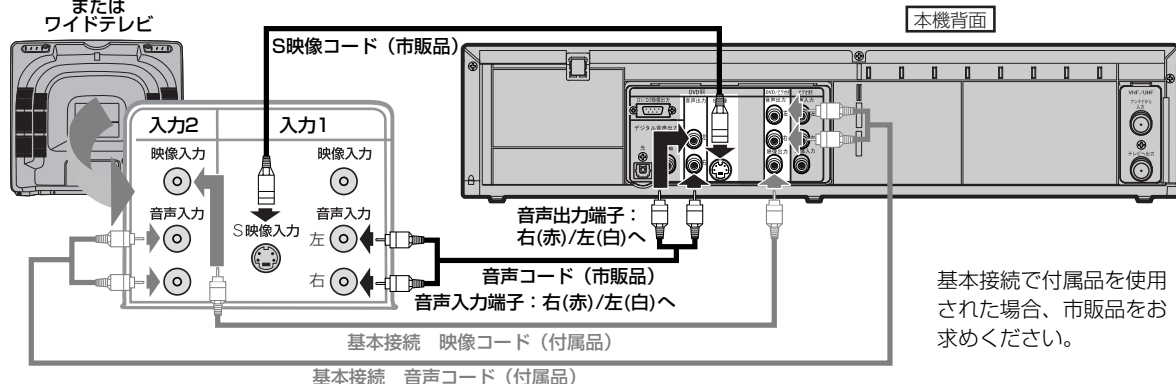
[基本接続]
この接続はビデオとDVDを切り換えてお楽しみいただくための基本的接続です。
DVDをより鮮明な画像でお楽しみいただくには、DVD専用端子への接続をおすすめします。
（接続端子に対応するテレビが必要です。）

- 本機でビデオやDVDをご覧になるときはテレビ側をビデオ（外部／AUXなど）にしてください。
- テレビ側にビデオ入力（映像／音声）端子がないときは本機と接続できません。

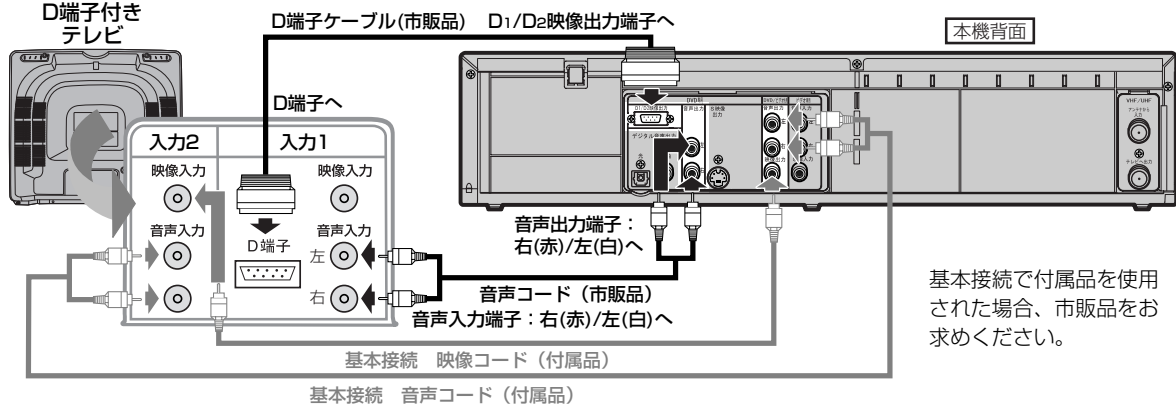
ちょっと一言！

■ 電波が弱い地域では、本機にアンテナ線を接続するとテレビの映りが悪くなることがあります。このようなときは販売店にご相談ください。

入力が2系統あるテレビをお持ちの場合、S映像接続またはD端子接続で、より鮮明な映像をお楽しみいただけます。

S映像入力端子付テレビでDVDをお楽しみいただく場合…

この接続はDVDをより鮮明な映像でお楽しみいただくためのものです。
黄色の映像コードで接続する代わりに市販のS映像コードを使用して接続します。
さらに鮮明な映像を楽しむことができます。

D端子付テレビをお使いの場合…

この接続はDVDをより鮮明な映像でお楽しみいただくためのものです。
黄色の映像コードで接続する代わりに市販のD端子ケーブルを使用して接続します。
高品質な映像を楽しむことができます。

■ テレビのコンポーネント（色差）入力端子がY, C_B／P_B, C_R／P_Rのピンジャックタイプのときは、市販品のコンポーネントビデオケーブル（D-ピンプラグ×3）をご使用ください。

コンポーネント映像入力端子（D端子）とは？

■ コンポーネント映像入力端子（D端子）を備えたテレビやモニターに接続することで、さらに高品質の画像を楽しむことができます。
D_1／D_2映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐときは、D端子ケーブル（市販品）を使って、D映像入力端子につなぎます。ケーブル1本で、簡単にコンポーネント映像の接続ができ、より高画質な映像を楽しめます。
コンポーネント映像入力端子の名称はテレビメーカーごとに異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

プログレッシブの設定（工場出荷時は[オフ]）

■ 接続するテレビに合わせて設定してください。テレビがプログレッシブ方式（525p／480p）に対応している場合、本機のD1／D2端子を使って接続し、「初期設定」で[プログレッシブ]を[オン]にしてください。[➥ 99、101ページ] またテレビをプログレッシブモードにします。通常の（プログレッシブ方式に対応していない）テレビをお使いの場合は、[プログレッシブ]を[オフ]にしてください。

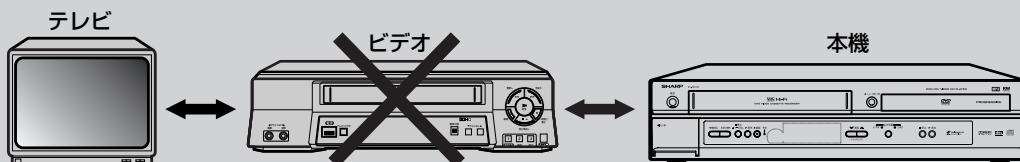
・テレビモニターの映像入力端子がBNCタイプの場合は、市販のアダプターを使用してください。

プログレッシブ方式とは？

■ プログレッシブ方式では従来方式のインターレース方式に対して、よりちらつきの少ない高密度の画像をお楽しみいただけます。

ちょっと一言！

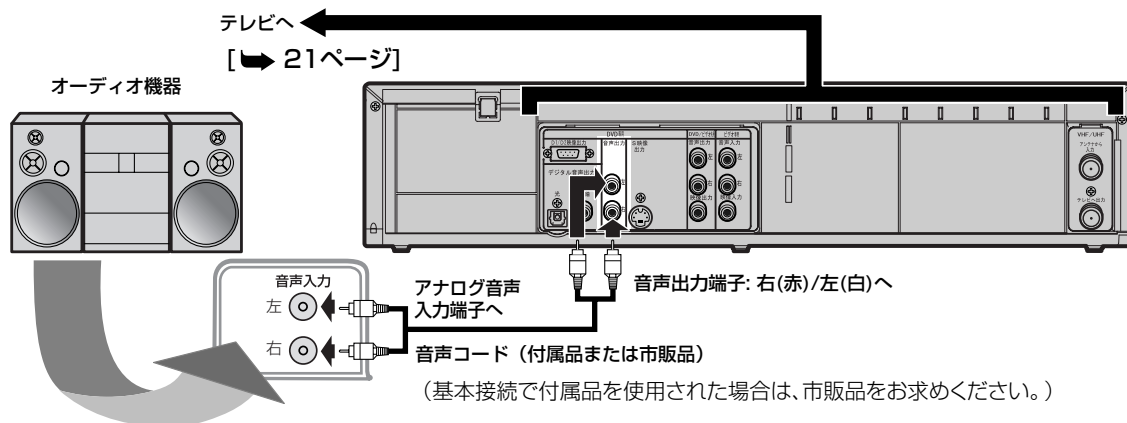
■ ワイドテレビ（16:9）に接続した場合は、本機の設定を変更する必要があります。
[➥ 99〜100ページ]

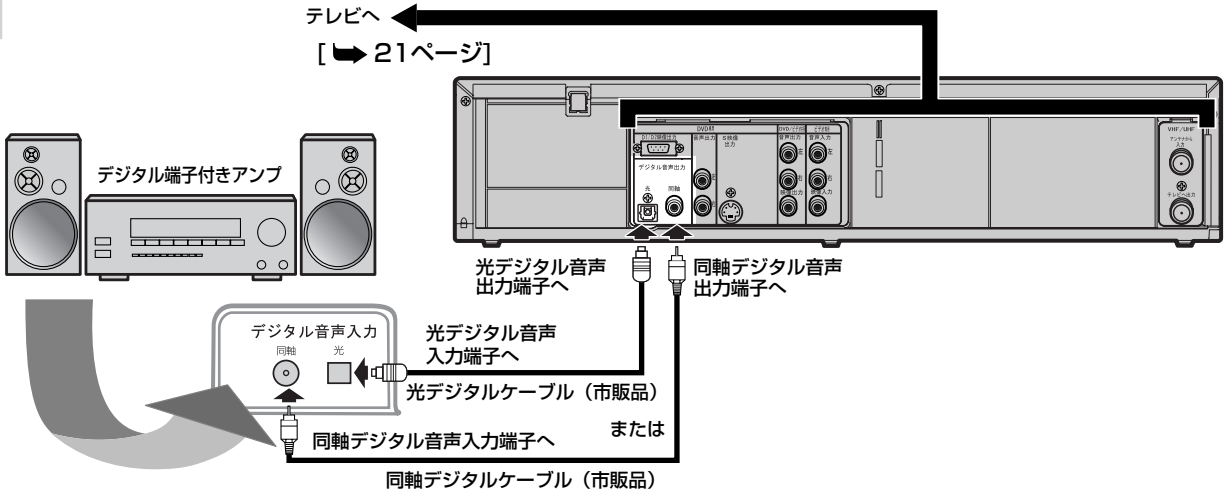
■ 本機はテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビを間に挟んでテレビに接続したり、録画してテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。

■ 本機はハイビジョン対応のコンポーネント（Y, PB, PR）映像入力端子には対応しておりませんので、接続しないでください。（映像は映りません。）

アナログオーディオ機器との接続

● 接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

（基本接続で付属品を使用された場合は、市販品をお求めください。）

デジタル入力端子付きアンプとの接続

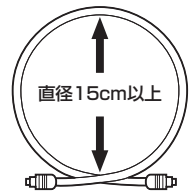
● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

デジタル入力端子付きアンプとの接続には、同軸デジタルケーブル（市販品）または光デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

ちょっと一言！
■ 各音声モードに対応していないアンプをご使用の場合は、「初期設定」で[ドルビーデジタル]を[DPCM]、[DTS]を[オフ]にしてください。（工場出荷時設定は、[ドルビーデジタル]は[ビットストリーム]、[DTS]は[オフ]です。）正しくない設定でDVDディスクを再生すると、音が歪みスピーカーが壊れることがあります。[➡ 102～103ページ]
■ ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

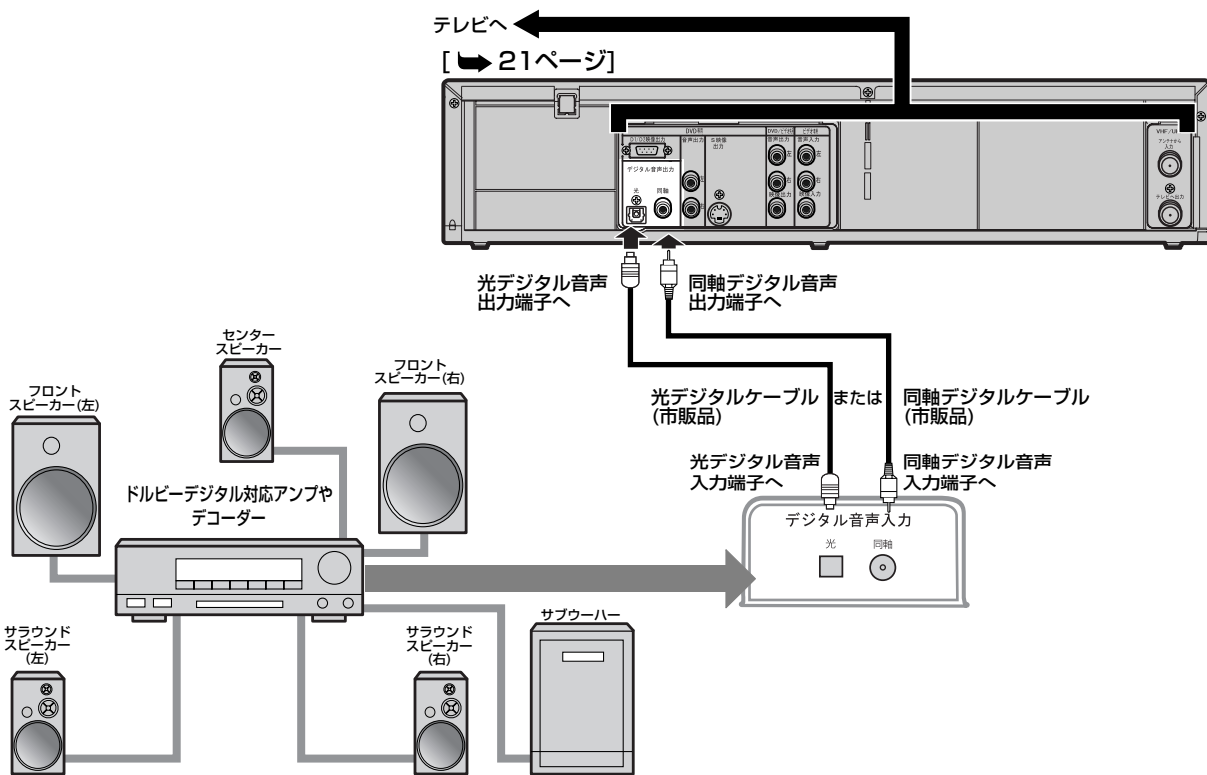
光デジタル音声出力端子について

■ 光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、またほかの外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。

光デジタルケーブルについて

■ 光デジタルケーブル（市販品）をお求めになるときは、あらかじめ接続されている機器の端子形状をご確認ください。光角形プラグと光ミニプラグがあります。
■ 光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
■ ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
■ 長さは3m以下のものを使用してください。
■ プラグにほこりがある場合には、柔らかい布でふいてから接続してください。

ドルビーデジタル、DTS対応アンプやデコーダーとの接続

● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

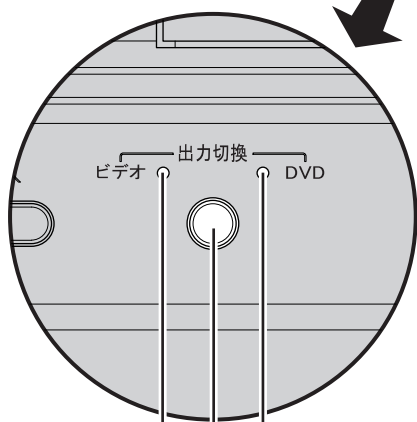
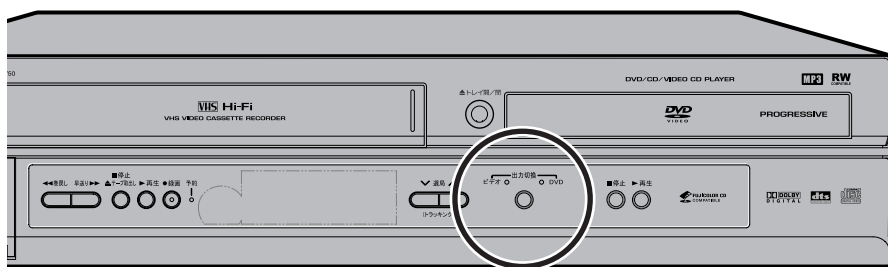
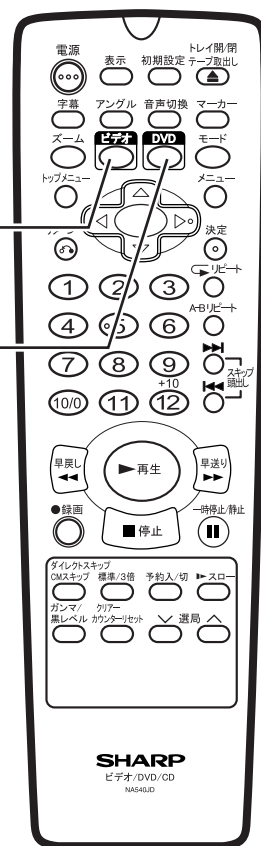
5.1チャンネルドルビーデジタルサラウンド、またはDTSサラウンドフォーマットのDVDディスクを再生するときには、ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに本機を接続することで高品質のサラウンド音声をお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、同軸デジタルケーブル（市販品）、またはオーディオ用光デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

ちょっと一言！

■ ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「初期設定」で[ドルビーデジタル]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 102～103ページ]

■ DTS対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「初期設定」で[DTS]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 102～103ページ]

■ ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに接続しない場合には、「初期設定」で[ドルビーデジタル]を[DPCM]、[DTS]を[オフ]にしてください。（工場出荷時設定は、[ドルビーデジタル]は[ビットストリーム]、[DTS]は[オフ]です。）正しくない設定でDVDディスクを再生すると音が歪みスピーカーが壊れることがあります。[➡ 102～103ページ]

ビデオ／DVDの切り換え操作について

本製品はビデオデッキとDVDプレーヤーが一体型になっており、操作時はビデオとDVDを切り換える必要があります。
電源を入れ、以下の操作を行なってから各操作を行なってください。
※ 以下（29ページ以降）の説明においては、リモコンを主体とした説明になりますが、ご了承ください。

ビデオを操作する時

■リモコンの[ビデオ]ボタンを押します。
（本体のビデオランプが点灯します。）

＊本体の[DVD／ビデオ出力切換]ボタンは映像、音声切り換えのみを行います。続いてリモコンでビデオ操作を行うときは、リモコンの[ビデオ]ボタンを押してから各操作ボタンを押してください。

DVDを操作する時

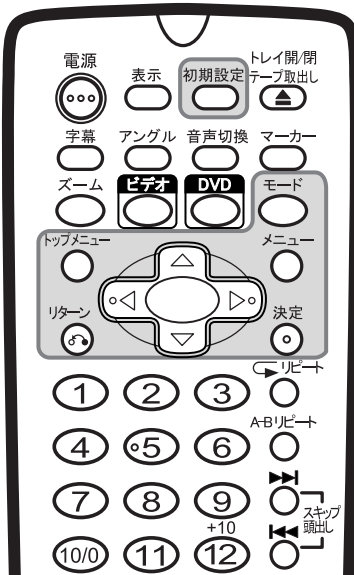
■リモコンの[DVD]ボタンを押します。
（本体のDVDランプが点灯します。）

＊本体の[DVD／ビデオ出力切換]ボタンは映像、音声切り換えのみを行います。続いてリモコンでDVD操作を行うときは、リモコンの[DVD]ボタンを押してから各操作ボタンを押してください。

本製品の機能操作について

本機はクイックセットアップ画面（図1）にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン（図2）を使用し設定します。
※62ページ以降の説明においては、リモコン主体とした説明となります。

図1 クイックセットアップ画面（テレビ画面）

図2 リモコン 操作ボタン

各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・メニュー画面を呼び出す	メニュー	メニュー
・タイトルメニューを呼び出す	トップメニュー	トップメニュー
・初期設定(セットアップ)画面を呼び出す	初期設定	初期設定
・選択項目の移動	カーソル	
・選択項目の確定	決定	決定
・項目の戻り	リターン	リターン
・プログラム画面切り換え	モード	モード

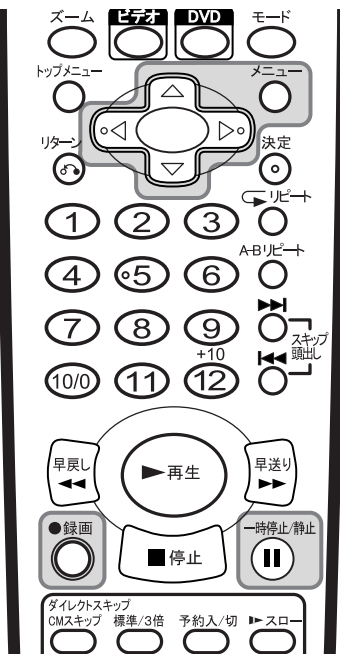
ビデオ

本機はメニュー画面（図1）にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン（図2）を使用し設定します。
※29ページ以降の説明においては、リモコン主体とした説明となります。

図1 メニュー画面（テレビ画面）

図2 リモコン 操作ボタン

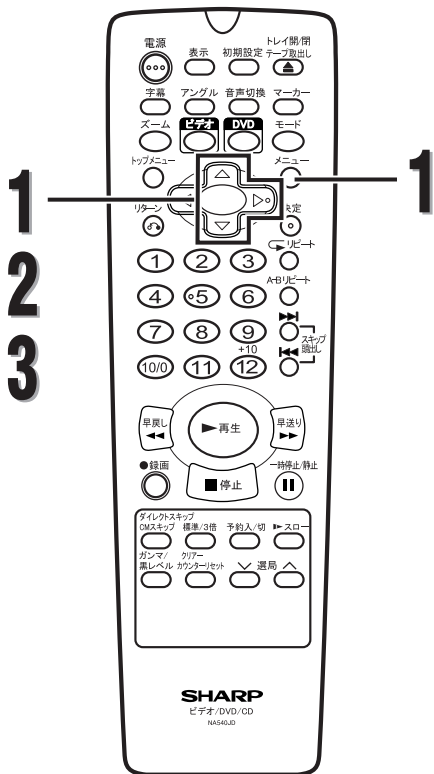
各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・メニュー画面を呼び出す	メニュー	メニュー
・メニュー項目の選択 ・録画予約時の数値選択	カーソル	△ ▽
・選択項目の確定/移動	カーソル	▷
・項目の戻り ・予約の取り消し	カーソル	◁
・録画予約の延長	録画	●録画
・録画予約の延長取り消し	一時停止/静止	一時停止/静止

カーソルボタン[▲]を押すと、上へ移動または大きい数字になり、カーソルボタン[▼]を押すと、下へ移動または小さい数字になります。

日付と時刻の合わせかた

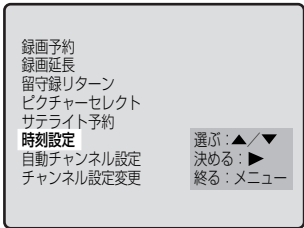
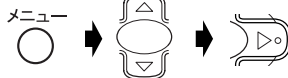
表示部の時刻表示が [−−：−−] になっているときは、時刻を合わせてください。
（時刻設定をしないと、録画予約はできません。）
電源が「入」になっていることを確認してください。操作は、テレビにメニュー画面を表示して行います。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

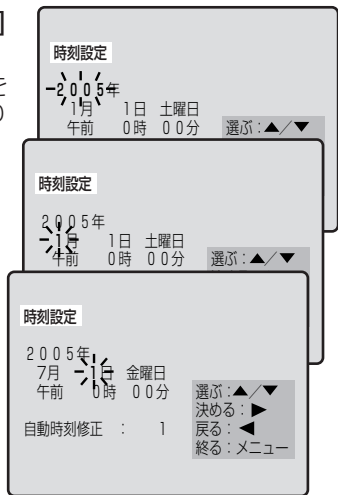
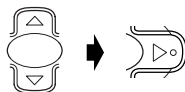
1

[メニュー]ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。
- カーソルボタン[▲/▼]を押して[時刻設定]を選択します。カーソルボタン[▶]を押して次の画面へ移ります。

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更

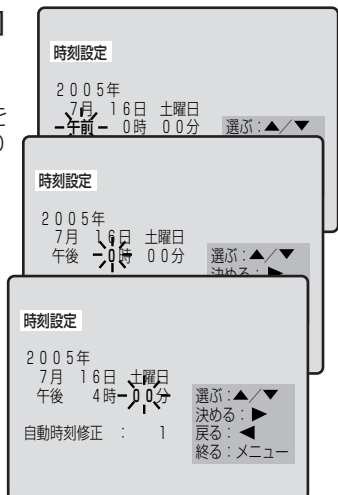
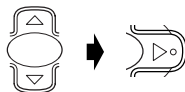
選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

2

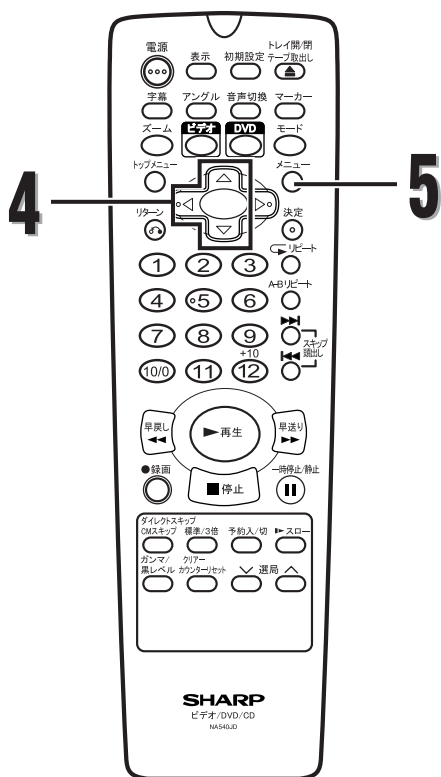
カーソルボタン[▲/▼]を押して年を合わせる

- カーソルボタン[▶]を押して次の項目へ移ります。

- 月／日についても同様の操作で合わせます。

3

カーソルボタン[▲/▼]を押して午前または午後を選択する

- カーソルボタン[▶]を押して次の項目へ移ります。

- 時／分についても同様の操作で合わせます。

次ページへつづく

4

カーソルボタン[▲/▼]で[自動時刻修正]のチャンネルを合わせる

● [自動時刻修正]チャンネルは各地域のNHK教育テレビのチャンネルに合わせてください。

時刻設定
2005年
7月　16日　土曜日
午後　　4時　30分
自動時刻修正　：　1
選ぶ：▲／▼
決める：▶
戻る：◀
終る：メニュー

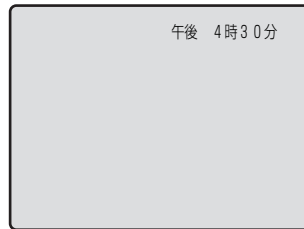
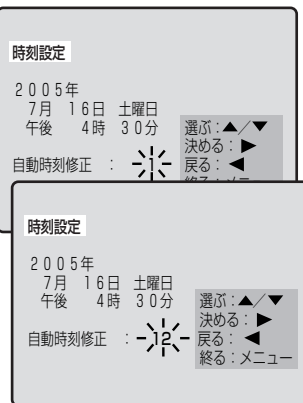
時刻設定
2005年
7月　16日　土曜日
午後　　4時　30分
自動時刻修正　：　12
選ぶ：▲／▼
決める：▶
戻る：◀
終る：メニュー

＊ カーソルボタン[◀]を押すことにより1つ前の操作に戻ることができます。

5

[メニュー]ボタンを押し、終了する

メニュー

午後　4時30分

● 設定した時刻が右上に表示され、しばらくすると自動的に消えます。
● 電話117番などの時報と同時に[メニュー]ボタンを押すと、同時に時計カウントがスタートし、正確に時刻を合わせることができます。

ちょっと一言!

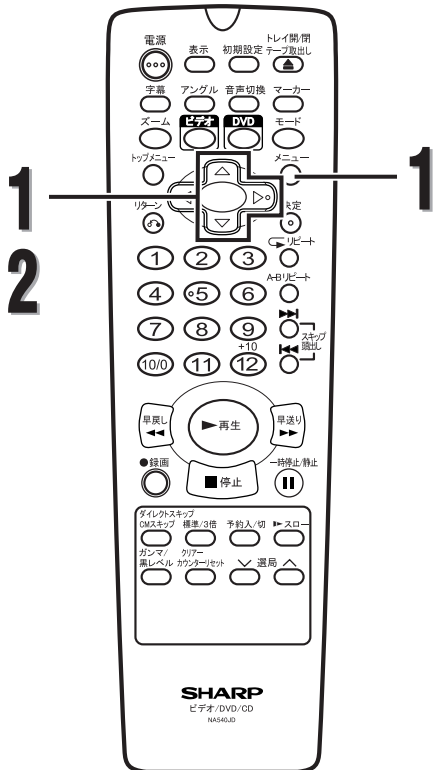
■ 時刻設定が行われていない場合、録画予約を選ぶと時刻設定の画面になります。
■ 年→月→日→午前／午後→時→分→自動時刻修正の設定は、入力後8秒経過すると自動的に次の項目へ移動します。設定が合っている場合、カーソルボタン[▶]を押すことで、設定したい項目に進むことができます。
■ 電源プラグを抜いても約1時間は現在時刻を記憶しています。ほかの設定は消えてしまうので再度設定を行なってください。
■ 1時間以上の停電があった場合や、または1時間以上電源プラグをコンセントから抜いていた場合は、本機のバックアップ機能が働きませんので時刻設定を再度行なってください。（そのときの表示は－－：－－）
■ カーソルボタン[▲/▼]を押し続けると、表示される数字が早く変わります。
■ 本機には2005年～2054年まで設定可能な50年カレンダーが内蔵されています。
（カレンダーは2005年1月1日から表示されます。）

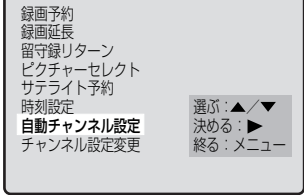
自動時刻修正について…

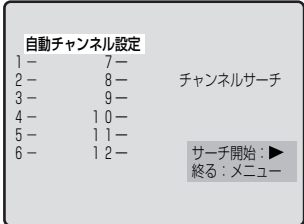
■ 自動時刻修正スタンバイ時（午後0時、7時）の前後5分間は、電源ランプが点灯します。
■ 時刻のずれが5分以内の場合は自動的に現在時刻に修正されます。時刻のずれが5分以上の場合は、再度時刻を合わせてください。
■ 自動チャンネル設定およびチャンネル設定変更でチャンネルを設定し直した場合は、自動時刻修正チャンネルを再度設定してください。
■ 自動時刻修正は、NHKの時報に合わせて毎日（午後0時、7時）自動的に時刻を修正します。ただし本機を使用中（電源が入っているとき）は、動作しません。
■ 午後0時と7時に録画予約、サテライト予約が設定されている場合は自動時刻修正されません。
■ 時報が放送される時刻に、時報のバックに音楽が流れているとき、「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき、時報以外が放送される（特別番組など）ときは、自動時刻修正されません。

自動チャンネルの設定

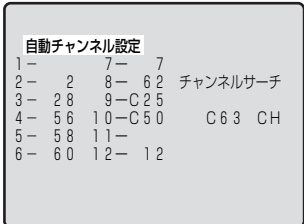
お買い上げ時や、お引っ越しなどでお住まいの地域が変更になった場合は、自動チャンネル設定を行なってください。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 [メニュー]ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。
- カーソルボタン[▲/▼]で[自動チャンネル設定]を選択します。
- カーソルボタン[▶]で自動チャンネル設定画面に移ります。

2 カーソルボタン[▶]を押す

- サーチが開始されます。
- 1チャンネルから順次、受信可能なチャンネルを探していきます。

3 チャンネルサーチ中

- 最終チャンネルのC63CHが表示されるまで、しばらくお待ちください。チャンネルサーチ中にほかの操作をすると、正常なチャンネルが設定されませんのでご注意ください。

- チャンネルサーチ終了後自動的に通常画面に戻ります。
- チャンネルサーチ終了後は、記憶された最小チャンネルが画面に表示されます。

■ チャンネル表示の確認

・自動チャンネル設定後、[選局]ボタンを押して、テレビに表示されるチャンネル表示が合っているか確認してください。チャンネル表示の確認は、録画予約時にチャンネルが違うために起こる録画ミスを防ぐため、必ず確認してください。

自動チャンネル設定（受信ステップ）について

（1）【VHF】 1ch〜12ch
↓
（2）【UHF】 13ch〜62ch
↓
（3）【CATV】C13ch〜C63ch

• 上記の順に自動チャンネル受信設定をしていきます。
• 設定には多少時間がかかります。

※ CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。CATVの受信は、サービスの行われている地域のみです。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

ちょっと一言!

■ チャンネル設定は1度行えば本体に記憶されるため、停電などの場合でも設定をやり直す必要はありません。
■ 引っ越しなどでお住まいの地域が変更になった場合は、再度自動チャンネルの設定を行なってください。
■ 自動チャンネル設定およびチャンネル設定変更でチャンネルを設定し直した場合は、自動時刻修正チャンネルを再度設定してください。
■ 本機は、36チャンネル分を記憶することができます。
チャンネルサーチ動作途中で、36チャンネル分がすべて記憶された場合、その時点でチャンネルサーチは終了します。
自動チャンネル設定された以外のチャンネルを記憶させるには、不要なチャンネルを削除し、新たに記憶させたいチャンネルを手動で設定する必要があります。この操作をするには、「不要なチャンネルの削除（スキップ）とチャンネル復帰」をご覧ください。[➡ 33ページ]

不要なチャンネルの削除（スキップ）とチャンネル復帰

自動チャンネル設定が終わったあと、受信チャンネルの確認を行なってください。空チャンネルや電波が弱くてはっきりと映らないチャンネルなどを飛び越すように設定できます。

● CH番号「3」に19チャンネルが記憶されている場合、19チャンネルを削除（スキップ）するには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 [メニュー]ボタンを押す

● メニュー画面が表示されます。
● カーソルボタン[▲/▼]で[チャンネル設定変更]を選択します。
● カーソルボタン[▶]でチャンネル設定変更画面に移ります。

メニュー

2 カーソルボタン[▲/▼]で削除（スキップ）したい[CH番号]を選択する

● CH番号は1～36まであります。
例：[CH番号12]でカーソルボタン[▼]を押すと、次の画面（CH番号13～24）に切り換わります。

● カーソルボタン[▶]を押します。

● カーソルボタン[◀]で削除（スキップ）します。

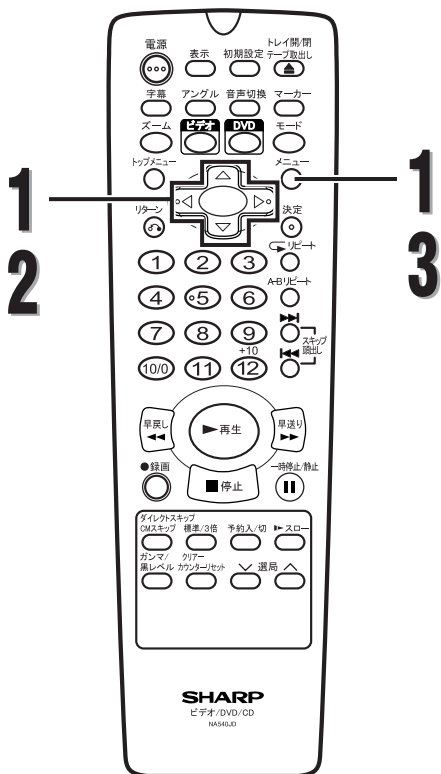
● 自動チャンネル設定をしていない場合、[受信ー表示]欄のチャンネルは表示されません。
● ほかの不要なチャンネルを削除（スキップ）したい場合は、カーソルボタン[▶]でカーソルを[CH番号]に戻し、上記の操作を繰り返してください。

3 [メニュー]ボタンで終了し、通常画面に戻る

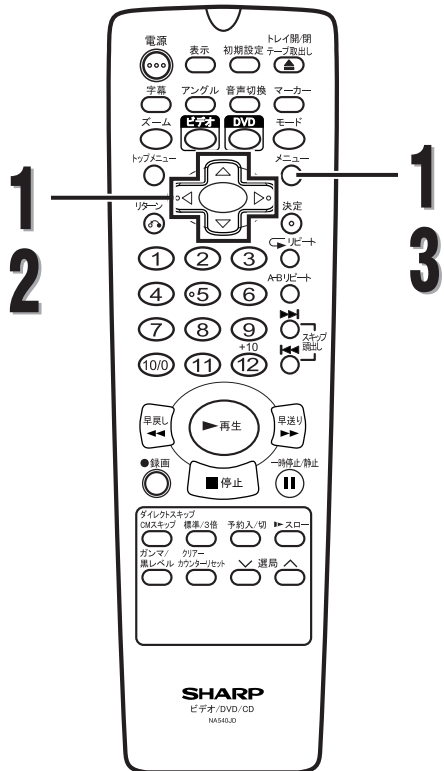
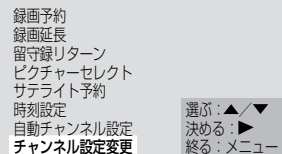
次ページへつづく

● 1度削除（スキップ）したチャンネルを復帰するには…

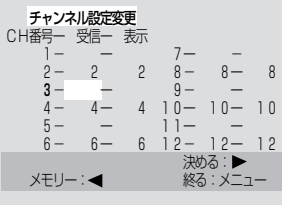
準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

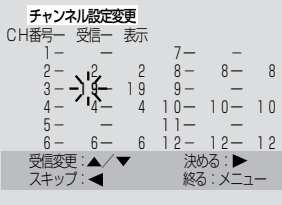
1

[メニュー]ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。
- カーソルボタン[▲/▼]で[チャンネル設定変更]を選択します。
- カーソルボタン[▶]でチャンネル設定変更画面に移ります。

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更
選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

2

カーソルボタン[▲/▼]で復帰したい[CH番号]を選択する

- CH番号は1～36まであります。
  例：[CH番号12]でカーソルボタン[▼]を押すと、次の画面（CH番号13～24）に切り換わります。

- カーソルボタン[▶]を押します。

- カーソルボタン[◀]で復帰します。

- ほかのチャンネルを復帰したい場合は、カーソルボタン[▶]でカーソルを[CH番号]に戻し、上記の操作を繰り返してください。

[メニュー]ボタンで終了し、通常画面に戻る

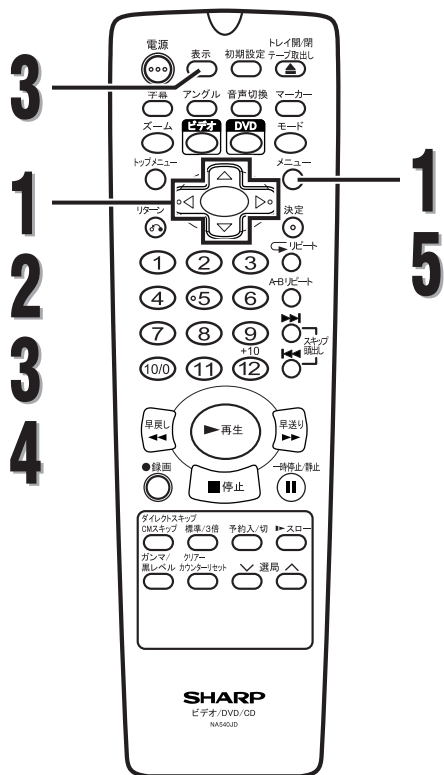
チャンネル設定変更

受信チャンネル及び画面に表示されるチャンネル番号を設定・変更することができます。

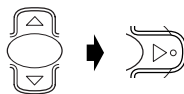
● CH番号「3」に19チャンネルを受信させ、画面表示チャンネルを「3」にするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 [メニュー]ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。
- カーソルボタン[▲/▼]で[チャンネル設定変更]を選択します。
- カーソルボタン[▶]で設定変更画面に移ります。

2 カーソルボタン[▲/▼]で変更したい[CH番号]を選択する

- カーソルボタン[▶]を押します。

3 カーソルボタン[▲/▼]で受信チャンネルを変更する

チャンネル設定変更
CH番号— 受信— 表示
1− − 7− −
2− 2 2 8− 8− 8
3− 19 9− −
4− 4− 4 10− 10− 10
5− − 11− −
6− 6− 6 12− 12− 12
受信変更：▲/▼ 決める：▶
スキップ：◀ 終る：メニュー

- カーソルボタン[▶]で[表示]設定項目へ移ります。
- 自動チャンネル設定で何も設定されていない[CH番号]を選んだときはカーソルボタン[◀]を1度押してからカーソルボタン[▲]またはカーソルボタン[▼]で受信チャンネルを設定します。
- 設定した受信チャンネルで放送が映るか確認したいときは[表示]ボタンを押します。放送が正しく受信できているときはテレビ画面が確認できます。

4 カーソルボタン[▲/▼]で画面表示チャンネルを変更する

※ CH番号か受信チャンネルの表示になります。

- ほかのチャンネル表示も変更したい場合は、カーソルボタン[▶]でカーソルを[CH番号]に戻し、手順2〜4の操作を繰り返してください。

5 [メニュー]ボタンで終了し、通常画面に戻る

設定

チャンネル設定変更

チャンネル設定変更画面について

CH番号（チャンネル番号）
• CH番号とは、放送局を設定する箱のようなものです。本機はCH番号1～36まであり、放送局を最大36局まで記憶することができます。
（1～12はリモコンの数字ボタンで選択可能です。）

画面表示チャンネル
• 画面に表示されるチャンネル番号です。

受信チャンネル
• 放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。
（VHFの1～12チャンネル、UHFの13～62チャンネル、CATVのC13～C63チャンネルが受信できます。）

ちょっと一言！
■ 画面表示チャンネルはCH番号（チャンネル番号）か、受信チャンネル番号のどちらかのみになります。任意に数字を設定することはできません。
■ CH番号（チャンネル番号）と受信チャンネル番号が同じときは、画面表示チャンネルの変更はできません。すべて同じチャンネルとなります。
■ チャンネル設定の変更中に[表示]ボタンを押すと、テレビをご覧になれます。

再生のしかた

● ビデオカセットテープの再生をするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 ビデオカセットテープを挿入すると、自動的に電源が入ります

● ツメが折れているテープの場合は、自動的に再生が始まります。

2 [再生]ボタンを押す

● 再生が始まります。画面上の[ノーマル]表示は、[ピクチャーセレクト]の設定項目を表しています。

再 生 ▶
ノーマル

3 [停止]ボタンを押す

● 再生は止まります。

停 止

● テープを取り出すときは、[テープ取出し]ボタンを押します。

● ビデオ停止中に本体の[停止／テープ取出し]ボタンを押しても取り出せます。

ちょっと一言！

ビデオの再生について

■ ビデオカセットテープ挿入直後や、再生停止のあと再び[再生]ボタンを押すと約1.5秒で画面に映像がでます。（クイックプレイ機能）ただし停止後5分以上放置すると、テープ保護のためクイックプレイ機能は働きません。
■ デジタルトラッキング調整中は、画面にノイズがでることがありますが故障ではありません。
■ ほかのビデオカセットテープレコーダーで録画したテープを再生／静止画にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。
■ テープの録画状態により、デジタルトラッキング調整では最良点に合わないことがあります。ノイズが少なくならないときは、マニュアルトラッキング調整をしてください。
■ トラッキング調整の詳しいことは、10ページをご覧ください。
■ テープの最後まで再生したときは、自動的にテープの先頭まで巻戻しされ、テープが排出されます。（自動巻戻し機能）

画面表示について

■ テープカウンターや時刻、チャンネルを画面上に表示させるときは[表示]ボタンを押してください。[➡ 58ページ]

S-VHS簡易再生機能（SQPB）について

S-VHS方式で録画されたビデオカセットテープを簡易的に見ることができます。再生のしかたはノーマルVHSテープと同じです。

■ S-VHSかノーマルVHSかを自動的に判別し再生します。
■ S-VHS本来の高解像度は得られません。また画面にノイズがでる場合があります。
■ 本機ではS-VHS録画はできません。
■ SQPBとはS-VHS Quasi Playbackの略です。
■ ビデオサーチ／静止のときは、映像が乱れたり色が抜けたりしますが、故障ではありません。

ビデオを再生する

早送り／巻戻しのしかた

● 早送り・巻戻しをするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 再生中の場合は、[停止]ボタンを押す

● 再生を止めます。

停 止

2 [早戻し]ボタンか[早送り]ボタンを押す

● テープを最後まで早送りするとテープの先頭まで巻戻しされ、自動的にテープが排出されます。

3 [停止]ボタンを押す

● 早送り・巻戻しは止まります。

スロー再生（音声はでません。）

1/5～1/30倍速にスピードを変えて、スロー再生ができます（初期値は1/12倍速）。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 再生中に[スロー]ボタンを押す

● スロースピードを変えるときは…
　－ [早送り]ボタンを押す…速くなります。
　－ [早戻し]ボタンを押す…遅くなります。
● スロー再生が5分以上続くと、テープ保護のため自動的に停止します。

▶スロー

2 [再生]ボタンを押す

● 通常の再生に戻ります。

■ スロー再生は再生時以外は操作できません。
■ スロー再生中に画像がゆがむ、上下方向に流れるなどのときはテレビ側で調整してください。（テレビによっては調整できないものもあります。）
■ 逆スロー再生はできません。
スロー画面でノイズがでるときは…
■ [選局]ボタンでノイズがでないように調整してください。

ビデオサーチ

画面を見ながら、早送り再生／巻戻し再生ができます。（音声はでません。）

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

● ビデオサーチ

1

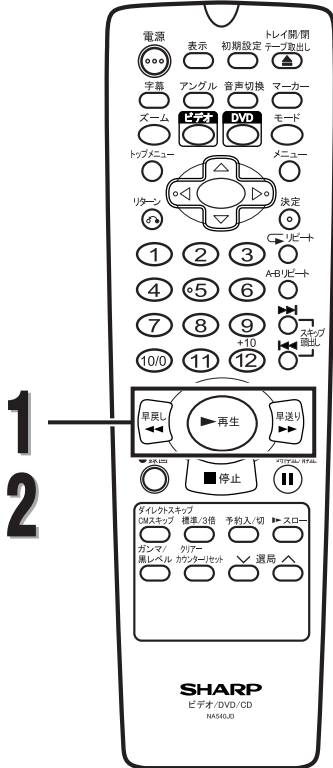
再生中に[早戻し]ボタンか[早送り]ボタンを押す

- 5倍速で再生します。
- [再生]ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- テープの先頭まで早戻しサーチしたときは、自動的に再生されます。
- テープの最後まで早送りサーチしたときは、自動的に巻戻しされてテープが排出されます。

● 2段階ビデオサーチ

2

録画モード3倍で録画したテープの場合のみ、再生中に[早戻し]ボタンか[早送り]ボタンを押す

- 5倍速と15倍速の2段階でビデオサーチできます。
  －**1度押す**…5倍速で再生します。
  －**2度押す**…15倍速で再生します。
- [再生]ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

録画モード／操作方法	「標準」	「3倍」
再生中に1度押す	5倍速で再生	5倍速で再生
再生中に2度押す		15倍速で再生

ちょっと一言！

- ■ ビデオサーチは再生時以外は操作できません。
- ■ ビデオサーチ中は画面にノイズがでますが故障ではありません。
- ■ ビデオサーチを始めるときや、通常の再生に戻すとき、一瞬画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- ■ 画像がゆがむ、上下方向に流れるときはテレビ側で調整してください。（テレビによっては調整できないものもあります。）

ピクチャーセレクト

ビデオを再生する際に映像を選択（ノーマル・ソフト・クッキリ）できます。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 [メニュー]ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。
- カーソルボタン[▲/▼]で[ピクチャーセレクト]を選択します。
- カーソルボタン[▶]でピクチャーセレクト画面に移ります。

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更
選ぶ：▲/▼
決める：▶
終る：メニュー

2 カーソルボタン[▶]で[ノーマル]／[ソフト]／[クッキリ]を選択する

- 押すたびに[ノーマル]→[ソフト]→[クッキリ]→[ノーマル]の順番で切り換わります。

※ この画面の状態のまま**5秒経過**すると設定モードが自動的に終了します。

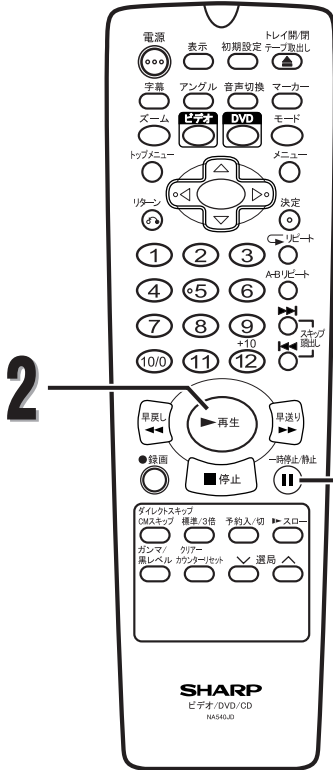
- [メニュー]ボタンで終了し、通常画面に戻ります。

- この設定はテープを取り出しても変わりません。

ビデオ編　ピクチャーセレクト

静止画再生（音声はでません。）

一瞬の場面などを、止めて見ることができます。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 再生中に[一時停止／静止]ボタンを押す

- 静止画再生が5分以上続くと、テープ保護のため自動的に停止します。

一時停止/静止

- 静止画再生中に[一時停止／静止]ボタンを押すと、1コマずつ送ることができます。

2 [再生]ボタンを押す

- 通常の再生に戻ります。

ちょっと一言！

■ 静止画再生は再生時以外は操作できません。
■ 静止画再生中に画像がゆがむ、上下方向に流れるなどのときはテレビ側で調整してください。（テレビによっては調整できないものもあります。）

静止画面でノイズが出るときは…

■ 一旦、スロー再生にして[選局]ボタンでノイズをなくしたあともう1度、静止画面に戻してください。
■ 画像がブレる場合は、[選局]ボタンで画像のブレがなくなるように調整してください。（場合によっては調整で改善されないことがあります。）
■ ほかのビデオカセットテープレコーダーで録画したテープを静止画再生にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。

ビデオに録画する

テレビ番組の録画

● 番組を見ながら録画するには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 ツメの折れていないテープを入れる

● ツメが折れている場合は録画できません。

2 [標準／3倍]ボタンを押す

● 録画モードを選択します。
- 標準（SP）モード
  画質を優先したいとき
- 3倍（EP）モード
  録画時間を長くしたいとき

3 [選局]ボタンを押す

● お好みのチャンネルを選択します。

4 [録画]ボタンを押す

● 録画が始まります。

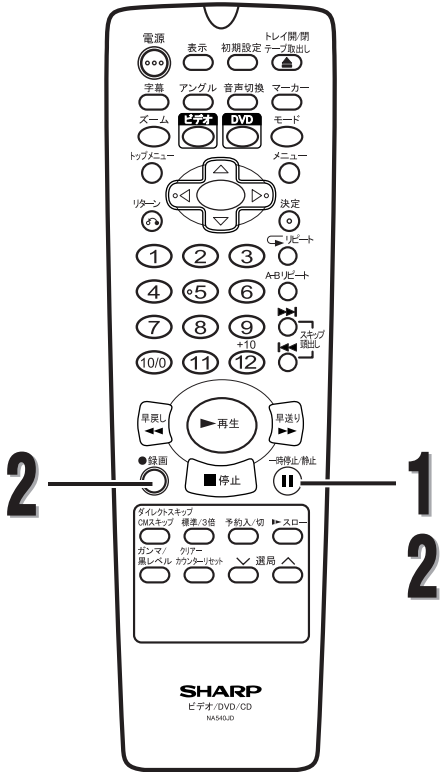
5 [停止]ボタンを押す

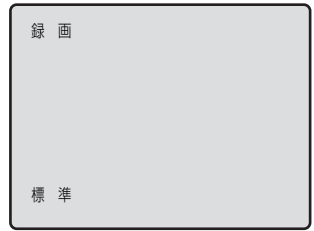
● 録画を停止します。

● 録画中にコマーシャルなどをカットするには…

準備：リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 [一時停止／静止]ボタンを押す

- テープの走行は一時停止します。
- ▮マークは1分で1個ずつ左から消えていきます。また、本体表示部の録画表示が点滅します。
  最後の▮マークが点滅し、合計5分経過するとテープ保護のため、自動的に録画が停止します。

2 録画を再開する時は、もう1度[一時停止／静止]ボタンを押す

- [録画]ボタンを押しても録画は再開できます。
- 一時停止が5分以上続くと、テープ保護のため録画は停止されます。

ちょっと一言!

録画モードについて

■ リモコンの[標準／3倍]ボタンで録画モードを選びます。
■ 画質、音声を優先するときは標準、録画可能時間を優先するときは3倍で録画してください。
　ただし3倍で録画すると画質・音質は、標準より劣ります。

録画中に録画チャンネルを変えるには…

■ [一時停止／静止]ボタンを押してから[選局]ボタンで変えます。

録画中にテープが終わると…

■ 自動的にテープを巻戻し、排出します。（自動巻戻し機能）

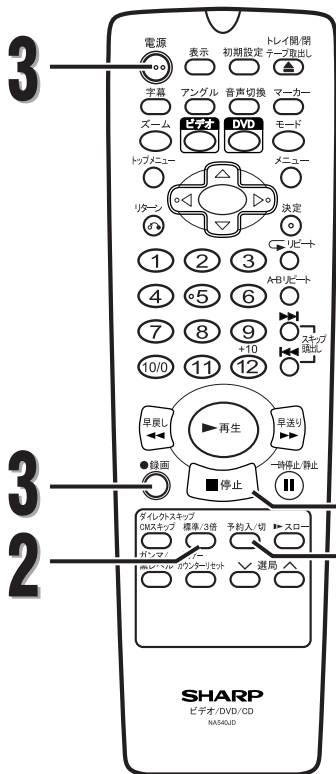
録画中にテレビ／DVDを見るには…

■ テレビを見るときは、テレビ側のチャンネルでお好きな番組を選択してください。
■ DVDを見るときは、[DVD]ボタンを押してください。
■ 録画中に[予約入／切]ボタンを押して予約スタンバイ状態にすると、現在の録画は停止します。

ワンタッチタイマー録画

簡単・手軽に録画を始めることができ、録画時間を30分単位で最大8時間まで設定できます。
テレビを見ている途中で「電話がかかってきた」「急にお客様が来られた」「録画中に外出する用事ができた」といったときに便利です。

● ワンタッチタイマー録画をするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1
ツメの折れていないテープを入れる

2
[標準／3倍]ボタンを押す

● 録画モードを選択します。
- 標準（SP）モード
  画質を優先したいとき
- 3倍（EP）モード
  録画時間を長くしたいとき

標準/3倍

3
[録画]ボタンを1回押す

録　画　0：30

標　準

● 通常の録画になります。
● [録画]ボタンを押すたびに30分単位で録画時間が加算されます。
● ツメの折れたテープが入っている場合、テープは出てきます。
● 録画時間が終了すると自動的に出力切換がDVDに切り換わります。その後、本機を使用しない場合は、[電源]ボタンを押して電源を切ってください。（自動で電源は切れません。）
ビデオを使用する場合は、本体の[停止／テープ取出し]ボタン、またはリモコンの[予約入／切]ボタンを押してください。
● ワンタッチタイマー録画中は本体表示部のタイマーセット表示と録画表示が点灯します。
● ワンタッチタイマー録画中は、録画の一時停止はできません。

●録画

4
[停止]ボタンを押す

● [停止]ボタンを押すとワンタッチタイマー録画は止まります。

録画時間セットについて

- [録画]ボタンを押すたびに、30分単位最大8時間まで、録画時間をセットできます。
- 画面表示は次のように変わります。

(1回押すと) 録画（通常の録画）→ (2回押すと) 録画 0：30（ワンタッチタイマー録画になります。）→ (3回押すと) 録画 1：00 …… → (17回押すと) 録画 8：00 →（最初に戻る）

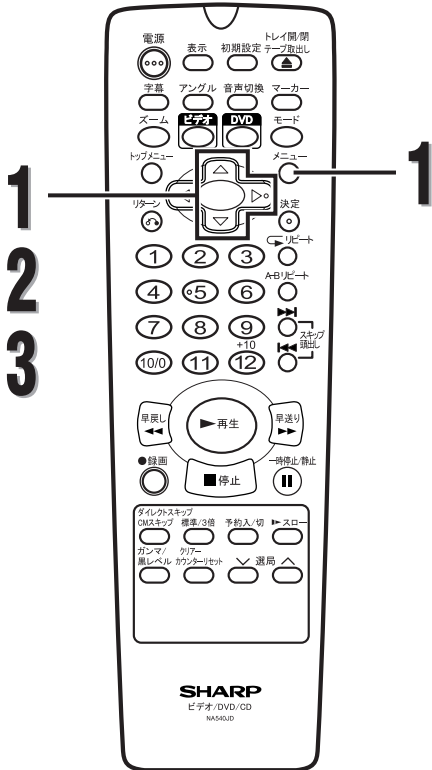
■ ワンタッチタイマー録画中は、[録画]ボタン、[停止]ボタン、[標準／3倍]ボタン、[カウンターリセット]ボタン、[表示]ボタンおよび[メニュー]ボタン以外は働きません。
■ ワンタッチタイマー録画中にテープが最終端になると、自動的に録画が停止し、テープが排出されます。また本機の出力切替がDVDに切り換わります。
■ ワンタッチタイマー録画中に停電があると、録画が停止して電源が切れます。通電後も録画は再開しません。

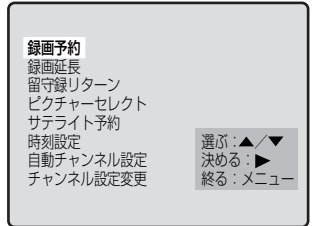
録画時間表示について
■ ワンタッチタイマー録画が始まると、録画時間表示は1分単位でカウントダウンしていき、残りの録画時間表示となります。（残りの録画時間を確認するには[表示]ボタンを押してください。）[➡ 58ページ]

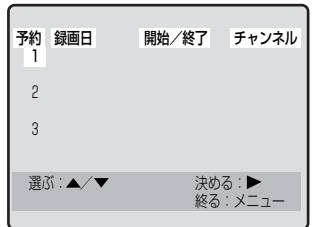
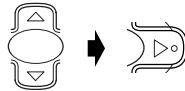
録画予約

あらかじめ予約した開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると電源が切れます。
1年以内の8つの番組の録画、または毎日録画、毎週録画を予約できます。

● 予約番号[1]に、2005年7月16日（土曜日）、午前11時30分〜午後2時50分に放映される「7」チャンネルの番組を、録画モード3倍で録画するには…
（時刻設定をしないと録画予約できません。）

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。ツメの折れていないテープを入れます。

1 [メニュー]ボタンを押す

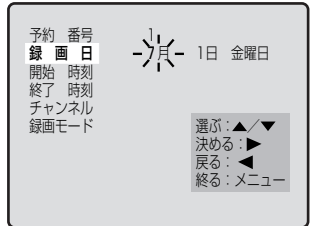
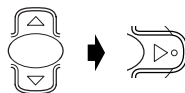
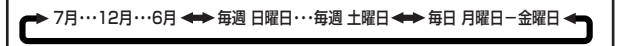
● メニュー画面が表示されます。
● カーソルボタン[▶]で次の画面へ移ります。

2 カーソルボタン[▲/▼]で予約番号を選択する

● 予約番号を[1]にします。
● カーソルボタン[▶]で次の項目へ移ります。

＊予約番号[1]が選択されている時にカーソルボタン[▲]を押すと予約番号[8]を選択できます。

3 カーソルボタン[▲/▼]で[月]を選択する

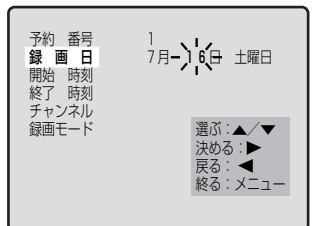
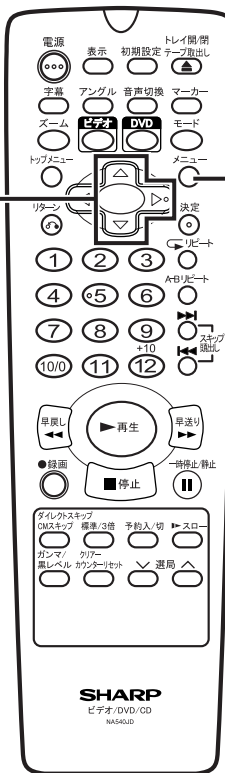
● [録画日]を7月16日（土曜日）にします。

カーソルボタン[▲/▼]で毎週・毎日録画が選べます。

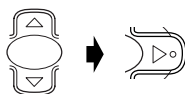
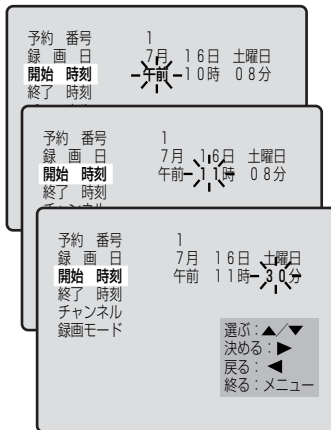
7月…12月…6月 ⟷ 毎週 日曜日…毎週 土曜日 ⟷ 毎日 月曜日−金曜日

※毎日予約は月曜日から金曜日までの毎日となります。土曜日、日曜日の番組を予約録画するには、毎週録画を設定してください。

● カーソルボタン[▶]で次の項目へ移ります。
● 日についても同様の操作で設定します。（曜日は自動的に変わります。）

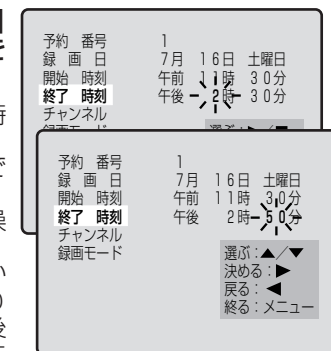
次ページへつづく

ビデオに録画する

4

カーソルボタン[▲/▼]で[開始時刻]の[午前]を選択する

● [開始時刻]を午前11時30分にします。
● カーソルボタン[▶]で次の項目へ移ります。

● 時／分についても同様の操作で設定します。

5

カーソルボタン[▲/▼]で[終了時刻]の[時]を選択する

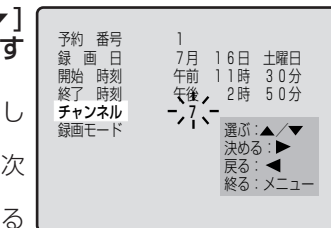
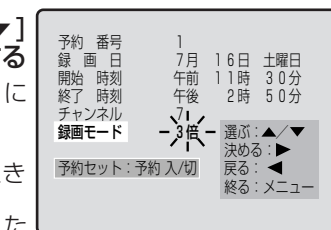
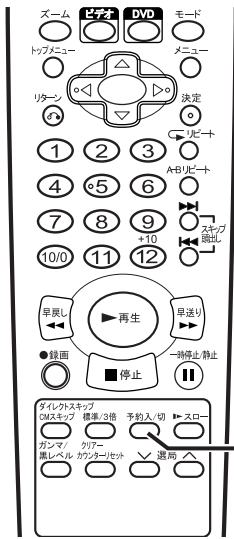
● [終了時刻]を午後2時50分にします。
● カーソルボタン[▶]で次の項目へ移ります。
● 分についても同様の操作で設定します。
● 終了時刻は開始時刻から12時間以内となりますので、午前／午後は自動的に設定されます。

6

カーソルボタン[▲/▼]で[チャンネル]を選択する

● [チャンネル]を[7]にします。
● カーソルボタン[▶]で次の項目へ移ります。
● 外部機器から録画するときは、外部機器を接続した[ライン1]または[ライン2]を選択します。

7

カーソルボタン[▲/▼]で[録画モード]を選択する

予約 番号 1
録 画 日 7月 16日 土曜日
開始 時刻 午前 11時 30分
終了 時刻 午後 2時 50分
チャンネル 7
録画モード 3倍
予約セット：予約 入/切
選ぶ：▲/▼
決める：▶
戻る：◀
終る：メニュー

● [録画モード]を[3倍]にします。
 − 標準モード
  画質を優先したいとき
 − 3倍モード
  録画時間を長くしたいとき
● [メニュー]ボタンを押すと、通常画面に戻ります。
● 続けて別の録画予約の設定をするときは、カーソルボタン[▶]を押して手順2に戻り、設定を行なってください。

8

[予約入／切]ボタンを押す

- 予約スタンバイ（タイマー待機中）状態になります。
- 本体の予約ランプが点灯します。
- 手順7の画面で[予約入／切]ボタンを押しても、予約スタンバイ状態になります。

9

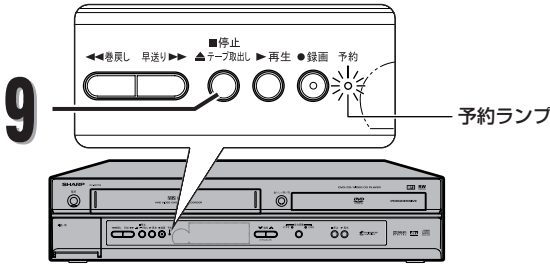
録画予約動作中に録画を止めるには、本体の[停止／テープ取出し]ボタンを押す

■停止
⏏テープ取出し

◀◀巻戻し　早送り▶▶　■停止 ⏏テープ取出し　▶再生　●録画　予約

9

予約ランプ

- 録画予約動作中および予約スタンバイ中の[電源]ボタンは、DVD側のオン／オフを行います。また、録画予約動作中にDVDを使用する場合は、リモコンの[DVD]ボタンを押してから操作してください。(DVDランプ点灯)
- 録画予約設定後に予約内容の修正／取り消しをするには、52〜53ページをご覧ください。

予約録画完了後の本機のご使用について
予約録画終了後に本機の予約ランプが点滅します。これはすべての予約録画が完了し、次の予約が入っていないことを示しています。このとき、DVD使用時を除き電源はオフとなっておりますので、再びビデオをご使用になるには再度リモコンの[予約入／切]ボタンまたは本体の[停止／テープ取出し]ボタンを押し、予約ランプの点滅が解除されたことを確認してください。

■ 時刻が合っていることを確認してください。（録画予約は、時刻を合わせていないと設定できません。）時刻設定が行われていない場合、録画予約を選ぶと時刻設定の画面になります。
■ ツメの折れていないビデオカセットテープを入れてください。
■ ツメ折れテープを入れ予約設定を行なった場合、予約スタンバイ状態になるとテープが排出されます。ツメの折れていないビデオカセットテープを入れ直してください。
■ 手順3〜6の設定では、操作してから8秒後に次の設定へ自動的に移ります。
■ 初めから設定が合っているときは、カーソルボタン[▶]を押すと次の操作に進むことができます。
■ リモコンのカーソルボタン[◀]を押すことにより1つ前の操作に戻ることができます。

録画予約セット後は…
■ DVD使用時を除き録画開始時刻までは電源が切れています。録画開始時刻までにビデオを使用するときは、リモコンの[予約入／切]ボタン、または本体の[停止／テープ取出し]ボタンを押し、予約スタンバイを解除してください。ビデオを使用されたあとは、必ずリモコンの[予約入／切]ボタンを押して予約スタンバイにしてください。(DVDを使用する場合は、予約スタンバイを解除しなくても操作できます。)
■ リモコンの[予約入／切]ボタンで予約スタンバイ状態にしたあとDVDを使用しない場合は、[電源]ボタンで本機の電源を切ってください。予約スタンバイ後、自動的に本機の電源が切れる場合もあります。
■ 録画予約動作中にテープが最終端になると、自動的に録画を停止し、テープを排出して本体のDVDランプが点灯していないときは電源が切れます。（テープは巻戻しされません。）新しいテープを挿入すると、録画を再開します。
■ 録画予約開始時に本機の電源が入っているときは、録画予約が終了しても電源は切れません。
■ 録画予約動作中は、本体の[停止／テープ取出し]ボタンを押すと録画が止まります。

予約した時間が重なると…
■ 同じ時間に予約が重なっている場合は、録画時刻の早いほうを優先します。
たとえば下図のような予約の場合、予約番号1の番組が7時から10時まで録画されたあと、予約番号2の番組が10時から11時まで録画されます。

■ スポーツ中継などで番組がずれると予想される場合は、予約終了時間を遅めにしておくことをおすすめします。

予約内容の確認

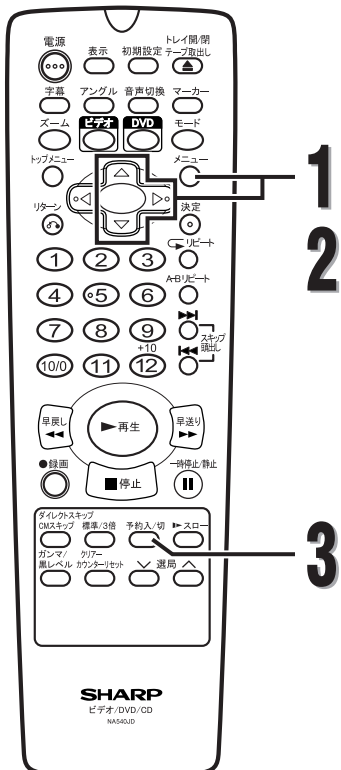
録画予約設定後に予約内容を確認できます。

● 一覧表で確認するには…

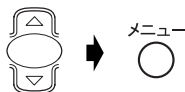
準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの[予約入／切]ボタンを押してください。）リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 [メニュー]ボタンを押す

● メニュー画面が表示されます。

● カーソルボタン[▶]で次の画面へ移ります。

2 予約内容を確認する

● カーソルボタン[▲/▼]を押していくと、予約番号[4]以降を確認することができます。

● [メニュー]ボタンで終了し、通常画面に戻ります。

3 [予約入／切]ボタンを押して予約スタンバイにする

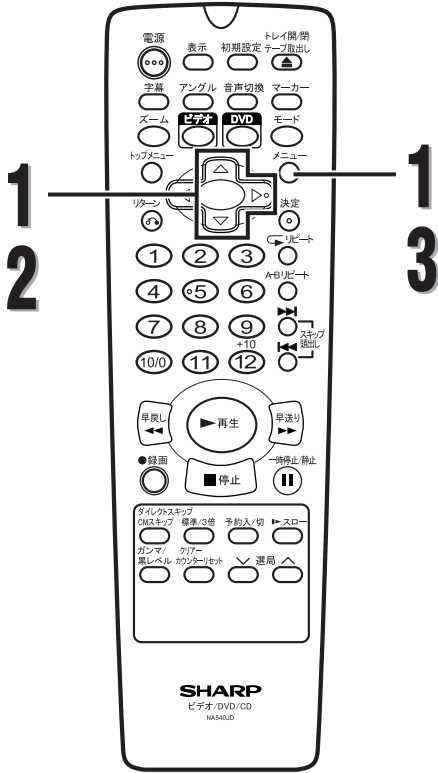
予約入/切

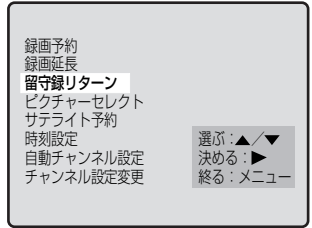
■ 予約内容の確認後は、必ずリモコンの[予約入／切]ボタンを押して、予約スタンバイの状態にしてください。

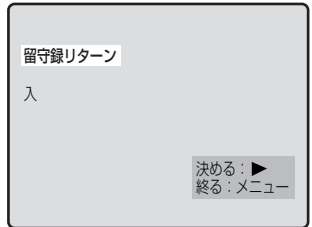
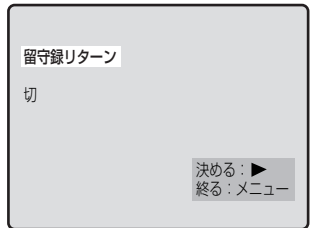
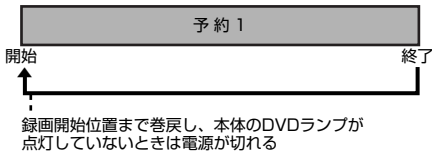
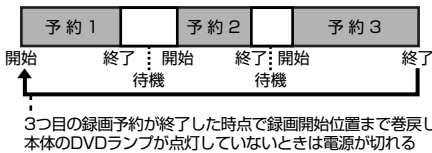
留守録リターン

すべての録画予約終了後、自動的に最初の録画開始位置までテープを巻戻し、本体のDVDランプが点灯していないときは電源が切れます。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの[予約入／切]ボタンを押してください。）リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

[メニュー]ボタンでメニュー画面を表示させ、カーソルボタン[▲/▼]で[留守録リターン]を選択する

● カーソルボタン[▶]で次の画面へ移ります。

2

カーソルボタン[▶]で[入／切]を選択する

3

[メニュー]ボタンで終了し、通常画面に戻る

メニュー

■ 毎日、毎週予約[➡ 45ページ]、サテライト予約[➡ 53ページ]、ワンタッチタイマー録画[➡ 44ページ]では留守録リターン機能は働きません。

■ 予約録画の途中でテープの残り時間がなくなり録画が終了したときは留守録リターンが働きません。

ビデオ編　留守録リターン

予約延長設定

スポーツ中継などの番組延長で、あとの番組の放送時間がずれた場合に、簡単に予約時間を変更することができる機能です。

● 録画予約が開始されていない場合…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの[予約入／切]ボタンを押してください。）リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

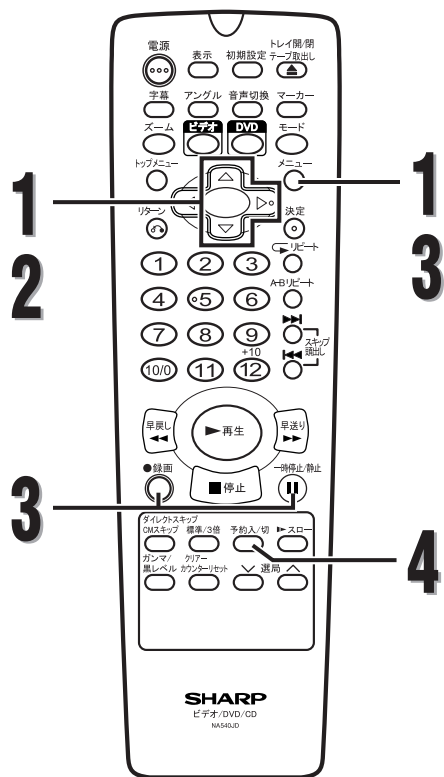
[メニュー]ボタンでメニュー画面を表示させ、カーソルボタン[▲/▼]で[録画延長]を選択する

● カーソルボタン[▶]で次の画面へ移ります。

2

カーソルボタン[▲/▼]で時間延長をしたい予約番号を選択する

● カーソルボタン[▶]で次の画面へ移ります。

3

[録画]ボタンを押す

● [録画]ボタンを押すたびに[開始／終了]時刻が10分間ずつ延長されます。

●録画

● リモコンの[録画]ボタンで時間延長したあとに、リモコンの[一時停止／静止]ボタンを押すと、時間延長をする前の元の時間に戻すことができます。
● [メニュー]ボタンで終了し、通常画面に戻ります。

4

[予約入／切]ボタンを押す

● 予約スタンバイになります。

予約入/切

ちょっと一言！

■ 毎日、毎週録画で設定された予約の場合は、予約延長設定はできません。
■ 予約時間の延長中に開始時刻が次の日になった場合は、自動的に録画日／曜日が次の日に替わります。

● 録画予約が開始されている場合…

準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

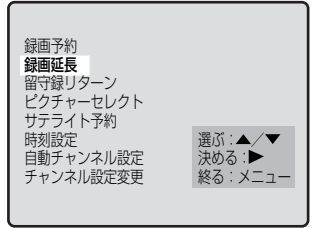
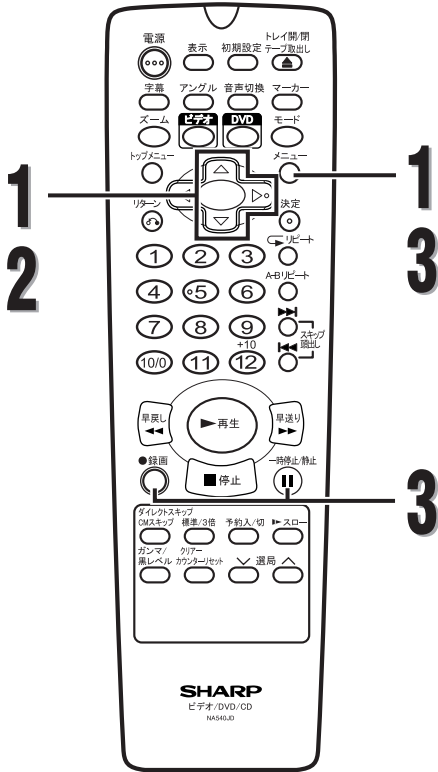
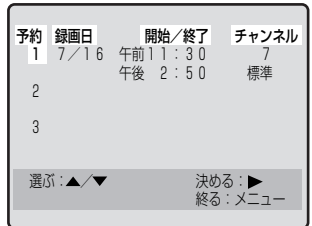
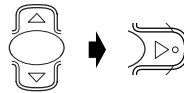
[メニュー]ボタンでメニュー画面を表示させ、カーソルボタン[▲/▼]で[録画延長]を選択する

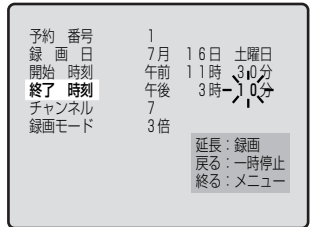
● カーソルボタン[▶]で次の画面へ移ります。

2

カーソルボタン[▲/▼]で時間延長をしたい予約番号を選択する

● カーソルボタン[▶]で次の画面へ移ります。

3

[録画]ボタンを押す

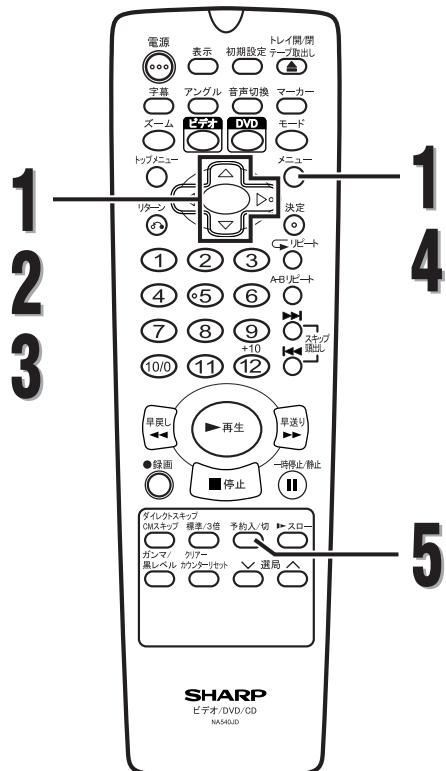
● [録画]ボタンを押すたびに終了時刻が10分間ずつ延長されます。
● リモコンの[録画]ボタンで時間延長したあとに、リモコンの[一時停止／静止]ボタンを押すと、時間延長をする前の元の時間に戻すことができます。
● [メニュー]ボタンで終了し、通常画面に戻ります。

ちょっと一言！

■ 録画中の予約時間を延長した場合は、自動的に録画モードが[3倍]に変更されます。また、リモコンの[一時停止／静止]ボタンでもとの時間に戻された場合も3倍モードのままになります。

予約内容の修正・取り消し

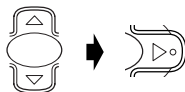
録画予約セット後に予約内容を修正／取り消すことができます。

● 予約内容を修正するには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの[予約入／切]ボタンを押してください。）リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 [メニュー]ボタンを押す

● メニュー画面が表示されます。
● カーソルボタン[▶]で次の画面へ移ります。

2 カーソルボタン[▲/▼]で修正したい予約番号を選択する

● カーソルボタン[▶]で次の画面へ移ります。

3 カーソルボタン[▶]で修正したい項目まで送る

● カーソルボタン[▲/▼]で修正します。
● カーソルボタン[▶]で決定します。

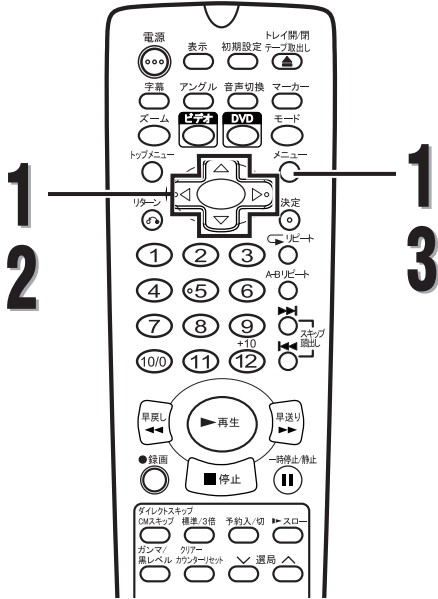
4 [メニュー]ボタンで終了し、通常画面に戻る

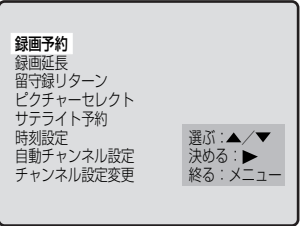
5 [予約入／切]ボタンを押して、予約スタンバイ状態にする

■ 予約内容の修正／取り消し後は、必ずリモコンの[予約入／切]ボタンを押して、予約スタンバイ状態にしてください。

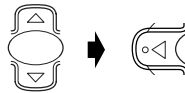
● 予約内容を取り消しするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの[予約入／切]ボタンを押してください。）リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

[メニュー]ボタンを押す

● メニュー画面が表示されます。
● カーソルボタン[▶]で次の画面へ移ります。

2

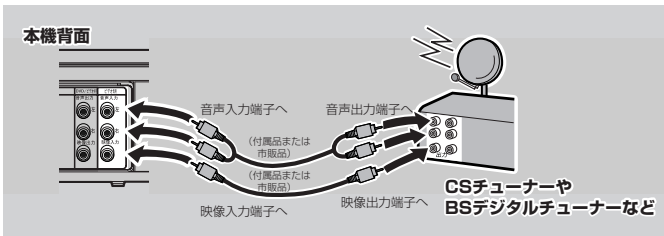
カーソルボタン[▲/▼]で取り消したい予約番号を選択する

● カーソルボタン[◀]で予約内容を取り消します。

3

[メニュー]ボタンで終了し、通常画面に戻る

■ 録画予約が開始されている途中で予約を取り消すには、本体の[停止／テープ取出し]ボタンを押し、その後、手順1から操作してください。

サテライト予約

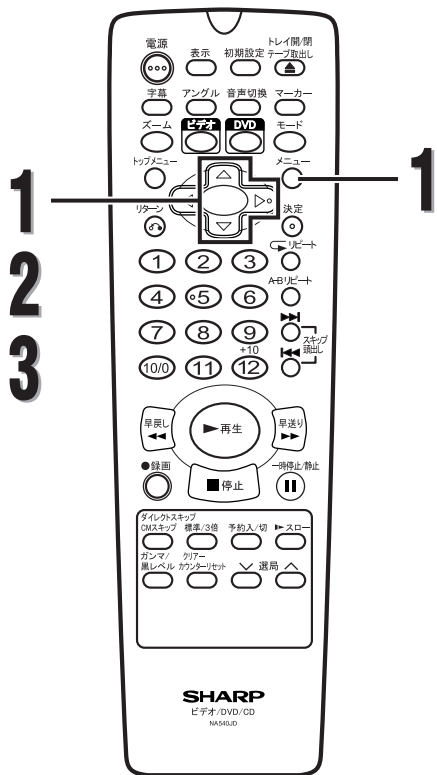
24時間以内に始まるCSやBSデジタル放送などの外部入力に連動して録画するときに便利です。背面入力端子（ライン1）に接続してください。

● サテライト予約の設定をする前に本機とCSチューナーやBSデジタルチューナーなどを接続してください。

ちょっと一言！

■ サテライト予約は前面入力端子（ライン2）では動作しません。
■ CSチューナーやBSデジタルチューナーの信号を感知してからビデオの動作に入るため、録画開始時間は数秒間の遅れが生じる場合があります。
■ 本体の録画予約とCS番組のサテライト予約が同時刻または重なった場合、録画予約のほうが優先されます。
■ 番組によってはコピーガード機能により正しく録画されない場合があります。
■ 録画モードはサテライト予約の設定に入る前に、[標準／3倍]ボタンで切り換えてください。
■ サテライト予約のスタンバイはリモコンの[予約入／切]ボタン、または本体の[停止／テープ取出し]ボタンを押し、本機の電源がオンになると解除されます。
■ サテライト予約動作中に録画を止めるには、本体の[停止／テープ取出し]ボタンを押します。

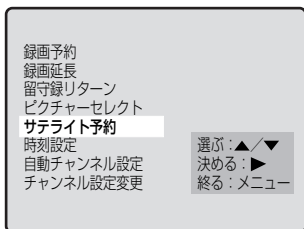
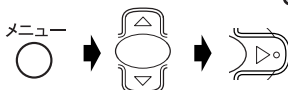
次ページへつづく

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。ツメの折れていないテープを入れます。

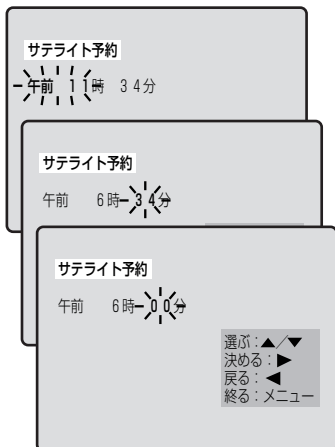
1

[メニュー]ボタンでメニュー画面を表示させ、カーソルボタン[▲/▼]で[サテライト予約]を選択する

● カーソルボタン[▶]で次の画面へ移ります。

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更

選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

2

カーソルボタン[▲/▼]で[サテライト予約]を設定する時間を合わせる

● カーソルボタン[▶]で次の項目へ移ります。
● カーソルボタン[▲/▼]で分を合わせます。
● はじめは現在の時刻が表示されます。

3

カーソルボタン[▶]を押す

● [入]が表示されます。

サテライト予約
午前 6時 00分 入

4

1秒後自動的にサテライト予約スタンバイモードになります

ちょっと一言！

■ サテライト予約のスタンバイ中は設定された時間になると、チューナーの信号を感知させるために電源ランプが点灯します。
■ サテライト予約録画終了後も電源ランプは点灯したままとなります。引き続きサテライト予約録画を行わない場合や、ビデオの操作をするときは、リモコンの[予約入／切]ボタンを押して予約スタンバイを解除し、リモコンの[ビデオ]ボタンを押してください。
■ 予約スタンバイを解除したときは、再度[予約入／切]ボタンを押してもサテライト予約はスタンバイモードにはなりませんので、手順1～3をやり直してください。
■ 予約スタンバイ状態にしたあとDVDを使用しない場合は、[電源]ボタンで本機の電源を切ってください。ただし、予約スタンバイ後、自動的に本機の電源が切れる場合もあります。[➡ 47ページ]

音声多重放送について

本機をステレオテレビやお手持ちのステレオと接続すると、ステレオ放送や二重音声（2カ国語）放送を楽しめます。

● 送られてくる音声の画面表示について

- **[表示]ボタン**を押すとテレビ画面右上に音声モードが表示され確認できます。

● ステレオ放送を受信したときや、Hi-Fi録画されたテープを再生したときは…

- 自動的に**ステレオモード**に切り換わります。
- **[音声切換]ボタン**を押すことにより音声と音声表示が、**ステレオ→左音声→右音声→モノラル**に切り換わります。

音声モード	ステレオ放送受信時 Hi-Fiテープ再生時	画面表示
ステレオ	ステレオで聞こえる	ステレオ
左（主）	両方のスピーカーから 左の音声が聞こえる	左音声
右（副）	両方のスピーカーから 右の音声が聞こえる	右音声
ノーマル	モノラルで聞こえる	モノラル

● 二重音声放送（2カ国語放送）を受信したときは…

- 音声は自動的に**二重音声モード**に切り換わります。
- **[音声切換]ボタン**を押すことにより音声と音声表示が、**主音声→副音声→主：副**に切り換わります。
  このとき音声モードが記憶され、次に二重音声放送を受信すると前に記憶した音声モードに自動的に切り換わります。

音声モード	二重音声放送受信時	画面表示
ステレオ	左から主音声（日本語） 右から副音声（外国語） が聞こえる	主：副
左（主）	両方のスピーカーから 主音声（日本語）が聞こえる	主音声
右（副）	両方のスピーカーから 副音声（外国語）が聞こえる	副音声

（2カ国語放送が録画されたテープを再生するときも同様です。）

● 本機は常に次の2つの方法で録音します。

Hi-Fi録音

- 音声専用回転ヘッドによる**FM録音方式**を使い、すぐれたHi-Fi音声で録音や再生をします。
  Hi-Fi録音では、ステレオ放送はステレオで、二重音声（2カ国語）放送は**左に主音声、右に副音声**が記録されます。
  モノラル放送は、**左右に同じ音声**が録音されます。

ノーマル録音

- 従来のビデオと同じ録音方式で**モノラル**で録音します。
  ノーマル録音では、ステレオ放送はモノラルで録音され、**二重音声（2カ国語）放送は主音声（日本語）**だけが録音されます。録音レベルは、自動的に適切なレベルに設定されます。

■ Hi-Fi録音以外のテープを再生すると、自動的にノーマル音声になります。
■ Hi-Fi録音されたテープを、Hi-Fi方式でないビデオデッキで再生した場合はノーマル音声になります。

ビデオの便利な機能

テープの頭出し

インデックス記録された番組の頭出しをします。
インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。（録画中の一時停止から録画を再開した場合は記録されません。）

● 2つ先の番組を頭出しする場合…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 [スキップ／頭出し]ボタン[▶▶|]を押す

● 頭出し検索が始まります。

2 [スキップ／頭出し]ボタン[▶▶|]で[02]を選択します

● [スキップ／頭出し]ボタン[▶▶|]を押しすぎて、[02]を越えてしまった場合は、[スキップ／頭出し]ボタン[|◀◀]で数字を減らすことができます。
● 頭出し検索中にインデックス信号を検知すると、自動的に数字が減ります。
● 頭出しは、最大20まで設定できます。
● 途中で止めたいときは[停止]ボタンを押します。

3 設定した位置にくると、自動的に再生がはじまります

頭出しについて

■ インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。ただし、録画中の一時停止から録画を再開した場合は記録されません。
■ テープの巻き始めに記録されているインデックスや、録画時間が1～2分の短い番組の場合は、検知されないことがあります。
■ 手順1で[スキップ／頭出し]ボタン[|◀◀]を押すと、前の番組方向に頭出し検索をすることができます。[スキップ／頭出し]ボタン[▶▶|/|◀◀]を押すたびにお好みのインデックス番号を選ぶことができます。
■ 再生開始位置は若干前後する場合があります。

テープポジション

現在のテープ位置を画面に表示します。録画前にテープ残量を調べるのに便利です。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 [表示]ボタンを押す

表示

- 現在のテープの位置が“ ■ ”で表示されます。
- 早送り／巻戻しを行うと自動的にテープポジション表示になります。（ただし、カウンター／時計表示の場合は、テープポジション表示にはなりません。）
- テープポジション表示中に再生を行うと、テープポジション表示は消えます。

ちょっと一言！

■ [表示]ボタンを繰り返し押すと、テープポジション／カウンター／時計表示の順に切り換わります。[➡ 58ページ]

■ 録画や再生中にテープポジション表示に切り換えた際、テープ位置を示す“ ■ ”が表示されるまで約2分ほどかかる場合があります。

■ T-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、テープ位置が正しく表示されない場合があります。

CMスキップ

コマーシャルを早送りさせたいときなどに、テープを30秒単位で早送り再生します。（音声はでません。）

1 [CMスキップ]ボタンを再生中に押す

- 押すたびに約30秒ずつ加算されます。
  －1回押すと：約30秒早送り再生します。
  －2回押すと：約60秒早送り再生します。
  －3回押すと：約90秒早送り再生します。

ダイレクトスキップ
CMスキップ

2 指定された秒だけ早送り再生すると通常の再生に戻ります

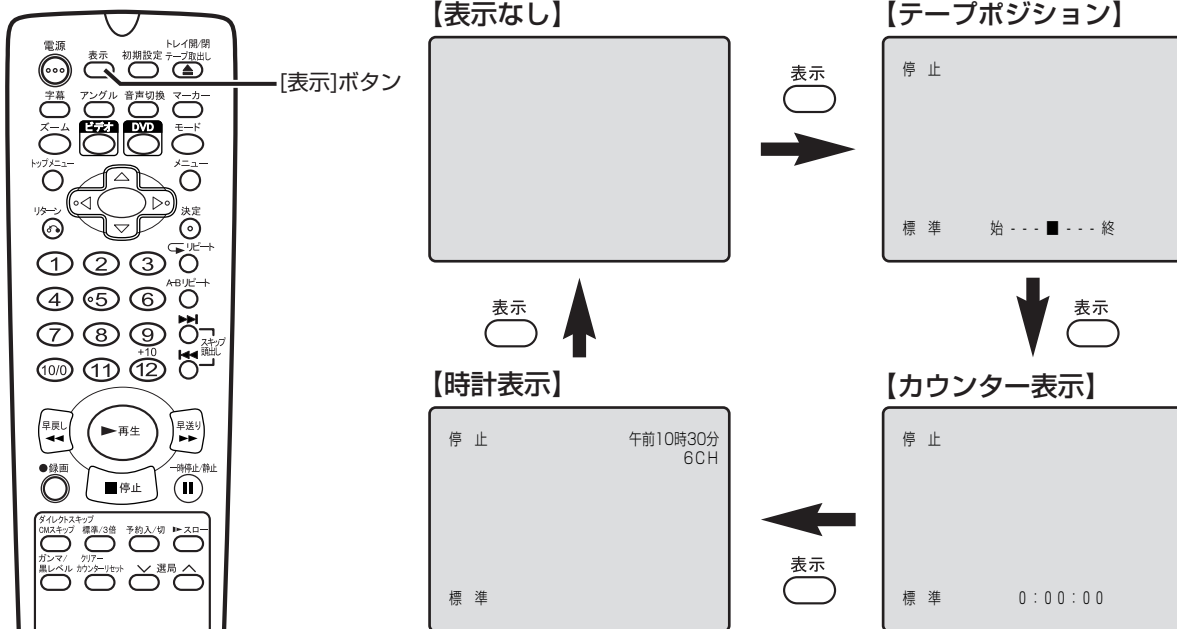
ちょっと一言！

■ CMスキップは再生時以外は操作できません。

■ [CMスキップ]ボタンは30秒間に6回押すことで最大180秒早送り再生できます。30秒経過して[CMスキップ]ボタンを押した場合、更に30秒ずつ加算されます。

ビデオの便利な機能

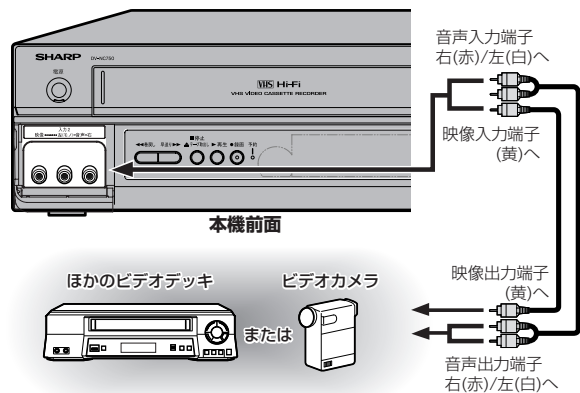
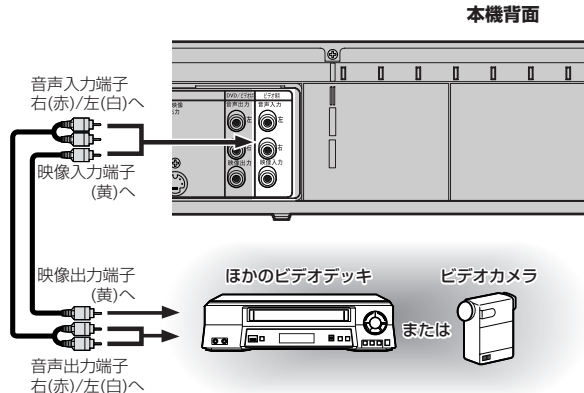
表示ボタンの使いかた

[表示]ボタンを繰り返し押すと、下図のようにテレビ画面が変わります。

ちょっと一言！

■ テープポジションについては、57ページをご覧ください。
■ ワンタッチタイマー録画中は、[表示]ボタンを押すと残り時間が表示されます。

テープのダビングについて

ほかのビデオデッキまたはビデオカメラからダビングするには…
（本機を録画専用ビデオとした場合）

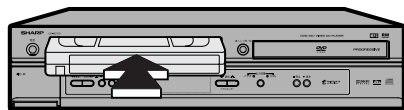
前面入力端子（ライン2）を使用する場合のダビング接続例　　背面入力端子（ライン1）を使用する場合のダビング接続例

詳しくはほかのビデオデッキまたはビデオカメラの取扱説明書をお読みください。

市販のテープやレンタルテープ、およびそのほかのメディア（DVDなど）をダビングされた場合、正常に録画できなかったり（画像が乱れる、定期的に暗くなったり明るくなったりする）、映像が正常に映らない場合があります。これは著作権者保護の目的で、コピーガード機能が働いているために起こる現象です。本機の故障ではありません。

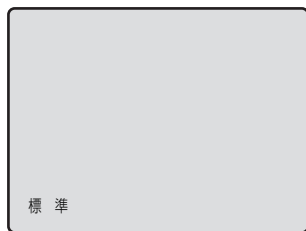
● あなたがテレビ放送やレコード、録画物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

テープのダビングをするには

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させせます。

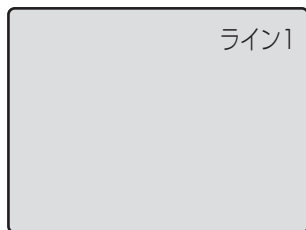
1 ツメの折れていないテープを入れる

2 [標準／3倍]ボタンを押して録画モードを選択する

– 標準（SP）モード
画質を優先したいとき
– 3倍（EP）モード
録画時間を長くしたいとき

標準/3倍

3 [選局]ボタンを押して、[ライン1]か[ライン2]を選択する

– 本機の背面入力端子に接続している場合は、[ライン1]を選択します。
– 本機の前面入力端子に接続している場合は、[ライン2]を選択します。

選局

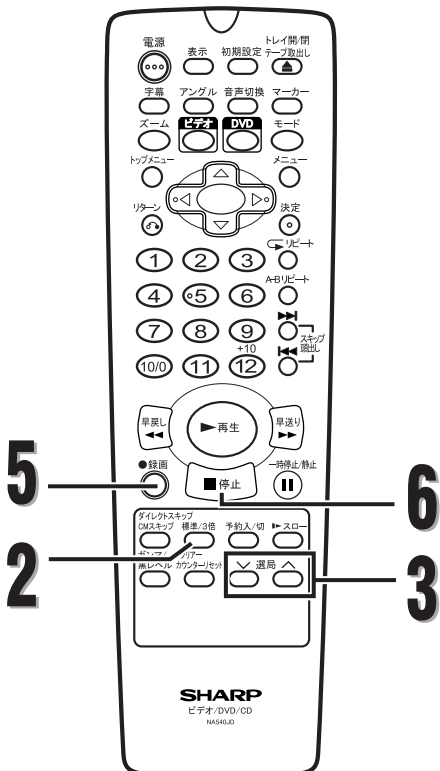
ライン1

4 ほかのビデオデッキ（またはビデオカメラ）の[再生]ボタンを押す

5 録画したいシーンになったら[録画]ボタンを押す

● 録画が始まります。

●録画

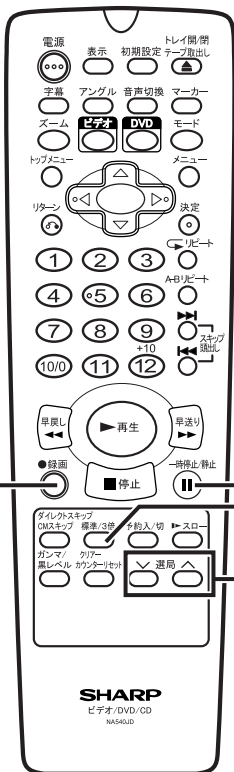
6 [停止]ボタンを押す

● 録画を終了します。

ちょっと一言！

■ 接続する機器の取扱説明書もよくご覧ください。

DVDをビデオテープにダビングする

・DVDの内容をビデオテープにダビングすることができます。
・ビデオについてはリモコンで操作し、DVDについては本体で操作することをおすすめします。

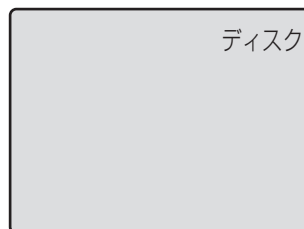
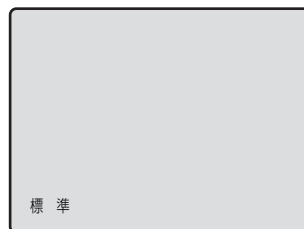
準備：ツメの折れていないビデオテープを挿入します。ダビングするDVDを挿入します。リモコンの[ビデオ]ボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 [選局]ボタンを押して[ディスク]を選択する

ディスク

2 [標準／3倍]ボタンを押して録画モードを選択する

– 標準（SP）モード
画質を優先したいとき
– 3倍（EP）モード
録画時間を長くしたいとき

標準/3倍

標　準

3 [録画]ボタンを押し、すぐに[一時停止／静止]ボタンを押す

● 録画一時停止状態になります。

●録画　一時停止/静止

● 録画一時停止状態が5分以上つづくと停止となります。

4

本体DVD側の[再生]ボタンを押す

本体DVD側のボタン

● リモコンで操作するときは、リモコンの[DVD]ボタンを押したあと[再生]ボタンを押します。

5

[一時停止／静止]ボタンまたは[録画]ボタンを押す

● リモコンでDVDを再生したときは、リモコンの[ビデオ]ボタンを押してから操作します。
● 録画が始まります。
● 録画の途中で一時停止したいときは、[一時停止／静止]ボタンを押します。再度[一時停止／静止]ボタンを押すと録画が再開します。

または

●録画

6

録画を止めるときは[停止]ボタンを押す

● ビデオテープの録画が停止します。

7

DVDの再生を止めるときは、本体DVD側の[停止]ボタンを押す

● DVDの再生が停止します。

■停止

本体DVD側のボタン

ちょっと一言!

■ コピープロテクトがされているDVDをダビングされた場合、正常に録画できません。
■ ダビング中に[予約入／切]ボタンを押して、予約スタンバイ状態にすると、ダビングは停止します。

ディスクの再生

再生を始める

テレビ、アンプ、その他、本機に接続されている機器の電源をすべて入れます。（入力方式を本機に適合するように切り換えたうえで、音声のボリュームが適正かどうか確かめてください。）

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 [トレイ開／閉]ボタンを押す

● ディスクトレイが開きます。

2 再生するディスクをトレイにのせる

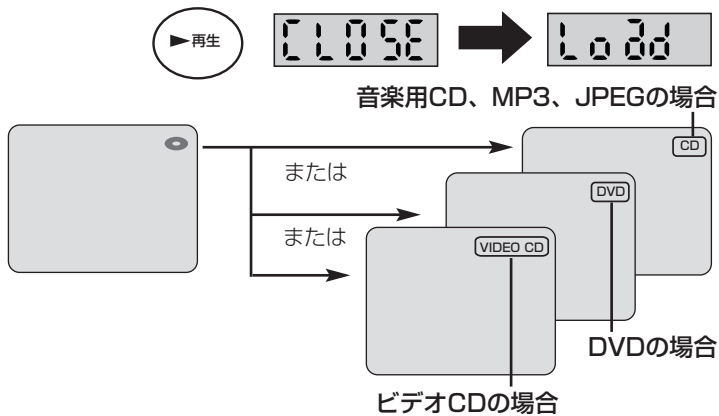
● ラベル面を上にして、ディスクがトレイのくぼみに正しくセットされているか確認してください。

ちょっと一言!

- ■ ディスクが裏表逆になっていると、ディスクに傷をつけたり、誤動作の原因となります。
- ■ トレイ開閉は、電源が「入」の状態で行なってください。
- ■ 2層ディスクの再生中に映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。
- ■ VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で録画されたDVD-RWでは、編集（タイトルの消去・録画の繰り返し）やプレイリスト作成の状態により、再生中に映像が一瞬止まることがあります。
- ■ 音楽用CDまたはビデオCDを第1セッションに、MP3ファイルとJPEGファイルを第2セッションに記録したような種類の異なるマルチセッションディスクを再生した場合は、第1セッションのみの再生となる場合があります。

3

[再生]ボタンを押す

- 自動的にトレイが閉じて、ディスクの最初のチャプター、またはトラックから再生が始まります。
- トレイが閉じられているときも[再生]ボタンを押します。
- メニュー画面が記録されているDVDやビデオCDを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。[➡ 73、74ページ]
- DVD-RW（VRフォーマット）記録のディスクは、オリジナル、プレイリスト画面から直接お好みのタイトルを選んで再生することができます。
[➡ 75ページ]

4

再生をやめるときは[停止]ボタンを押す

画面に下記の表示が出た場合は、113ページをご覧ください。

ディスクエラー --ディスクを取り出してください。-- 再生可能なディスクを挿入してください。	リージョンエラー --ディスクを取り出してください。-- この地域での再生は禁止されています。	パレンタルエラー 現在のパレンタル設定では再生が制限されています。

ちょっと一言！

- ■ 本機の動作中にテレビ画面の右上に[⃠ （禁止マーク）]が表示されることがあります。これは、禁止されている操作が本機かディスクに対して行われていることを警告するためのものです。
- ■ ディスクに汚れや傷があると、画像が歪んで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合には、ディスクを清掃して電源コードをいったん抜き取り、コードを差し込み直してから再生を再開してください。
- ■ 再生プログラム信号が備わっているようなある種のタイトルを使っているDVDの場合は、2番目のタイトルから再生が始まったり、こういったタイトルを飛ばして再生をしたりすることがあります。
- ■ メニュー画面対応DVDやPBC（プレイバックコントロール）対応ビデオCDはそれぞれ操作が異なります。操作方法についてはソフトに付属の説明書にしたがってください。[➡ 14、73ページ]
- ■ PBC（プレイバックコントロール）対応ビデオCDでPBC再生を行わない場合は、再生中に[停止]ボタンを押し、数字ボタンを押してから再生してください。PBC機能を解除したあと、再度PBC再生を行うときは[停止]ボタンを2回押し、[再生]ボタンを押してください。ディスクを入れ直した場合もPBC再生に戻ります。
- ■ 2層ディスクの場合、レイヤーの変わり目で一瞬画像が静止することがあります。
- ■ 映像や音声が出力されるまでに時間がかかることがありますが、故障ではありません。

早送り／早戻しをする（サーチ）

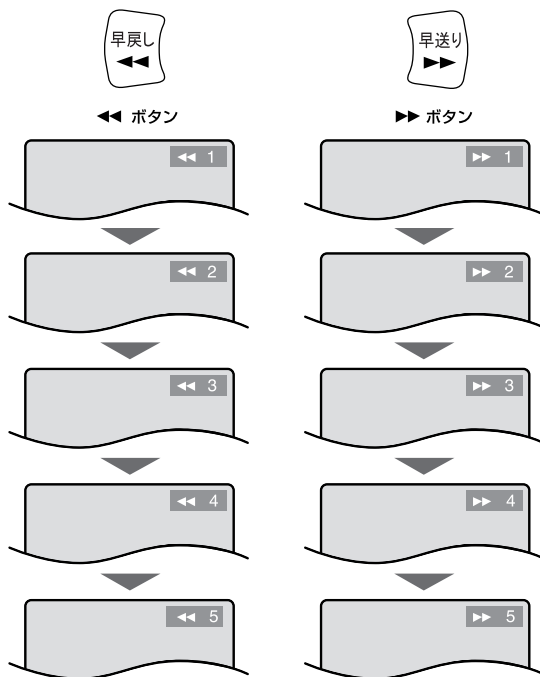
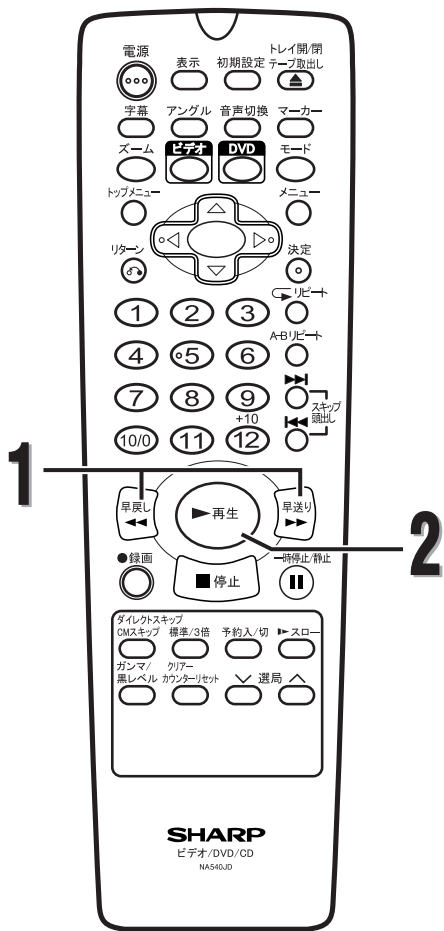
準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

再生中に[早送り]ボタンか[早戻し]ボタンを押す（DVDやビデオCDの音声は出ません）

● DVDの場合は[早送り]ボタンまたは[早戻し]ボタンを押すたびに、5段階に再生速度が変わります。

● DVDの場合、ディスクによって早送り／早戻しの速度が異なる場合がありますが、目安は1(約2倍速)、2(約8倍速)、3(約20倍速)、4(約50倍速)、5(約100倍速)です。

● ビデオCD、音楽用CD、MP3の場合、早送り／早戻しの速度の目安は1(約2倍速)、2(約8倍速)、3(約30倍速)の3段階です。

2

[再生]ボタンを押すと通常の再生速度に戻ります

ちょっと一言!

■ タイトルまたはトラック（MP3）をまたぐサーチはできません。
■ DVDディスクのタイトルからタイトルをまたいだ早送り／早戻しはできません。
■ DVDディスクで早送りサーチ／早戻しサーチ中、映像にブレが生じる場合は、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 99〜100ページ]

DVD編

早送り／早戻しをする（サーチ）

停止したところから再生する（つづき再生）

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に[停止]ボタンを押す

● 再生が停止し、次いで画面中央に「つづき再生メッセージ」が表示されます。

〈例：DVD、ビデオCDの場合〉

2 [再生]ボタンを押す

● 停止した位置から、つづけて再生されます。

ちょっと一言！

■ [停止]ボタンを2回押すか、ディスクトレイを開くと、つづき再生機能は解除されます。
■ PBC（プレイバックコントロール）対応ビデオCDの場合、つづき再生はできません。再生中に[停止]ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除できます。このとき、[停止]ボタンを押すと、手順1の画面があらわれます。本機の電源を切ったあとでもつづき再生をすることができます。
■ 電源を切ってもつづき再生の情報は消えません。
■ PBC再生に戻る場合は、停止中（リジュームオフ）から[再生]ボタンを押します。
■ MP3、JPEG、フジカラーCDの再生時はトラックの先頭から再生します。

チャプターやトラックを頭出しする（スキップ）

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

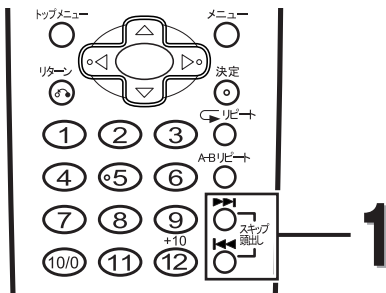
1 再生中に[スキップ／頭出し]ボタン[▶▶I / I◀◀]を押す

● DVDの場合は、チャプターの頭出しができます。

● ビデオCD、音楽用CD、MP3、JPEGの場合は、トラックの頭出しができます。

▶▶I ― 次のチャプターやトラックを頭出しします。

または

I◀◀ ― 現在のチャプターやトラックを頭出しします。（JPEGの場合は前のトラックに戻ります。）さらに押すと前のチャプターやトラックに戻ります。

ちょっと一言!

■ ディスクによってはタイトル（トラック）をまたぐスキップができないことがあります。

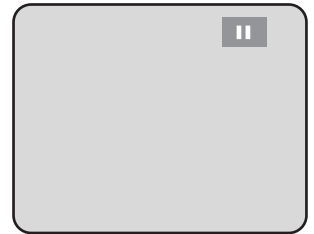
■ MP3とJPEGを同時再生しているときのスキップ操作は、MP3ファイルに対してのみ有効です。ただし、「初期設定」の[スライドショー]を[ミュージック]にしている場合は、MP3とJPEGのどちらのファイルにも有効です。

一時停止（静止）

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に[一時停止／静止]ボタンを押す

● DVDやビデオCDは静止画再生となります。

● 音楽用CD、MP3、JPEGは一時停止となります。

2 再生を再開するには[再生]ボタンを押す

ちょっと一言!

■ DVDディスクで一時停止中の映像にブレが生じる場合、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 99〜100ページ]

■ MP3とJPEGの同時再生中に[一時停止／静止]ボタンを押すと、JPEGファイルのみ一時停止します。再度[一時停止／静止]ボタンを押すと、MP3ファイルも一時停止します。

■ MP3とJPEGの同時再生時のMP3とJPEGの両方が一時停止中に[再生]ボタンを押すと、両ファイルとも再生が再開されます。

コマ送り再生

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1
一時停止中にもう1度、[一時停止／静止]ボタンを押す

● このボタンを押すたびに、コマ送りされます。

2
[再生]ボタンを押すと再生に戻ります

※コマ戻しはできません。

ちょっと一言！
■ コマ送り再生中の映像にブレが生じる場合、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。
[➡ 99～100ページ]

早見・早聞き／遅見・遅聞き再生

※ドルビーデジタル方式で記録されたディスクのみで動作します。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1
再生中に[ ]が表示されるまで[モード]ボタンを繰り返し押す

● 現在の設定状態が表示されます。

2
[決定]ボタンまたはカーソルボタン[◀/▶]で設定を切り換える

● ♪ ：約0.8倍速で再生を行います。（遅見・遅聞き再生）
● ♪♪ ：約1.3倍速で再生を行います。（早見・早聞き再生）
● オフ ：通常再生を行います。

3
[再生]ボタンを押すと通常再生に戻ります

ちょっと一言！
■ 早見・早聞き／遅見・遅聞き再生中は、音声（言語）切り換えはできません。
■ 早見・早聞き／遅見・遅聞き再生中は、バーチャルサラウンド設定、黒レベル設定、デジタルガンマ設定はできません。
■ 早見・早聞き／遅見・遅聞き再生中は、バーチャルサラウンド機能は働きません。
■ ディスクによっては早見・早聞き／遅見・遅聞き再生できない箇所があります。
■ デジタル音声出力端子（光／同軸）に接続している場合、DPCM音声が出力されます。

スロー再生

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

再生中に[一時停止／静止]ボタンを押す

● 静止画再生となります。

一時停止/静止

2

再生を一時停止している間に[早送り]ボタンか[早戻し]ボタンを押す（音声は消音のままです）

● スローモーションモードで再生が行われます。

● [早送り]ボタンまたは[早戻し]ボタンを押すたびに、3段階に再生速度が変わります。

● ディスクによって再生速度が異なる場合がありますが、目安は1(約1/16倍速)、2(約1/8倍速)、3(約1/2倍速)です。

3

[再生]ボタンを押すと通常の再生速度に戻ります

▶再生

■ 音楽用CDのスロー再生はできません。
■ ビデオCDの逆方向のスロー再生はできません。
■ スロー再生中の映像にブレが生じる場合、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 99～100ページ]

繰り返し再生（リピート再生）

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に[リピート]ボタンを押す

DVDの場合

- 1つのタイトル、チャプター、またはディスク全体（DVD-RW（VRフォーマット）ディスクのみ）を、繰り返し再生します。
- [リピート]ボタンを押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

音楽用CD、ビデオCDの場合

- ディスク全体または1つのトラックが繰り返し再生されます。
- [リピート]ボタンを押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

MP3、JPEGの場合

- グループまたは1つのトラック、ディスク全体が繰り返し再生されます。
- [リピート]ボタンを押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

音楽用CD、MP3／JPEGファイル形式のCD-RW/-Rのプログラム／ランダム再生中に[リピート]ボタンを押し、[オール]にするとプログラム／ランダム再生が繰り返し実行されます。

ちょっと一言!

- ■ ディスクによっては、再生の繰り返しができないものがあります。
- ■ リピートを設定した以外のタイトル、チャプター、トラックに移ったときは、この設定は消去されます。
- ■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、再生中に[停止]ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除できます。このとき、[リピート]ボタンを押すと、[オフ]が画面にあらわれます。
- ■ MP3とJPEGを同時再生している時のグループリピートは、それぞれのグループが繰り返し再生されます。例えば、グループAのJPEGとグループBのMP3を再生中にグループリピートを設定すると、グループAのJPEGファイルすべてとグループBのMP3ファイルすべてを繰り返し再生します。

繰り返し再生（A-Bリピート再生）

お好みのシーン（A-B間）を繰り返し再生するように、設定することができます。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に繰り返し再生したい開始点（A）で[A-Bリピート]ボタンを押す

● 開始点（A）が設定されます。

A-Bリピート

A-

2 リピート再生の最終点にしたい箇所（B）で、再度[A-Bリピート]ボタンを押す

● 選択されたシーン（A-B間）が繰り返し再生されます。

A-Bリピート

A-B

3 A-Bリピート再生を終わらせるには、[A-Bリピート]ボタンを押してリピート再生を[オフ]に切り換える

A-Bリピート

オフ

電源 表示 初期設定 トレイ開/閉 テープ取出し
字幕 アングル 音声切換 マーカー
ズーム ビデオ DVD モード
トップメニュー メニュー
リターン 決定
リピート
A-Bリピート
スキップ 頭出し
早戻し 再生 早送り
●録画 停止 一時停止/静止
ダイレクトスキップ CMスキップ 標準/3倍 予約入/切 スロー
ガンマ/黒レベル クリアー カウンターリセット 選局
SHARP
ビデオ/DVD/CD
NA540JD

[クリアー]ボタン

■ DVDの場合、A-Bリピート再生は、現在のタイトル内にのみ設定することができます。
■ 音楽用CDやビデオCDの場合、A-Bリピート再生は、現在のトラック内で設定することができます。
■ DVDの場面によっては、A-Bリピート再生機能を利用できない場合があります。
■ 設定された開始点（A）をキャンセルするには、[クリアー]ボタンを押します。
■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、一部のシーンでA-Bリピート再生できない場合があります。
■ MP3でのA-Bリピート再生はできません。
■ 開始点（A）のみ設定したままタイトル／トラックの終端まで再生された場合は、自動的に終端にB点が設定されます。

プログラム再生

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

ディスクを挿入し、停止中に[モード]ボタンを押す

● プログラム設定画面が表示されます。

2

カーソルボタン[▲/▼]を押して希望するトラック番号を選択し、[決定]ボタンを押す

● 引き続き別のトラックをプログラムするときは、手順2を繰り返します。またこのとき、8トラック以上が入力され、画面内に表示しきれない場合は、次のページを示す“▷▷|”（|◁◁）が表示され、[スキップ／頭出し]ボタン[▶▶|/|◀◀]で入力したトラックの確認ができます。

● 画面内にすべて表示しきれない場合は次のページを示す " ▽ " が表示されます。

● 選択したトラックの合計時間が画面上側に表示されます。

● 最後に入力したプログラムを取り消すには、[クリアー]ボタンを押します。

3

[再生]ボタンを押す

● プログラムされている順序で再生が開始します。

プログラム再生中、[停止]ボタンは次のように作動します。

● [停止]ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。再び[再生]ボタンを押すと、停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。

● [停止]ボタンを2回押した場合、プログラム再生はオフとなります。

ちょっと一言！

■ プログラム再生中は、プログラムの追加は実行できません。このような操作を行う前に現在の再生を停止してください。

■ プログラム再生中は、希望のトラックからの再生およびランダム再生はできません。

■ すべてのプログラムを消すには、手順2でリストの一番下の[オールクリア]を選択してください。

■ プログラム設定は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと、消去されます。

■ 1度設定した曲順を入れかえることはできません。曲順を変更したい場合は、手順2で[クリアー]ボタンを使って入力し直してください。

■ 設定した次のトラックを再生するときは[スキップ／頭出し]ボタン[▶▶|]、前のトラックを再生するときは[スキップ／頭出し]ボタン[|◀◀]を押してください。

■ 最大で99トラックまでプログラムできます。

ランダム再生

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 停止中に[モード]ボタンを押す

● プログラム設定画面が表示されます。

2 [モード]ボタンをもう1度押す

● ランダム設定画面が表示されます。

3 [再生]ボタンを押す

● ランダム再生が始まります。

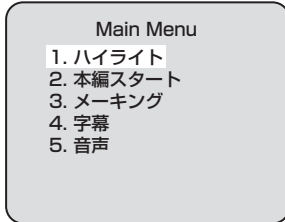
ちょっと一言!

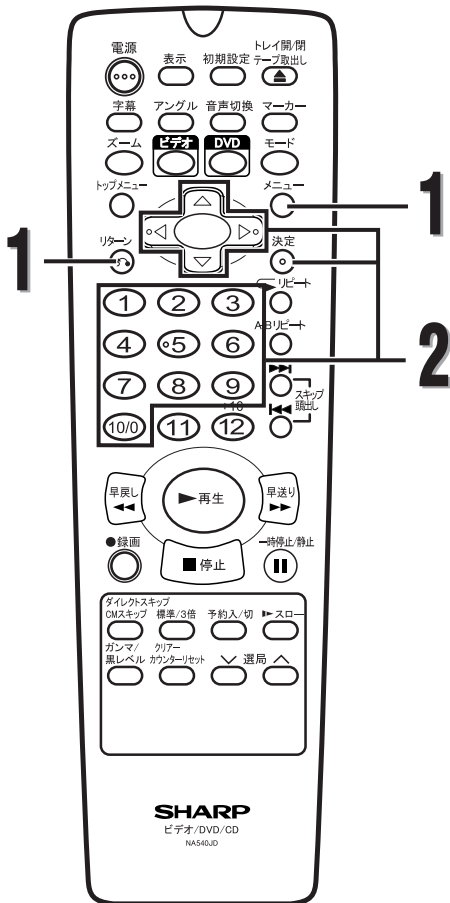
■ ランダム再生中は、希望のトラックからの再生およびプログラム再生はできません。
■ ランダム再生中は、前のトラックへ戻ることはできません。
■ ランダム再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。
■ ランダム再生中に[停止]ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。

ディスクメニューを使う

DVDやPBC対応のビデオCDの中にはそのディスクの内容を表示するガイダンスメニューや、音声、言語などを設定するメニューなど、そのディスク独自のメニューが入っているものがあります。

（例）

Main Menu
1. ハイライト
2. 本編スタート
3. メーキング
4. 字幕
5. 音声

● 表示される内容はDVDやビデオＣＤによって異なります。ここでは一般的な操作の例を示しています。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生したいディスクをセットし、[メニュー]ボタンを押す

● ビデオCDの場合は、[リターン]ボタンを押してください。
● ディスクメニューが表示されます。

メニュー

2 希望するタイトルを選択する

● カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押してセッティングを変え、[決定]ボタンを押します。
● ディスクによっては、数字ボタンが有効な場合があります。
● ビデオCDの場合は、数字ボタンを押してください。

3 選択したタイトルから再生が始まります

タイトルメニューを使う

タイトルメニューが入っているDVDの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生したいディスクをセットし、[トップメニュー]ボタンを押す

● タイトルメニューが表示されます。

トップメニュー

2 希望するタイトルを選択する

● カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押して項目を変え、[決定]ボタンを押します。

再生中にメニュー画面を呼び出す

● [メニュー]ボタンを押してDVDメニューを呼び出します。

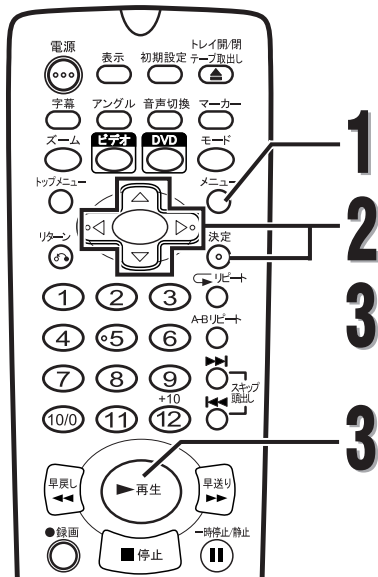
● [トップメニュー]ボタンを押してタイトルメニューを呼び出します。

ちょっと一言！

■ メニューの内容と、この内容に基づいた各メニューの役割りは、ディスクによって異なっています。詳細についてはディスクに付属の説明書を参照してください。

VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）記録のDVD-RWディスクを再生する

VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RWディスクにプレイリストを設定しているときは、[オリジナル]、または[プレイリスト]を選択して再生することができます。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 停止中に[メニュー]ボタンを押す

● 現在設定されているメニューが表示されます。

2 カーソルボタン[◀/▶]を押して[オリジナル]、または[プレイリスト]を選択し、[決定]ボタンを押す

● プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面にプレイリストは表示されません。
● [オリジナル]と[プレイリスト]を切り換えると、つづき情報（リジューム）は解除されます。

3 カーソルボタン[▲/▼]を押して希望するタイトルを選択し、[再生]または[決定]ボタンを押す

● 選択したタイトルの再生が始まります。

● 画面内にすべて表示しきれない場合は次のページを示す " ▽ " が表示されます。

ちょっと一言！

■ DVDレコーダーで録画したディスクの場合、録画して作られたタイトル（番組）をオリジナルと呼びます。
■ オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルをプレイリストと呼びます。
■ ファイナライズされていないディスクは再生できません。
■ VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）のディスクは、DVD-RWディスクを使ってプログラム編集など、DVDレコーダーならではの機能を楽しむための録画モードです。
■ ディスク名／タイトル名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては表示できない（＊が表示される）場合があります。

希望するチャプター／タイトルからのダイレクト再生

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

再生中に[ダイレクトスキップ]ボタンを押す

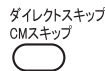
● チャプター選択画面が表示されます。

ダイレクトスキップ
CMスキップ

2

タイトル番号を変更する場合は、もう1度[ダイレクトスキップ]ボタンを押す

● タイトル選択画面が表示されます。

ダイレクトスキップ
CMスキップ

3

数字ボタンを押して希望するチャプターまたはタイトル番号を入力する

● 選択したチャプターまたはタイトルが再生されます。
● ディスクに2桁以上のチャプターやタイトルがあるときに1桁のチャプターやタイトルを選ぶときは、[0]ボタンを押してから希望の数字を押してください。
　例）チャプター1：[0] → [1]
● 1桁のチャプターやタイトルしかない場合は、その数字を押してください。
　例）チャプター1：[1]
● 入力を間違った場合は、[クリアー]ボタンを押して入力しなおしてください。

[スキップ／頭出し]ボタン[▶▶I / I◀◀]の使いかた

再生中または再生が一時停止中に[スキップ／頭出し]ボタン[▶▶I]を押すと、そのときに再生されていたチャプターを飛ばして次のチャプターが再生されます。[スキップ／頭出し]ボタン[I◀◀]を1回押すと、そのときに再生されていたチャプターの頭出しをして再生を始めます。再生が始まってから2秒以内に[スキップ／頭出し]ボタン[I◀◀]をもう1回押すと1つ前のチャプターに戻ります。

ちょっと一言！

■ DVDによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。
■ 再生中に希望するチャプター番号の数字ボタンを押すと、現在再生中のタイトルのチャプター番号を選択し、再生します。
■ 停止中に希望するタイトル番号の数字ボタンを押すと、指定したタイトル番号の先頭から再生します。

希望するタイムカウントからの再生（タイムサーチ）

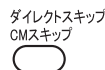
準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させせます。

1

再生中にタイムサーチ画面が表示されるまで[ダイレクトスキップ]ボタンを繰り返し押す

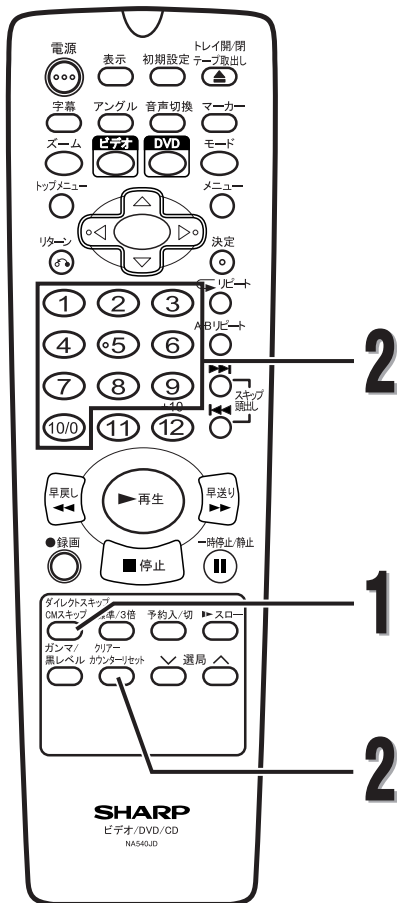
● タイムサーチ画面が表示されます。

ダイレクトスキップ
CMスキップ

2

数字ボタンを押して希望するタイムカウントをセットする

● 例：　1時間23分30秒

[1]→[2]→[3]→[3]→[0]

● 入力を間違った場合は、[クリアー]ボタンを押して入力しなおしてください。

ちょっと一言！

■ DVDの場合、再生中のタイトルの中でのタイムサーチとなります。他のタイトルへのタイムサーチはできません。

■ ビデオCDや音楽用CDの場合、同一トラック内でのタイムサーチとなります。CD（ディスク）全体としてのタイムサーチはできません。（ビデオCDは、PBC再生しているとタイムサーチが働きません。）

■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、タイムサーチはできません。再生中に[停止]ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除できます。このとき、[ダイレクトスキップ]ボタンを2回押すと、手順1の画面があらわれます。

■ ディスクによっては、希望する特定のタイムカウントからの再生ができないことがあります。

■ 停止中は、タイムサーチはできません。

■ タイトルやトラックの総時間に応じて、入力する必要のない箇所にはあらかじめ[0]が表示されます。例えばタイトルの総時間が10分未満ならば、[0:0_:__]と表示されます。

希望するトラックからのダイレクト再生

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

再生中に[ダイレクトスキップ]ボタンを押す

ダイレクトスキップ
CMスキップ

2

数字ボタンを押して希望するトラック番号を入力する

- ディスクに2桁以上のトラックがあるときに1桁のトラックを選ぶときは、[0]ボタンを押してから希望の数字を押してください。

  例）トラック1：[0] → [1]　または [0] → [0] → [1]
- 1桁のトラックしかない場合は、その数字を押してください。

  例）トラック1：[1]
- 入力を間違った場合は、[クリアー]ボタンを押して入力しなおしてください。

[スキップ／頭出し]ボタン[▶▶I/I◀◀]の使いかた

再生中または再生が一時停止中に[スキップ／頭出し]ボタン[▶▶I]を押すと、そのときに再生されていたトラックを飛ばして次のトラックが再生されます。[スキップ／頭出し]ボタン[I◀◀]を1回押すと、そのときに再生されていたトラックの頭出しをして再生を始めます。再生が始まってから2秒以内に[スキップ／頭出し]ボタン[I◀◀]をもう1回押すと1つ前のトラックに戻ります。

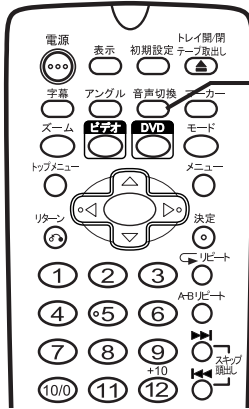
ちょっと一言！

■ 再生または停止中に数字ボタンを使ってトラック番号を入力しても、希望するトラックから再生を始めることができます。2桁以上のトラック番号を入力する場合は、[+10]ボタンを押して数字を入力します。（例）トラック14：+10→1→4（ビデオCDは、PBC再生しているとダイレクト再生が働きません。）

■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、希望するトラックからのダイレクト再生はできません。再生中に[停止]ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除できます。このとき、[ダイレクトスキップ]ボタンを押すと手順1の画面があらわれます。

音声（言語）をかえる

本機には、希望する音声（言語）およびサウンドモードを選択できる機能が備えられています。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に[音声切換]ボタンを押す

音声切換

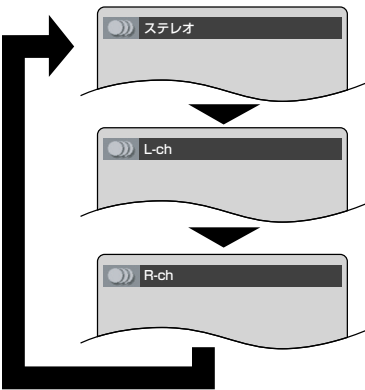
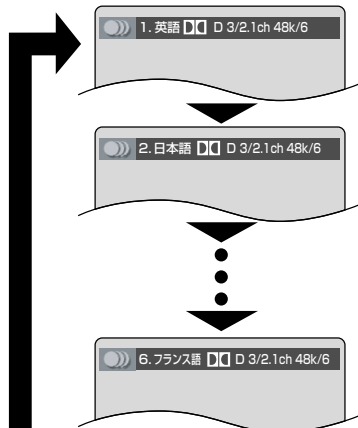
2 さらに[音声切換]ボタンを押して希望する音声（言語）を選択する

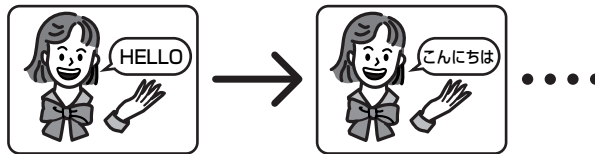
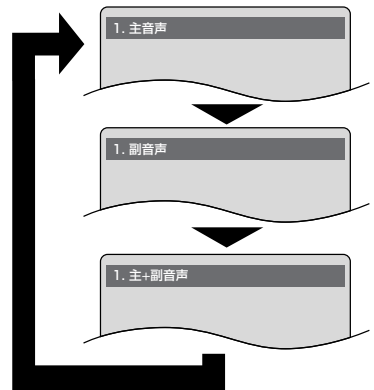
- 音声（言語）は、そのディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。
- 二重音声（二ヵ国語）で録画されているDVD-RW（VRフォーマット）では、主音声、副音声、主音声+副音声を切り換えることができます。
- 音楽用CDはステレオ／左チャンネル／右チャンネルに切り換えることができます。

音楽用CD、ビデオCDの場合

ステレオ

L-ch

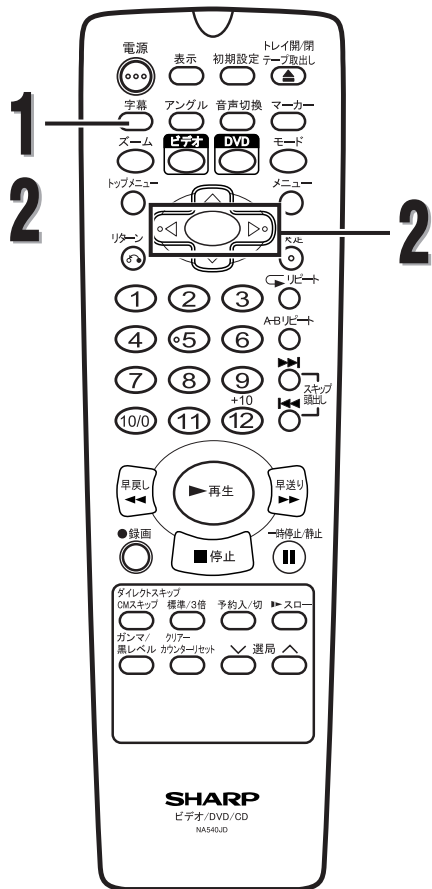
R-ch

DVDの場合

DVD-RW（VRフォーマット）の場合

・・・・

ちょっと一言！

- ■ DVDによっては、複数の言語が入っていても[音声切換]ボタンが作動しないことがあります（例えばディスクメニュー上で言語の設定ができるDVDがあります）。DVDにより操作が異なります。操作方法については、DVDに付属の説明書にしたがってください。
- ■ [音声切換]ボタンを数回押しても希望する言語が表示されないときは、その言語がDVDに含まれていません。
- ■ 電源投入時やDVD交換時は、「初期設定」で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDに含まれていないときは、そのDVDで決められている言語が選ばれます。
- ■ 約5秒後に画面表示が消えます。
- ■ DTS音声で記録された音楽用CDはサウンドモードを切り換えることができません。
- ■ 早見・早聞き／遅見・遅聞き再生中は、音声（言語）の切り換えはできません。[➡ 67ページ]
- ■ DVD-RW（VRフォーマット）で二重音声が記録されていない場合は、主音声、副音声、主＋副音声の切り換えはできません。
- ■ デジタル接続のみで音声出力しているときは、VRフォーマットのディスク再生時に音声を切り換えることはできません。

字幕（言語）をかえる

本機には、希望する字幕（言語）を選択できる機能が備えられています。

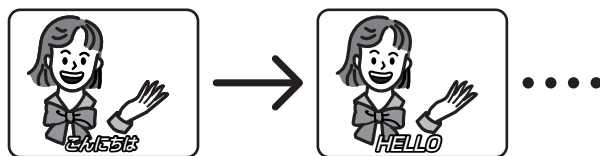
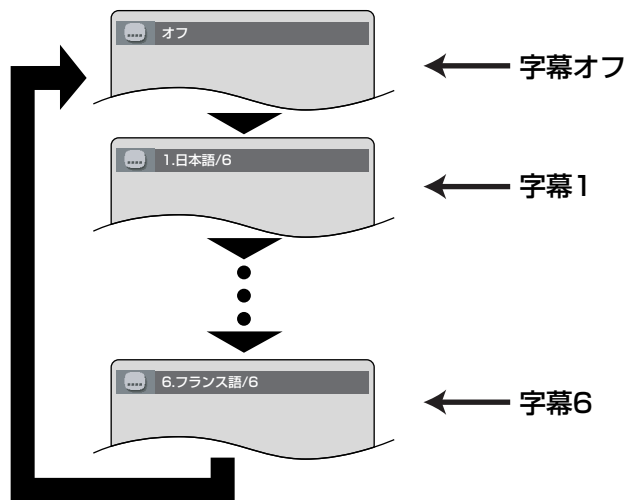
準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

再生中に[字幕]ボタンを押す

字幕

2

さらに[字幕]ボタンを押して希望する言語の字幕を選択する

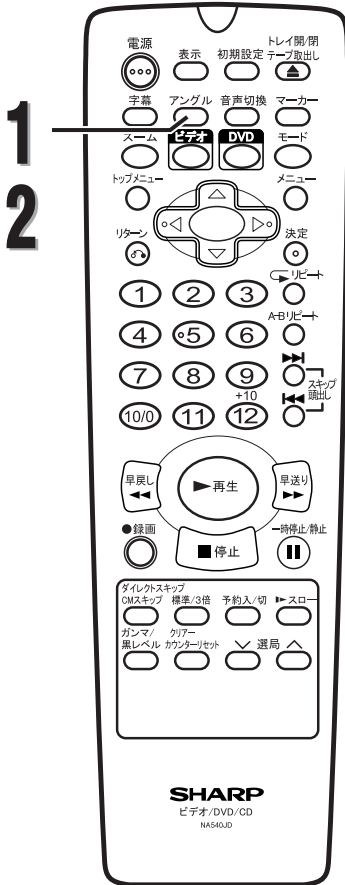
● 再生中のDVDに複数の言語が含まれている場合は、字幕（言語）を切り換えることができます。
● 字幕（言語）は、再生中のDVDに1つの言語しか含まれていない場合は、切り換えることができません。

● [字幕]ボタンを押すと字幕（言語）が、字幕1、字幕2---と含まれているすべての言語に切り換わります。
● 字幕（言語）オン/オフの切り換えは次のように行うことができます。
1.[字幕]ボタンを押す。
2.カーソルボタン[◀/▶]を押す。

ちょっと一言！

■ DVDディスクメニューで字幕（言語）の設定をするDVDがあります。（DVDにより操作が異なります。操作方法については、DVDに付属の説明書にしたがってください。）
■ [字幕]ボタンを数回押しても希望する言語が表示されないときは、その言語の字幕がDVDに含まれていません。
■ 電源投入時やDVD交換時は、「初期設定」で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDに含まれていないときは、そのDVDで決められている言語が選ばれます。
■ 変更した字幕（言語）が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
■ 約5秒後に画面表示が消えます。
■ [なし]が画面上に表示されたときは、字幕はそのシーンに入っていません。

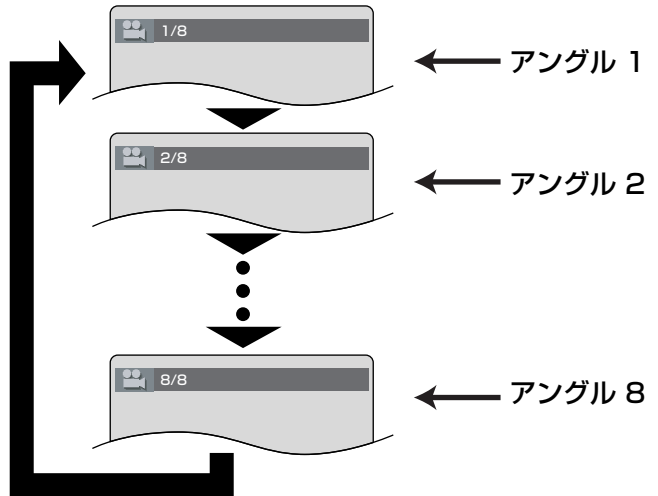
アングル（カメラアングル）をかえる

本機には、希望するカメラアングルを選択できる機能が備えられています。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に[アングル]ボタンを押す

- 各種カメラアングルの画像が記録されたDVDでは、画面右上に[🎥(アングルアイコン)]が表示されます。画面上にこのアイコンが表示されているときに、カメラアングルを変更できます。「初期設定」で[アングルアイコン]が[オフ]にされている場合、[🎥（アングルアイコン）]は表示されません。
[➡ 106〜108ページ]
- 異なるカメラアングルから記録された画像がDVD上にない場合には、カメラアングルを変更できません。

アングル

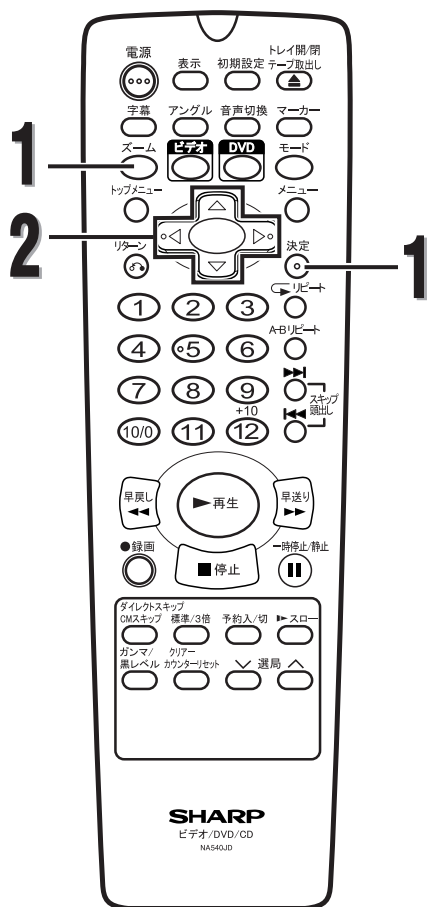
2 アングル番号が画面上に表示されている間に[アングル]ボタンを押す

アングル

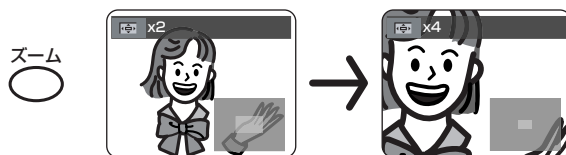
- ■ 約5秒後に画面表示が消えます。
- ■ [アングルアイコン]の設定を[オン]にしている場合、各種カメラアングルの画像が記録されたシーンでは[🎥 （アングルアイコン）]が常時表示されます。

再生中の切り換え

ズーム再生（画面上で拡大）

画像は、お好みにより画面上で×2または×4の大きさに拡大できます。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に[ズーム]ボタンを押す

- 画面中央で画像が拡大されます。
- [ズーム]ボタンを繰り返し押すと、2段階の切り換えができます。

- [ズーム]ボタンを押すと画面の右下にガイドが表示されます。何も操作しない場合、ガイドは自動的に消えます。
- ガイドの表示／非表示は、[決定]ボタンで行なってください。

2 ズーム再生中にカーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押すと、ズームする部分が移動する

- ズームフレームを中心から移動させることができます。上下左右にx2のときは4段階、x4のときは6段階で移動できます。JPEG再生時は、ファイルサイズにより移動できる段階が異なります。
- カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]でズーム位置を動かしたとき、画面の右下に表示されるガイドで現在の位置が確認できます。

- ■ ディスクによっては×4の大きさに拡大できないものもあります。
- ■ ビデオCD、JPEGは×2の大きさのみ拡大できます。
- ■ JPEGは、ガイドが表示されません。

MP3／JPEGディスクの再生

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させせます。

1 MP3またはJPEGが記録されたディスクを挿入し、[メニュー]ボタンを押す

●ファイルリスト画面が表示されます。

- グループ（フォルダ）名の先頭には "□" が表示されます。
- MP3トラック名の先頭には "♪" が表示されます。
- JPEGトラック名の先頭には "☺" が表示されます。
- 画面内にすべて表示されない場合は、次のページを示す "▽" が表示されます。前のページがある場合には "△" が表示されます。 "▽" の右側には現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。
- 255グループ、999トラックまで認識できます。
- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
- グループの中にMP3またはJPEGトラックが見つからない場合、そのグループは表示されません。
- カーソルボタン[◀]を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。

2 カーソルボタン[▲/▼]で再生したいグループまたはトラックを選択し、[再生]ボタンまたは[決定]ボタンを押す

または
トラックを選択した場合
選択したトラックから順に再生が始まります。

グループを選択した場合
カーソルボタン[▶]または[決定]ボタンを押し、次にカーソルボタン[▲/▼]でそのグループ内の再生したいトラックを選択し、[再生]ボタンまたは[決定]ボタンを押すと再生が始まります。

- [トップメニュー]ボタンを押すと1番上の階層に戻ります。
- 9階層以降の階層は再生できません。
- JPEG画像が表示されている間は、カーソルボタン[▶]を押すごとに時計まわりに、カーソルボタン[◀]を押すごとに反時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。

ちょっと一言！

- ■「初期設定」のデュアル再生設定項目については、106〜108ページを参照してください。
- ■デュアル再生設定項目が[オン]の場合、MP3ファイルとJPEGファイルの両方が記録されたディスクを挿入後、[再生]ボタンを押すと、先頭のMP3トラックとJPEGトラックから、同時再生が始まります。
- ■グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- ■MP3の音声は、デジタル接続したとき、デジタル機器での録音が禁止されます。
- ■MP3メニューの最初の画面を表示するには、ファイルリスト画面表示中に[トップメニュー]ボタンを押します。
- ■記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- ■固定ビットレート32kbps以上で記録されたMP3ファイルを推奨します。
- ■ファイルリスト画面を表示していない状態で再生しているときに数字ボタンでファイル番号を入力すると、そのファイルのダイレクト再生を始めることができます。
- ■ファイルリスト画面表示中はダイレクト再生ができません。
- ■希望するタイムカウントからの再生はできません。
- ■プログレッシブ形式のJPEG画像は再生できません。
- ■JPEGファイルの容量が大きいと、画面表示に時間がかかることがあります。

次ページへつづく

3

「初期設定」で[デュアル再生]を[オン]にしている場合

● MP3ファイルが選択された場合、選択されたトラックから再生が始まります。再生が終わると、次のトラックのMP3ファイルが再生されます。

● JPEGファイルが選択された場合、選択されたトラックから再生が始まります。再生が終わると、次のトラックのJPEGファイルが再生されます。

画像と音楽を同時に楽しむには…

● 再生中に、[メニュー]ボタンを押すと、ファイルリストが表示されます。

● MP3ファイルを再生中に、ファイルリストからJPEGファイルを選択すると、同時再生が始まります。

● JPEGファイルを再生中に、ファイルリストからMP3ファイルを選択すると、同時再生が始まります。

「初期設定」で[デュアル再生]を[オフ]にしている場合

● MP3ファイルとJPEGファイルは同時に再生されません。この場合、記録されたトラック順に再生されます。

4

再生を停止するときは[停止]ボタンを押す

■ デュアル再生用のディスクを作成する場合は、JPEGファイルの容量が3,000KB以下、画像の大きさが縦×横 4,000×4,000ピクセル以下のファイルを使用してください。この数値を超えるJPEGファイルは、再生できないことがあります。

■ デュアル再生は、全てのファイル構成の組み合わせを保証するものではありません。

フジカラーCDの再生

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

フジカラーCDを挿入し、[メニュー]ボタンを押す

● フジカラーCDのメニューが表示されます。

現トラック番号/総トラック数

● 画面内にすべてのメニュー項目が表示されない場合は、次のページを示す "▶▶I" が表示されます。前のページがある場合には "I◀◀" が表示されます。

● [スキップ／頭出し]ボタン [▶▶I / I◀◀]を押して、表示したいページを選択します。

● 現在のトラック番号と総トラック数は中央下部に表示されます。

● すべてのメニュー項目が表示されるまで時間がかかることがあります。

2

トラックを選択する

● カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押して再生したいトラックを選択し、[再生]ボタンまたは[決定]ボタンを押します。

または

● 選択されたトラックから画像再生が始まります。トラックは「初期設定」の[スライドショー]で設定された時間（5秒間または10秒間）で表示され、次のトラックに移ります。

● JPEG画像が表示されている間は、カーソルボタン[▶]を押すごとに時計まわりに、カーソルボタン[◀]を押すごとに反時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。

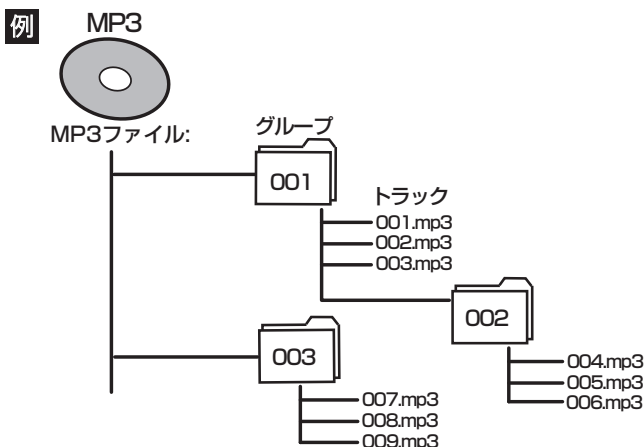
■ 再生中に[メニュー]ボタンを押すと[⃠（禁止マーク）]が表示されます。
■「初期設定」の[スライドショー]を[ミュージック]にしている場合は、5秒で表示されます。
■「初期設定」の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

MP3／JPEGの再生

MP3／JPEGファイル形式について

■「.mp3(MP3)」という拡張子がついたファイルを「MP3ファイル」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」という拡張子がついたファイルを「JPEGファイル」と呼びます。

■ ディスクに記録されたMP3ファイルやJPEGファイルはトラックとよばれ、下図のようにグループとよばれるフォルダに分類されます。

例

■ 本機ではExif規格に適合した画像ファイルも再生可能です。
＊Exif (Exchangeable Image File format)はファイルフォーマット形式の一つで、JEIDA（Japanese Electronic Industry Development Association）によって制定されたものです。

■ 拡張子が「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」と「.jpeg(JPEG)」以外のファイルはMP3またはJPEGメニューのリストには表示されません。

■ 拡張子「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」がついたファイルでも、MP3、JPEG形式で記録されていないものを再生するとノイズが出ることがあります。

再生可能MP3ファイル	
サンプリング周波数	44.1kHz 48kHz
ビットレート	32kbps～320kbps
タイプ	MPEG1 オーディオレイヤー3
フォーマット	ISO9600 Level1/Level2 Joliet方式

再生可能JPEGファイル		
画像サイズ	JPEG再生時 5MB以下	最大:6,300×5,100ドット 最小:32×32ドット
	デュアル再生時 3MB以下	最大:4,000×4,000ドット 最小:32×32ドット

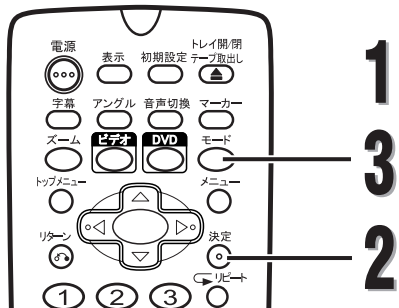
● 255グループ、999トラックまで認識できます。
● グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
● 9階層以降の階層は再生できません。

ちょっと一言!

■ グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
■ MP3の音声は、デジタル接続したとき、デジタル機器での録音が禁止されます。
■ 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
■ デュアル再生用のディスクを作成する場合は、JPEGファイルの容量が3,000KB以下、画像の大きさが縦×横 4,000×4,000ピクセル以下のファイルを使用してください。この数値を超えるJPEGファイルは、再生できないことがあります。
■「初期設定」の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

スライドショーモード

再生中にスライドショーモードを切り換えることができます。スライドを見るように、画像を順番に表示します。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

再生中に[JPG]が表示されるまで[モード]ボタンを繰り返し押す

● スライドショーモード画面が表示されます。
● スライドを見るように画面を順番に表示します。
● 停止中、またはファイルリスト画面やピクチャーCD（フジカラーCD）メニュー画面からスライドショーモードを切り換えることはできません。

2

[決定]ボタンを押す

● スライドショーモードが切り換わります。
– カット イン／アウトモード：
完全な画像を順次表示していきます。
– フェード イン／アウトモード：
次の画像に移るときに、徐々に表示していきます。

3

[モード]ボタンを押して終了する

モード

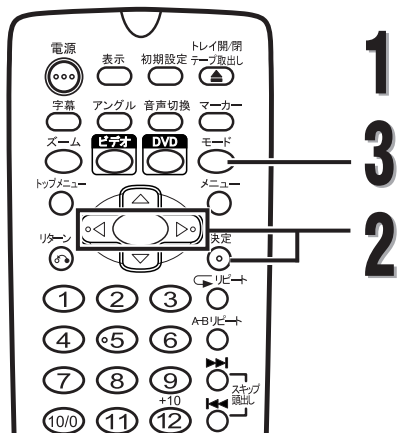
ちょっと一言！

■ JPEGファイルの[スライドショー]の画面切り換わり時間を変えることができます。
[➥ 106～108ページ]
■「初期設定」の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。
■ プログレッシブ形式のJPEG画像は再生できません。

JPEGファイルの画像サイズを調整する

接続するテレビによっては表示されるJPEGファイルの端が切れる場合があります。このような場合には、画像を少し小さくし表示します。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

再生中に[ ]が表示されるまで[モード]ボタンを繰り返し押す

● 画像サイズ設定画面が表示されます。
● 停止中、またはリスト画面から画面サイズ設定画面を表示することはできません。

2

[決定]ボタンまたはカーソルボタン[◀/▶]で設定を切り換える

–ノーマル：100%の画面サイズで表示します。
–スモール：95%の画面サイズで表示します。

3

[モード]ボタンを押して終了する

モード

ちょっと一言！

■ [スモール]にしても、効果のあらわれない画像があります。
〈例〉画像サイズの小さなファイルなど

MP3／JPEGの再生

MP3／JPEGディスクをプログラム順に再生する

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

MP3／JPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にプログラム画面が表示されるまで[モード]ボタンを繰り返し押す

● プログラム画面が表示されます。

2

カーソルボタン[▲/▼]でグループを選択し、[決定]ボタンを押す

● リスト画面が表示されます。

3

カーソルボタン[▲/▼]でトラックを選択し、[決定]ボタンを押す

● プログラムが入力されます。
● プログラム入力されたトラックは右画面に表示されます。またこのとき、8トラック以上が入力され、画面内に表示しきれない場合は、次のページを示す"▷▷I"（I◁◁）が表示され、[スキップ／頭出し]ボタン[▶▶I/I◀◀]で入力したトラックの確認ができます。

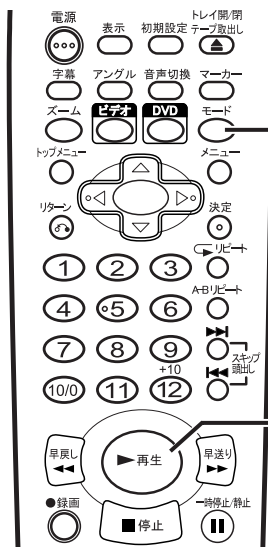
● 画面内にすべて表示しきれない場合は次のページを示す"▽"が表示されます。
● カーソルボタン[◀]を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。

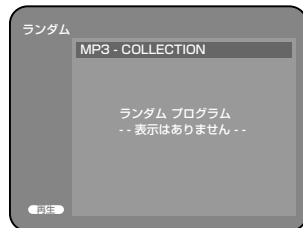
4

プログラム入力を完了し、[再生]ボタンを押す

● プログラム再生が始まります。

■ [デュアル再生]を[オン]にしている場合、プログラム再生はできません。
■ [クリアー]ボタンを押すと最後に入力したプログラムを取り消すことができます。
■ すべてのプログラムを消すには、手順3でリストの1番下の[オールクリア]を選択します。
■ [リターン]ボタンを押すとプログラムの内容を記憶した状態で停止画面になります。
■ プログラム再生を止めるには、[停止]ボタンを2回押します。設定していたプログラム再生を始めるには、[モード]ボタンを押してから[再生]ボタンを押します。
■ 電源を切る、またはディスクトレイを開けるとプログラム設定は解除されます。
■ 最大プログラム数は99トラックまでです。

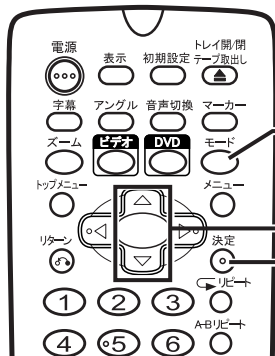
MP3／JPEGディスクをランダムに再生する

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 MP3またはJPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にランダム画面が表示されるまで[モード]ボタンを繰り返し押す

2 [再生]ボタンを押す

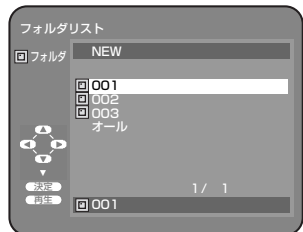
● ランダム再生が始まります。

ちょっと一言！
- ■ [デュアル再生]を[オン]にしている場合、ランダム再生はできません。
- ■ ランダム再生中に[停止]ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。
- ■ ランダム再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。

MP3／JPEGディスクをフォルダごとに再生する（フォルダ再生）

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 MP3またはJPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中に[モード]ボタンを押す

● フォルダリスト画面が表示されます。

● フォルダがない場合の再生方法は83〜84ページをご覧ください。

2 カーソルボタン[▲/▼]でフォルダを選択し、[決定]ボタンを押す

● 選択されたフォルダ内のMP3ファイルとJPEGファイルが同時に再生されます。

フォルダ再生中、[停止]ボタンは次のように作動します。

● [停止]ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。再び[再生]ボタンを押すと、停止されていた位置から、フォルダ再生を続けることができます。
● [停止]ボタンを2回押した場合、フォルダ再生はオフとなります。

ちょっと一言！

- ■ [デュアル再生]を[オフ]にしている場合は、フォルダ再生できません。
- ■ フォルダ再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。

再生中の情報を見る（画面表示）

画面表示の切り換え

リモコンの[表示]ボタンを押してディスクについての情報を確認したり、サーチや再生中の設定を変えることができます。

再生情報の表示　DVD　DVD-RW VRフォーマット　CD　VCD　MP3　JPEG

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

再生中に[表示]ボタンを押す

- 画面上に情報が表示されます。
- [表示]ボタンを繰り返し押すと、次の情報が表示されます。

DVDの場合

	項目	表示内容
(1)	C	現チャプター番号/総チャプター数
	時間	チャプター経過時間/チャプター残り時間
(2)	T	現タイトル番号/総タイトル数
	時間	タイトル経過時間/タイトル残り時間
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは、表示されません）。
	レイヤー	L0/L1 2層ディスクを再生しているとき、 現在再生しているレイヤー（層）を表示します。

[リターン]ボタンを押すと、表示なしの再生画面に戻ります。
※カメラアングルが切り換え可能な場合のみ、表示されます。

DVD-RW（VRフォーマット）の場合

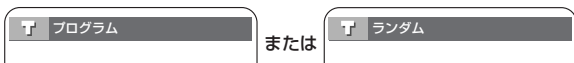
(1)と(2)はDVDの場合と同じです

	項目	表示内容
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。 表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは、表示されません）。
	プレイリスト	ORG：[オリジナル]を再生しています。 PL　：[プレイリスト]を再生しています。

[リターン]ボタンを押すと、表示なしの再生画面に戻ります。

音楽用CD／ビデオCDの場合

(3) 音楽用CDのプログラム／ランダム再生中のみ、オールは表示されません

プログラム　または　ランダム

	項目	表示内容
(1)	T	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間/トラック残り時間
(2)	オール	現トラック番号/総トラック数
	時間	ディスク経過時間/ディスク残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T：トラック A：オール

[リターン]ボタンを押すと、表示なしの画面に戻ります。

JPEGの場合

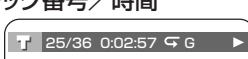
(3) プログラム／ランダム再生中のみ

プログラム　または　ランダム

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラック（ファイル）の名称
(2)	T	現トラック番号/総トラック数
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T：トラック（ファイル） G：グループ（フォルダ） A：オール

[リターン]ボタンを押すと、表示なしの画面に戻ります。

MP3の場合

(3)プログラム／ランダム再生中のみ

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラック名称
(2)	T	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T：トラック（ファイル） G：グループ（フォルダ） A：オール

[リターン]ボタンを押すと、表示なしの画面に戻ります。
※VBR（Variable Bit Rate）で記録されたMP3を再生すると、表示時間が正しくない場合があります。

デュアル再生オン設定時のMP3、JPEGの場合

(1) JPEGファイル名

(3) MP3のトラック番号／時間

25/36 0:02:57 G

(4) フォルダ再生のみ

フォルダ再生

	項目	表示内容
(1)	ファイル名（JPEG）	現在再生しているJPEGトラックの名称
(2)	ファイル名（MP3）	現在再生しているMP3トラックの名称
(3)	T	現MP3トラック番号/総トラック数
	時間	MP3トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T：トラック G：グループ A：オール

[リターン]ボタンを押すと、表示なしの画面に戻ります。

再生中の情報を見る（画面表示）

バーチャルサラウンド設定

DVD　DVD-RW VRフォーマット　CD　VCD　MP3

1

●●●●●●●●●●●●●●●

再生中に[ ]が表示されるまで[モード]ボタンを繰り返し押す

● 現在の設定状態が表示されます。

バーチャルサラウンド設定表示

2

●●●●●●●●●●●●●●●

[決定]ボタンまたはカーソルボタン[◀/▶]で1/2/オフを切り換える

決定　または

－ 1　：サラウンド（標準）
－ 2　：サラウンド（強）
－ オフ　：オリジナルの音声を再生します。

黒レベル設定

DVD　DVD-RW VRフォーマット　VCD

画面の暗いところを全体的に明るくします。

1

●●●●●●●●●●●●●●●

再生中に[ ]が表示されるまで[ガンマ／黒レベル]ボタンを繰り返し押す

● 現在の設定状態が表示されます。

黒レベル設定表示

2

●●●●●●●●●●●●●●●

[決定]ボタンまたはカーソルボタン[◀/▶]でオン/オフを切り換える

決定　または

デジタルガンマ

DVD　DVD-RW VRフォーマット　VCD

デジタルガンマとは、映像の明るい部分はそのままに、暗くて見づらい部分を明るく、見やすく補正することにより、DVD本来の高画質を豊かに再現するデジタル高画質機能です。

1

●●●●●●●●●●●●●●●

再生中に[ ]が表示されるまで[ガンマ／黒レベル]ボタンを繰り返し押す

ガンマ/
黒レベル

● 現在の設定状態が表示されます。

デジタルガンマ設定表示

2

●●●●●●●●●●●●●●●

[決定]ボタンまたはカーソルボタン[◀/▶]で1/2/3/オフを切り換える

決定　または

－1/2/3 ：暗い部分を明るく補正します。1から順に明るくなり、3が一番明るくなります。
－オフ　：オリジナルの明るさで再生します。

ちょっと一言！

■ 早見・早聞き／遅見・遅聞き再生中はバーチャルサラウンド、デジタルガンマ、黒レベル設定はできません。[➥ 67ページ]

マーカー設定

マーカー機能を使って、指定した箇所をすばやく頭出しすることができます。マーカーは10個まで設定することができます。

マーカーの設定をするには

1 再生中に[マーカー]ボタンを押す

マーカー

● 再生設定ウインドウが表示されます。

2 カーソルボタン[◀/▶]で設定されていないマーカー番号を選ぶ

3 マーカーをつけたい箇所で[決定]ボタンを押す

● マーカーをつけた箇所の時間が表示されます。

決定

4 [マーカー]ボタンまたは[リターン]ボタンを押す

● 再生中画面に戻ります。

マーカー または リターン

■ 設定したマーカーは電源を切るかトレイを開けると削除されますが、バーチャルサラウンド、デジタルガンマ、黒レベル設定は記憶されます。

■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDのPBC機能を解除したいときは、再生中に[停止]ボタンを押し、数字ボタンを押します。このとき、[マーカー]ボタンを押すと手順1の画面があらわれます。

マーカーを設定した箇所から再生を行うには

1 再生設定ウインドウ内の頭出ししたい箇所（マーカー）をカーソルボタン[◀/▶]で選び、[決定]ボタンを押す

● 選択された箇所から再生が始まります。

2 [マーカー]ボタンまたは[リターン]ボタンを押す

● 再生中画面に戻ります。

マーカー または リターン

マーカー設定を削除するには

1 再生中に[マーカー]ボタンを押す

マーカー

2 カーソルボタン[◀/▶]で削除したいマーカーを選び、[クリアー]ボタンを押す

● すべてのマーカー設定を削除する場合は、カーソルボタン[◀/▶]で[AC]を選び、[決定]ボタンを押します。

3 [マーカー]ボタンまたは[リターン]ボタンを押す

● 再生中画面に戻ります。

初期設定（セットアップ）－設定一覧（出荷設定）－

便利にお使いいただけるようご自分で変更できる設定と工場出荷時の設定を一覧表にしています。

● ワイドテレビとの接続や、オーディオアンプとのデジタル接続時に設定を変える必要があります。詳しくは各ページをご参照ください。

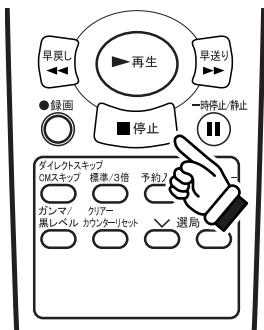
● パレンタル設定以外の設定を初期化する方法は、109ページをご覧ください。

メニュー項目	設定項目（□は工場出荷設定）		設定内容
1. 言語設定 [➡ 95～98ページ]	音声言語	オリジナル 日本語 英語 ⋮	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定します。
	字幕言語	オフ 日本語 英語 ⋮	テレビに表示される字幕言語の種類を設定します。
	ディスクメニュー言語	日本語 英語 ⋮	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定します。
	画面表示言語	日本語 ENGLISH	設定画面の言語やテレビ画面に表示される[再生]などの言語の種類を設定します。
2. 映像設定 [➡99～101ページ]	TV画面モード	4:3レターボックス 4:3パンスキャン 16:9ワイド	接続するテレビのタイプに合わせて表示する画面を設定します。
	スチルモード	オート フィールド フレーム	一時停止中の画質を設定します。
	プログレッシブ	オフ オン	プログレッシブのオン／オフを設定します。
3. 音声設定 （デジタル出力） [➡102～103ページ]	DRC	オン オフ	DRC（音量範囲）のオン／オフを設定します。
	ダウンサンプリング	オン オフ	96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する／しないを設定します。
	ドルビーデジタル	ビットストリーム DPCM	デジタル音声出力端子から出る音声信号の種類を設定します。
	DTS	オフ ビットストリーム	
4. パレンタル設定 （視聴制限） [➡104～105ページ]	パレンタルレベル	オール 8～1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定します。
	パスワード変更	4桁のパスワードを入力	パスワードを設定・変更します。
5. その他の設定 [➡106～108ページ]	アングルアイコン	オン オフ	アングルアイコン（ ）の画面表示有無を設定します。
	デュアル再生	オフ オン	MP3とJPEGの同時再生オン／オフを設定します。
	スライドショー	5秒 10秒 ミュージック	JPEGの表示時間を設定します。

■ 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
■ 停止状態でないと、初期設定機能は利用できません。
■ メニュー画面付きDVDを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
[➡ 14、73ページ]

■ とかかれたマークのある項目は、クイックセットアップ画面でも設定することができます。その他の項目は、カスタムセットアップ画面での設定が必要となります。

言語設定

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

再生モードになっている場合には[停止]ボタンを押します

1

停止中に[初期設定]ボタンを押す

● クイックセットアップ画面が表示されます。

2

カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、[決定]ボタンを押す

● カスタムセットアップ画面が表示されます。

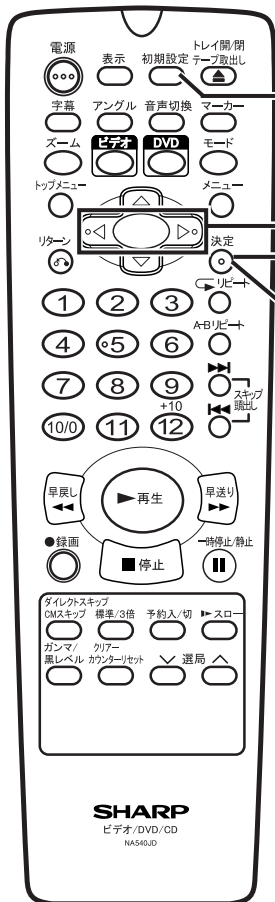
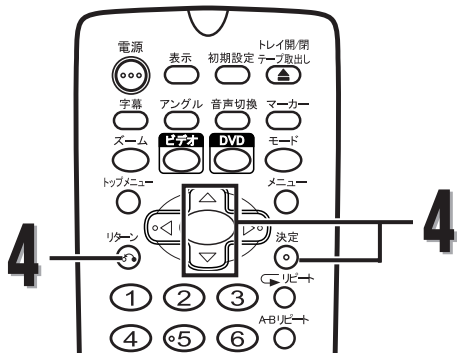
3

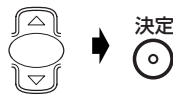
[決定]ボタンを押す

● 言語設定画面が表示されます。

決定

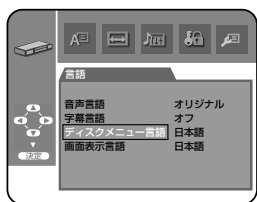
DVD編　言語設定

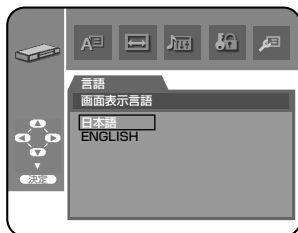
次ページへつづく

4

カーソルボタン[▲/▼]を押して選択したい項目を選び、[決定]ボタンを押す

● 1つ前の階層のメニューに戻る場合は、[リターン]ボタンを押してください。

音声言語（出荷設定：オリジナル）
再生ディスクの言語（音声）を選択します。
－ オリジナル：ディスクのオリジナル言語（音声）となります。

字幕言語（出荷設定：オフ）
再生ディスクの言語（字幕）を選択します。
－ オフ：字幕なしとなります。

ディスクメニュー言語（出荷設定：日本語）
ディスクメニューの表示言語を選択します。

画面表示言語（出荷設定：日本語）
設定画面の言語やテレビ画面に表示される言語を選択します。

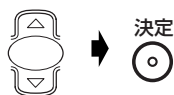
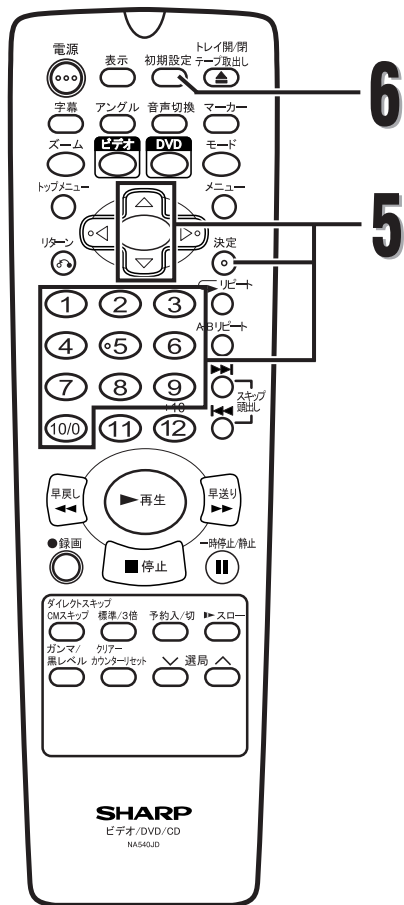
5

カーソルボタン[▲/▼]を押して選択したい項目を選び、[決定]ボタンを押す

- 音声、字幕、またはディスクメニュー設定画面上で[その他]を選択した場合、言語コード設定画面が表示されます。98ページのリストを参照しながら数字ボタンを押して希望する言語コードを入力します。

6

[初期設定]ボタンを押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

DVD編 言語設定

ちょっと一言！

■ 一部のディスクでは音声と字幕の言語設定が利用できませんので、[音声切換]ボタンと[字幕]ボタンを使います。[➡ 79、80ページ]

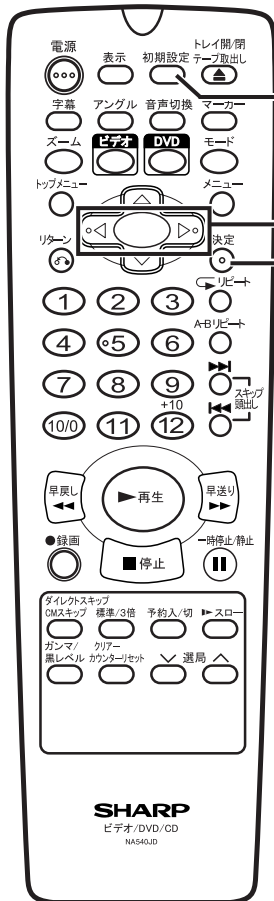
言語コード一覧表

言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語	5047
ドイツ語	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語	5158
英語	5160
エスペラント語	5161
スペイン語	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語	5264
フリジア語	5271
アイルランド語	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語	5467
アルメニア語	5471

言語名	言語コード
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語	5565
イタリア語	5566
ヘブライ語	5569
日本語	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語	6058
ノルウェー語	6061
プロバンス語	6149
アファン語（オロモ語）	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語	6266

言語名	言語コード
ケチュア語	6367
ラエティ＝ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語	6461
ロシア語	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語	7254
ズールー語	7267

映像設定

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

停止中に[初期設定]ボタンを押す

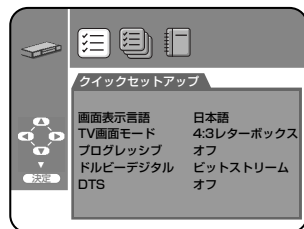
● クイックセットアップ画面が表示されます。

初期設定

2

カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、[決定]ボタンを押す

● カスタムセットアップ画面が表示されます。

3

カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、[決定]ボタンを押す

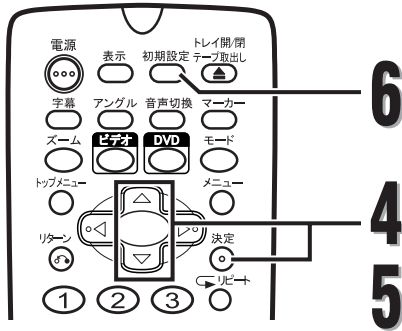
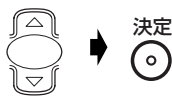
● 映像設定画面が表示されます。

● [TV画面モード]、[スチルモード]を設定するときは、100ページをご覧ください。

● [プログレッシブ]を設定するときは、101ページをご覧ください。

DVD編 映像設定

TV画面モード・スチルモードの場合

4

カーソルボタン[▲/▼]を押して項目を選び、[決定]ボタンを押す

TV画面モード（出荷設定：4:3 レターボックス）

－4:3 レターボックス ：上下に黒いバーつきのワイド画面
－4:3 パンスキャン ：全高画像両サイドトリミング
－16:9 ワイド ：ワイド画面テレビに接続されている場合

スチルモード（出荷設定：オート）

一時停止時の画質を設定します。

－オート ：表示する静止画の情報を元に、「フレーム」／「フィールド」のどちらかで表示されます。
－フィールド ：[オート]にしても画像のブレが発生するとき設定します。[フィールド]を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。
－フレーム ：動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいとき選びます。[フレーム]を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを同時に出力させるため、画像にブレを生じることがあります。

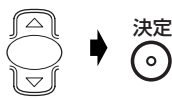
ちょっと一言！

■ テレビの1枚の画面のことをフレームと呼び、1枚のフレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面から作られています。

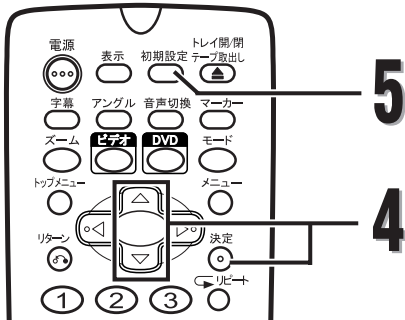
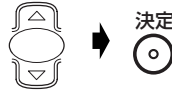
[スチルモード]の[オート]を選択しているときに、静止画によっては、画像にブレを生じることがあります。

5

カーソルボタン[▲/▼]を押して選択したい項目を選び、[決定]ボタンを押す

6

[初期設定]ボタンを押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

プログレッシブの場合

4 カーソルボタン[▲/▼]を押して項目を選び、[決定]ボタンを押す

プログレッシブ（出荷設定：オフ）
[プログレッシブ]を[オン]または[オフ]にします。
プログレッシブの説明は23ページをご覧ください。

5 [初期設定]ボタンを押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

音声設定

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

停止中に[初期設定]ボタンを押す

● クイックセットアップ画面が表示されます。

初期設定

2

カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、[決定]ボタンを押す

● カスタムセットアップ画面が表示されます。

3

カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、[決定]ボタンを押す

● 音声設定画面が表示されます。

決定

4

カーソルボタン[▲/▼]を押して項目を選択し、[決定]ボタンを押す

DRC（出荷設定：オン）
オン：ダイナミックレンジが利用できます。

● この機能は音量範囲をコントロールするものです。音量範囲を圧縮することにより夜間の出力を抑制するだけでなく低音部の音量を上げることもできます。
● ただし、この機能はドルビーデジタルで録音した音声の場合のみ有効です。

ダウンサンプリング（出荷設定：オン）
96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する／しないを設定します。ただし、96kHzの高音質で楽しむためにはサンプリング周波数96kHzに対応したアンプに接続する必要があります。
－オフ：サンプリング周波数96kHzでデジタル出力されます。
[オフ]にした場合、ディスクのコピーガード機能がはたらいているとき、96kHzで録音された音はデジタル出力で48kHzに変換して出力されます。
－オン：サンプリング周波数48kHzに変換して出力されます。
96kHzに対応していないアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

ドルビーデジタル（出荷設定：ビットストリーム）
－ビットストリーム：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
－DPCM：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

DTS（出荷設定：オフ）
－ビットストリーム：DTSデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
－オフ：DTSに対応しないアンプと接続したときに選びます。このとき、DTS音声は出力されません。

[初期設定]ボタンを押す
● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言！
■ メニュー画面付きDVDディスクを再生したときは、ディスクメニューでも設定が必要となることがあります。

DVD編 音声設定

パレンタル設定（視聴制限）

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 停止中に[初期設定]ボタンを押す

● クイックセットアップ画面が表示されます。

初期設定

2 カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、[決定]ボタンを押す

● カスタムセットアップ画面が表示されます。

3 カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、[決定]ボタンを押す

〈出荷設定時の画面〉

4

数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力する

- 最初に設定をするとき、任意の4桁の数字を入力し、[決定]ボタンを押します。この数字は次回からパスワードとして使用されますので、忘れないようにご注意ください。
- パスワードを入力して、パレンタルレベルとパスワード設定を変更することができます。
- [4][7][3][7]をパスワードにすることはできません。

5

カーソルボタン[▲/▼]を押して項目を選択し、[決定]ボタンを押す

[パスワード変更]を選択した場合

- 数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、[決定]ボタンを押します。

[パレンタルレベル]を選択した場合

- カーソルボタン[▲/▼]を押して[オール]または[8]から[1]までの項目を選び、[決定]ボタンを押します。

（オール）
パレンタルロックをオフ状態にします。

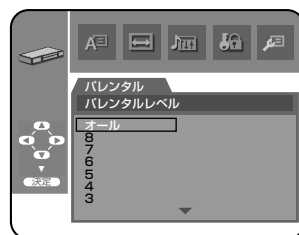
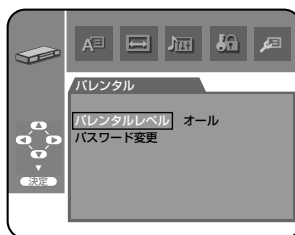
（レベル8）
どのグレードのDVDソフトウェア（成人、一般、子供）でも再生できます。

（レベル7から2）
一般用と子供向けのDVDソフトウエアのみ再生できます。

（レベル1）
子供用のDVDソフトウエアのみ再生できます。

6

[初期設定]ボタンを押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言!

■ DVDによっては、パレンタルロックが作動するか見分けるのが難しい場合があります。設定した方法で、パレンタルロック機能が作動するか確認してください。
■ パスワードを忘れないように、どこかに書きとめておいてください。

パスワードを忘れたとき

手順4で以下の操作を行なってください。
※電源が「入」の状態で、リモコンの[4]、[7]、[3]、[7]の順にボタンを押します。すでに入力されていたパスワードがリセットされます。

その他の設定

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

停止中に[初期設定]ボタンを押す

● クイックセットアップ画面が表示されます。

初期設定

2

カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、[決定]ボタンを押す

● カスタムセットアップ画面が表示されます。

決定

3

カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、[決定]ボタンを押す

● その他の設定画面が表示されます。

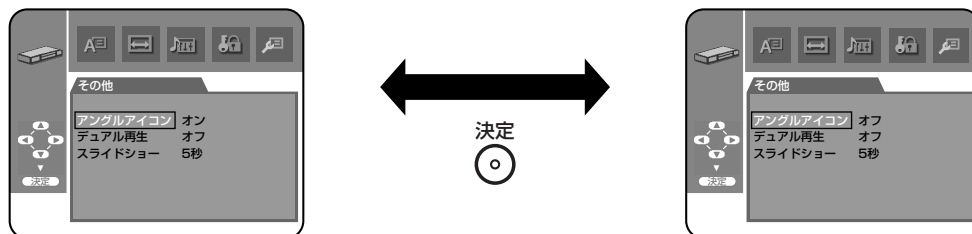
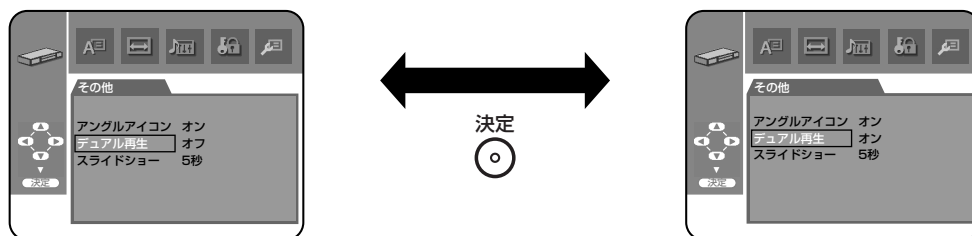
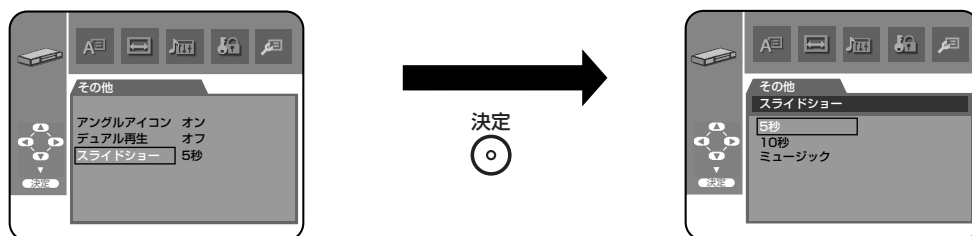
決定

4

カーソルボタン[▲/▼]を押して項目を選び、[決定]ボタンを押す

決定

DVD編 その他の設定

アングルアイコン（出荷設定：オン）
画面上に[（アングルアイコン）]を表示／非表示します。

デュアル再生（出荷設定：オフ）
－ オン：MP3とJPEGを同時に楽しみたい場合に選びます。
－ オフ：MP3とJPEGを別々に楽しみたい場合に選びます。

スライドショー（出荷設定：5秒）
JPEG再生時のスライドショー時間を設定します。
－5秒 ： 約5秒ごとに画像が切り換わります。
－10秒 ： 約10秒ごとに画像が切り換わります。
－ミュージック ： MP3とJPEGを同時に再生しているときは、MP3の切り換わりにあわせて画像が切り換わります。JPEGのみを再生しているときは、5秒ごとに画像が切り換わります。

DVD編 その他の設定

■ デュアル再生用のディスクを作成する場合は、JPEGファイルの容量が3,000KB以下、画像の大きさが縦×横　4,000×4,000ピクセル以下のファイルを使用してください。この数値を超えるJPEGファイルは、再生できないことがあります。
■「初期設定」の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

次ページへつづく

5

カーソルボタン[▲/▼]を押して選択したい項目を選び、[決定]ボタンを押す
（[スライドショー]を選択の場合）

6

[初期設定]ボタンを押す
● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

パレンタル設定以外の設定を初期化する

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。リモコンの[DVD]ボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

停止中に[初期設定]ボタンを押す

● クイックセットアップ画面が表示されます。

初期設定

2

カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、[決定]ボタンを押す

● 初期化画面が表示されます。

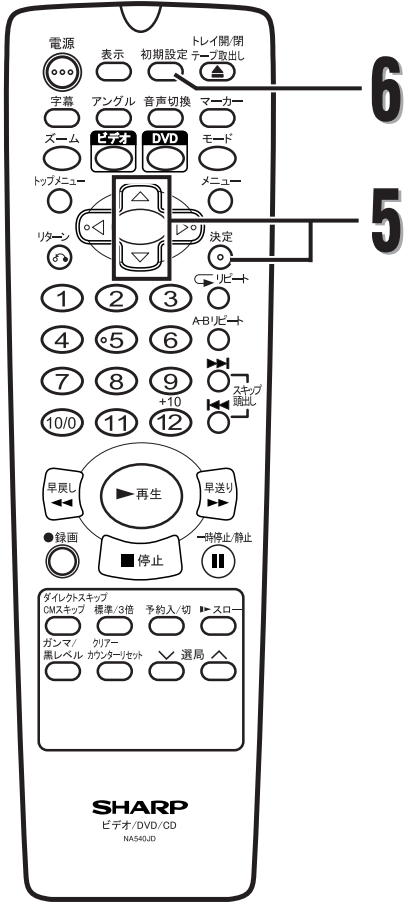
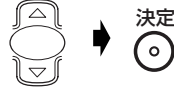
3

カーソルボタン[▲/▼]を押して[はい]を選び、[決定]ボタンを押す

● 初期化が実行されます。

4

[決定]ボタンを押す

● クイックセットアップ画面に戻ります。

ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買上げの販売店にお問い合わせください。

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
共通	**電源が入らない**	※ 電源プラグがはずれている。	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。	ーー
		※ 停電で電源が切れている。	● 安全保護装置が働いていることがあります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください。	ーー
	画像と音声が出ない	※ テレビ側にビデオ入力（映像／音声）端子がない。	● テレビ側にビデオ入力端子がない場合は、本機と接続できません。	21
	リモコンで操作できない	※ リモコン操作切換ボタンを押していない。	● ビデオを操作する場合は[ビデオ]ボタン、DVDを操作する場合は[DVD]ボタンを押す。	26
		※ リモコンが本機の受光部に向いていない。	● リモコンを本機の受光部に向ける。	16
		※ リモコンと本機が離れすぎている。	● 7m以内のところで操作する。	16
		※ リモコンと本機の受光部の間に障害物がある。	● 障害物を取り除く。	ーー
		※ リモコンの電池が消耗している。	● 電池を交換する。	16
		※ リモコンに水など水分を含むものをこぼした。	● リモコンの交換が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。	ーー
		※ 本体が故障している可能性があります。	● ラジオを利用し、次のようなチェックを行なってみてください。AM放送で放送局のない周波数（雑音の出る状態）に合わせ（音量は大きめ）、ラジオのそばで任意のボタンを押します。雑音の中にブ、ブ、ブのような音が聞こえてきましたらリモコンは正常と考えられますので、本体が故障している可能性があります。**お買い求めの販売店や弊社サービスセンターにご相談ください。**	ーー
	時刻表示が出ない **（表示例）**　－－：－－	※ 停電があった。	● 電源を入れ、**時刻を合わせ直す。**	29～30
		※ 電源プラグがはずれている。	● 電源プラグを**コンセント**に差し込み、時刻設定をやり直す。	ーー
ビデオ部	**ビデオの操作ができない**	※ DVDランプが点灯している。	● リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、ビデオランプを点灯させてください。	26
		※ 録画予約されている。	● リモコンの[予約入／切]ボタンを押し、予約スタンバイを解除する。	47
	テレビの番組が映らない	※ ビデオに接続されていたアンテナ線がはずれている。	● **アンテナ線**を正しくつなぐ。	19～20
		※ アンテナ線が断線、ショートしている。	● **アンテナ線を点検する。**	ーー
		※ ビデオの受信チャンネルが設定されていない。	● **受信チャンネル**を設定する。	31～32
		※ テレビの入力切換がビデオになっていない。	● テレビの切換を**外部入力（ビデオ）**にする。	ーー
		※ テレビ放送の電波が弱い。	● 電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなることがあります。このようなときは販売店にご相談ください。	19～21

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
ビデオ部	**予約スタンバイ後、自動的に本機の電源が切れる**	※ 予約スタンバイにするときのセットの状態によっては、DVDモードに切り換わらず、自動的に本機の電源が切れる場合があります。	● 故障ではありませんので、DVDを使用する場合は、本機の電源を入れて使用してください。	47、54
	録画予約ができない	※ 時刻設定が正確に行われていない。 ※ 録画予約が正しくセットされていない。 ※ ビデオテープが入っていない。 ※ ビデオテープのツメが折れている。 ※ 停電があった。	● **時刻設定**を正確に行う。 ● **録画予約**を正しくセットする。 ● **ビデオテープ**を入れる。 ● ツメの場所に**セロハンテープ**を貼る。 ● 電源を入れ、**時刻設定を正確に**行い、録画予約をやり直す。	29～30 45～47 42 9 29～30 45～47
	録画ができない	※ ビデオテープのツメが折れている。	● ツメの場所に**セロハンテープ**を貼る。	9
	再生の画像がきれいに映らない	※ テレビの画面調整が正しくない。	● テレビの**画面調整**をする。	−−
	音声は出るが再生画が出ない、またはブルー一色になる	※ ビデオヘッドが汚れている。	● ヘッドクリーニングが必要です。**クリーニングテープ（市販品）でヘッドクリーニングを行なってください。**	10
	ビデオのときに映像が出ない	※ 入力が1系統のテレビにS映像またはD端子を接続している。	● 入力が1系統のテレビをお持ちの場合は基本接続でご覧ください。	21
	再生画像、音声共に出ない	※ テレビの入力切換などがテレビになっている。 ※ 映像・音声コードがはずれている。	● テレビの入力切換などを**外部入力（ビデオ）**にする。 ● 映像・音声コードを端子の根元まで**キッチリと差し込む。**	37 21～22
	ビデオに切り換えても画像が出ない。「ブー」音のみが出る	※ 映像・音声コードの接続が逆になっている。	● 映像・音声コードの映像／音声を**正しく接続**してください。	21～22
	再生画像の一部にノイズが出る	※ トラッキングの調整が合っていない。 ※ 別のビデオで録画したカセットテープを再生している。 ※ 傷んだテープを使用している。	● 見やすい画像になるように、**トラッキング**を調整する。 ● 傷んだテープのご使用は**おひかえください。**	10 −−
	市販ビデオソフトをダビングしたら、画像が乱れる	※ ビデオソフトはコピーガードの機能でガードされています。したがって規格上ダビングできなくなっています。	● 故障ではありません。	−−

故障かな？と思ったときは

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
ビデオ部	テープが完全に巻戻されない	※ 巻戻しは2段階で行います。高速巻戻しから低速巻戻しに変わる際一度停止しますので、その時点で取り出されますと完全に巻取られていない場合があります。	● 故障ではありません。	－－
	ビデオテープを入れた直後、ビデオテープが出てきた	※ ビデオ本体を保護するための安全機構が働いた。 ※ ビデオ内部に異物が入った。	● 一度カセットテープを取り出してから、再度カセットテープをまっすぐに**入れ直してください。** ● 異物の取り出しが必要です。**異物を確認し、お買い求めの販売店や弊社サービスセンターにご相談ください。**	37 116
DVD部	DVDの操作ができない	※ ビデオランプが点灯している。	● リモコンの[DVD]ボタンを押し、DVDランプを点灯させてください。	26
	画像が出ない	※ 映像コードがはずれている。 ※ 違う種類のディスクが入っている。 ※ コピーガード機能が働いている。 ※ ビデオランプが点灯している。	● 映像コードをしっかり接続する。 ● DVD（リージョン番号2、ALL）、ビデオCD以外のものが入っていないか確認する。 ● 本機とテレビを直接接続する。 ● 本機の[DVD／ビデオ出力切換]ボタン、またはリモコンの[DVD]ボタンを押し、DVDランプを点灯させてください。	21～22 13 23 26
	再生が始まらない	※ 結露が発生している。 ※ ディスクが裏返しに入っている。 ※ ディスクが汚れている。 ※ パレンタル設定（視聴制限）が有効になっている。 ※ 記録時間が短いディスクが入っている。	● 電源「入」のまま、しばらく放置する。 ● ディスクのラベル面を上にして、正しく入れ直す。 ● ディスクを清掃する。 ● パレンタル設定を解除するか、パレンタルレベルを変更する。 ● 記録時間が短いディスクやタイトルは再生できない場合があります。	9 62 9 104～105 －－
	音声が出ない	※ 音声コードがはずれている。 ※ 音声出力の選択が正しくない。 ※ 音声接続をしている機器の電源が入っていない。 ※ 音声接続をしている機器の入力切り換えが正しくない。 ※ DTS音声を再生している。	● 音声コードをしっかり接続する。 ● 音声出力の選択を正しく行う。 ● 音声接続をしている機器の電源を入れる。 ● 音声接続をしている機器の入力切り換えを正しく行う。 ● アナログ出力端子からDTS音声は出力されません。	21～25 102～103 －－ －－ －－
	映像が乱れる	※ コピーガード機能が働いている。 ※ 早送り、早戻しをした直後である。 ※ 携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している。	● 本機とテレビを直接接続する。 ● 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。 ● 本機から離して使用する。	23 －－ 11

	症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
DVD部	「初期設定」で選んだ音声言語、字幕言語にならない	※ DVDディスクに「初期設定」で選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない。	● DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する。	79、80
	アングルを変えて見ることができない	※ DVDディスクに複数のアングルが記録されていない。	● DVDディスクに複数のアングルが記録されているか確認する。	81、106~108
	音声言語、字幕言語の切り換えができない	※ DVDディスクに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない。	● DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する。	79、80
	テレビ画面に“⊘”が表示され、操作できない	※ 本機またはディスクがその操作を禁止しています。	● 故障ではありません。	63
	再生中に画像が動かなくなる	※ ディスクに記録されたデータの中に、問題がある可能性がある。 ※ ディスクが汚れている。 ※ ディスクにキズがある。 ※ 2層ディスクが1層から2層に切り換わった。	● [停止]ボタンを押してから、[再生]ボタンを押してみる。 ● ディスクを清掃する。 ● キズのないディスクと取り替えて再生する。 ● 映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません。	ーー 9 ーー 62
	DVDからビデオテープへのダビングができない	※ DVDディスクがコピープロテクトされている。	● コピープロテクトされているDVDディスクはダビングできません。	ーー
	[ディスクエラー --ディスクを取り出してください。-- 再生可能なディスクを挿入してください。] と画面表示される	※ 再生できないディスクが入っている。 ※ ディスクが汚れている。 ※ ディスクが裏返しに入っている。 ※ ディスクにキズがある。	● 再生できるディスクを入れる。 ● ディスクを清掃する。 ● ディスクのラベル面を上にして正しく入れ直す。 ● キズのないディスクと取り替えて再生する。	13 9 62 ーー
	[リージョンエラー --ディスクを取り出してください。-- この地域での再生は禁止されています。] と画面表示される	※ リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている。	● リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる。	13
	[パレンタルエラー 現在のパレンタル設定では再生が制限されています。] と画面表示される	※ パレンタル設定が有効になっている。	● パレンタル設定を変更する。	104～105

ちょっと一言！

- ■ 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ■ ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。
- ■ プログラム再生中は、ランダム再生と希望するトラックからの再生はできません。
- ■ ディスクによっては使えない機能もあります。

仕様

ビデオ部	テレビシステム		NTSC方式
	ビデオヘッド		回転式4ヘッド
	録画システム		回転2ヘッドヘリカルスキャン輝度信号FM方式、 色信号低域変換直接記録方式VHS規格
	音声トラック		ハイファイ音声トラック:2チャンネル ノーマル音声トラック :1チャンネル
	使用テープ		VHSタイプビデオカセットテープ
	テープ速度		「標準」:33.4mm/秒、「3倍」:11.1mm/秒
	最大録画再生時間		「標準」:2時間40分(T-160使用時) 「3倍」 :8時間(T-160使用時)
	受信チャンネル		VHF:1〜12チャンネル、UHF:13〜62チャンネル、CATV:C13〜C63チャンネル
	受信方式		インターキャリア方式
	タイマー表示		午前/午後12時間システム
DVD部	形式		DVDビデオ、音楽用CD、ビデオCD、MP3、JPEG
	再生可能なディスク		DVDビデオ、DVD-RW/-R*、DVD+RW/+R*、音楽用CD、 ビデオCD、CD-RW*、CD-R*、フジカラーCD
	出力信号方式		NTSCカラー方式
	周波数特性		DVD(リニア音声) 20Hz〜22kHz(48kHzサンプリング周波数) 20Hz〜44kHz(96kHzサンプリング周波数) 音楽用CD 20Hz〜20kHz(JEITA)
	信号対雑音比(S/N比)		CD、ビデオCD:100dB(JEITA)
	ダイナミックレンジ		DVD(LPCM音声):90dB、CD、ビデオCD:90dB(JEITA)
	総合ひずみ率		CD:0.01%、DVD:0.01%
	ワウ·フラッター		測定限界(±0.001% W PEAK)以下
端子	ビデオ部	アンテナ入力	VHF/UHF:F型コネクター(一軸)
		アンテナ出力	VHF/UHF:F型コネクター(一軸)
		映像入力	ピンジャック×2(背面1、前面1)
		音声入力	ピンジャック×4(背面2、前面2)
	ビデオ/DVD共用部	映像出力	ピンジャック×1(背面1)
		音声出力	ピンジャック×2(背面2)
	DVD部	S映像出力	ミニDIN 4pin(75Ω) (C)0.286V(p-p)(75Ω) (Y)1V(p-p)(75Ω)
		コンポーネント映像出力	D1/D2出力端子
		光デジタル音声出力	光コネクタ
		同軸デジタル音声出力	ピンジャック×1 0.5V(p-p)(75Ω)
		アナログ音声出力	ピンジャック×2(背面2) 2V(ms)(100kΩ)
電気的仕様	映像出力インピーダンス		75Ω
	映像出力レベル		1.0Vp-p
	音声出力レベル		-6dBv
	映像入力レベル		0.5〜2.0Vp-p
	音声入力レベル		-10dBv
	映像S/N比		45dB
	音声S/N比		40dB
	ハイファイ音声		周波数特性:20Hz〜20kHz、ワウ・フラッター:0.05%WRMS以下 ダイナミックレンジ:80dB
その他	電源		AC100V 50/60Hz
	消費電力		約18W 待機時3.3W
	停電保証		約1時間
	許容温度範囲		5℃〜40℃
	許容湿度範囲		80%以下
	寸法		435mm(幅)×94mm(高さ)×233mm(奥行)
	質量		約3.1kg

＊詳しくは、「ディスクについて」をご覧ください。[➡ 13ページ]
仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

保証書（別添）

- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取ってください。
- 保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  お買い上げの日から1年間です。
  保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、ビデオ一体型DVDプレーヤーの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しております。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、または最寄りのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。[➡ 116ページ]

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったときは」を調べてください。[➡ 110～113ページ] それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

ご連絡していただきたい内容

品名	：ビデオ一体型DVDプレーヤー
形名	：DV-NC750
お買い上げ日	：(年月日)
故障の状況	：(できるだけ具体的に)
ご住所	：(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お名前	：
電話番号	：
ご訪問希望日	：

便利メモ お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販　売　店　名
年　月　日	電話（　　）　—

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

ご自分での修理はしないでください。
たいへん危険です。

愛情点検

長年ご使用のビデオ一体型DVDプレーヤーの点検を！
こんな症状はありませんか？
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ……… **修理相談センター** へ

● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は ………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）　携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○携帯電話／PHSでのご利用は …………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○FAXを送信される場合は ………………	F A X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
但し、〔沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄·奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（05.03）

不具合品の訪問引き取り・修理・お届けサービス

「修理品引き取りサービス」のご案内

シャープ商品の修理・お取り扱い・お手入れのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

※なお、転居されたり贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、以下のサービスをご利用ください。

修理品引き取りサービスとは、お持込みいただける商品について電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用料金

■運送費

保証期間内	無料
保証期間外	1,000円+梱包資材費+代引き手数料

※梱包料を含む往復料金（税別）

■修理料金

保証期間内	無料（保証書記載の「保証規定」に準じます）
保証期間外	有料（修理内容により異なります）

※保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書をご確認ください。

お申し込み

「修理相談センター」にお電話でお申し込みください。

ナビダイヤル　【0570-02-4649】

・受付時間　月曜～土曜：午前 9時～午後6時
　　　　　　日曜／祝日：午前10時～午後5時

年末・年始・当社指定の休日および天災などやむをえない状況の際は、臨時に休ませていただくことがありますので、予めご了承ください。

・ナビダイヤルは全国一律料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHSからはナビダイヤルを一部ご利用いただけません。下記の一般電話におかけください。

・ファクシミリを送信される方は、下記FAX受信専用番号にお願いします。

	東日本エリア	西日本エリア
一般電話	043-299-3863	06-6792-5511
専用FAX	043-299-3865	06-6792-3221

電話番号をお確かめの上、お間違えのないようにおかけください。

お引き取り

当社指定の宅配業者（ヤマト運輸）がお引き取りに伺います。

・お引き取り時間は下記時間帯よりお選びいただくことができます。

AM／12時～14時／14時～16時
16時～18時／18時～21時

・お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
・18時～21時の時間帯は土、日、祝日は除きます。
・交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。

・ご連絡時にサービス料金（修理料金+利用料）と発送日をご連絡いたします。
・ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
・サービス料金（修理料金+利用料）をヤマト運輸に現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問日が変動します。

ビデオ

ステレオ音声多重機能 [➡55ページ]

●ステレオサウンドや音声多重放送を楽しむことができます。

CATV対応チューナー [➡32ページ]

●C13ch～C63chまでのフルバンドを受信できます。

DVD

音声言語とサウンドモードの選択 [➡79、95～98、102～103ページ]

●複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

カメラアングルの選択 [➡81、106～108ページ]

●異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

画面表示 [➡90～93ページ]

●各時点で行なっている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、（プログラム再生などの）その時点に有効になっている機能を確認することができます。

希望する言語で字幕を表示 [➡80、95～98ページ]

●希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

黒レベル [➡92ページ]

●暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくできます。

ズーム [➡82ページ]

●×2または×4に拡大した画面を表示させることができます。

スクリーンセーバー

●何も操作しない状態が5分以上続くと、スクリーンセーバー機能が働きます。

ダイレクト再生 [➡76～78ページ]

●チャプターサーチ：
　ユーザーが指定したチャプターを頭出しすることができます。

●タイトルサーチ：
　ユーザーが指定したタイトルを頭出しすることができます。

●トラックサーチ（＊1）：
　ユーザーが指定したトラックを頭出しすることができます。

●タイムサーチ（＊1）：
　ユーザーが指定した時間を頭出しすることができます。

つづき再生 [➡65ページ]

●再生をストップした位置からつづけて再生を再開することができます。

ディスクの自動判別

●DVD、ビデオCD、音楽用CD、MP3／JPEGディスク（CD-RW/-R）を自動的に判別して再生します。

デジタルガンマ [➡92ページ]

●暗くて見づらい部分を明るく見やすくすることができます。

ドルビーデジタル [➡ 102～103ページ]

●ドルビー研究所が開発した音声圧縮方式で5.1チャンネルサラウンドによる音の移動感や立体感を楽しむことができます。

早送り、早戻し、静止、コマ送り再生、スロー再生 [➡64、66～68ページ]

●早送り再生、早戻し再生、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生などの再生ができます。

早見・早聞き／遅見・遅聞き再生（DVD） [➡67ページ]

●早送り／遅送り再生時でも聞き取りやすい音声を出力する機能です。

バーチャルサラウンド [➡92ページ]

●バーチャル（疑似）サラウンドを楽しむことができます。

パレンタル設定 [➡104～105ページ]

●パレンタルレベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を制限することができます。

ビットレート表示 [➡90ページ]

●ディスクに記録された画像や音声の情報量を示します。（DVDの表示は目安です。）

プログラム再生（音楽用CD、MP3、JPEG） [➡71、88ページ]

●本機は、トラックの順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

プログレッシブ [➡23、99、101ページ]

●接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレース方式より、ちらつきの少ない高密度の画像を楽しむことができます。

マーカー [➡93ページ]

●ユーザーが指定した位置を呼び出すことができます。

ランダム再生（音楽用CD、MP3、JPEG） [➡72、89ページ]

●本機は、トラックの順番をランダムに変えて再生することができます。

リピート [➡69、70ページ]

●チャプター（DVD）：
　再生中のディスクのチャプターを繰り返して再生することができます。

●タイトル（DVD）：
　再生中のディスクのタイトルを繰り返して再生することができます。

●トラック（音楽用CD、MP3、JPEG、ビデオCD＊1）：
　再生中のディスクのトラックを繰り返して再生することができます。

●オール（DVD-RW（VRフォーマット）、音楽用CD、MP3、JPEG、ビデオCD＊1）：
　再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。

●A-B（DVD、DVD-RW（VRフォーマット）、音楽用CD、ビデオCD）：
　ユーザーが指定した開始点Aから終了点Bまでの部分を繰り返して再生することができます。

DRC [➡102ページ]

●ドルビーデジタルで録音された音声に対し、音量範囲をコントロールすることができます。

DTS（デジタルシアターシステム） [➡102～103ページ]

●デジタルシアターシステムズ社が開発した、原音に限りなく忠実な5.1チャンネルサラウンドシステムを楽しむことができます。

DVDメニュー言語切り換え [➡95～98ページ]

●DVDに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

DVD-RW（VRフォーマット）ディスク再生 [➡75ページ]

●VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。

MP3／JPEG再生 [➡83～84ページ]

●CD-RWやCD-Rに記録されたMP3/JPEGファイルを再生することができます。また、MP3/JPEGファイルを同時に再生することができます（デュアル再生）。

（＊1）PBC対応のビデオCD再生時は、PBC機能が優先され、本機側の設定（希望するところからの再生やリピート再生）は、機能しません。PBC機能を解除し、本機側の設定を機能させることができます。[➡63ページ]

索　引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

英数字

● 製品についてのお問い合わせは・・			
お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX **043 - 299 - 8280**
	西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX **06 - 6792 - 5993**
《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）			

● 修理のご相談は・・	116ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。
● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番

PRINTED IN CHINA

H9845JD

★★★★ 1VMN20447/05P04-CH-NF